

恩納村
地域福祉等に関するアンケート
集計結果報告書

令和7年3月
沖縄県 恩納村

目次

I 調査の概要	1
II 調査結果(概要)	
1 世帯の状況	3
2 地域との関わり	5
3 地域について	9
4 悩み・困りごと	12
5 災害への対応	15
6 福祉サービス・福祉に関する情報	16
7 現状・課題の整理	17
III 調査結果(設問ごとの集計結果)	
1 回答者自身のことについて	19
2 お住まいの地域について	24
3 暮らしの中での困りごと等について	31
4 メンタルヘルスについて	34
5 「地域」との関わりについて	36
6 災害時の対応等について	47
7 成年後見制度や再犯防止について	49
8 「福祉」や「福祉サービス」に関すること全般	51
9 その他・自由意見	56
IV 自由意見	57

I 調査の概要

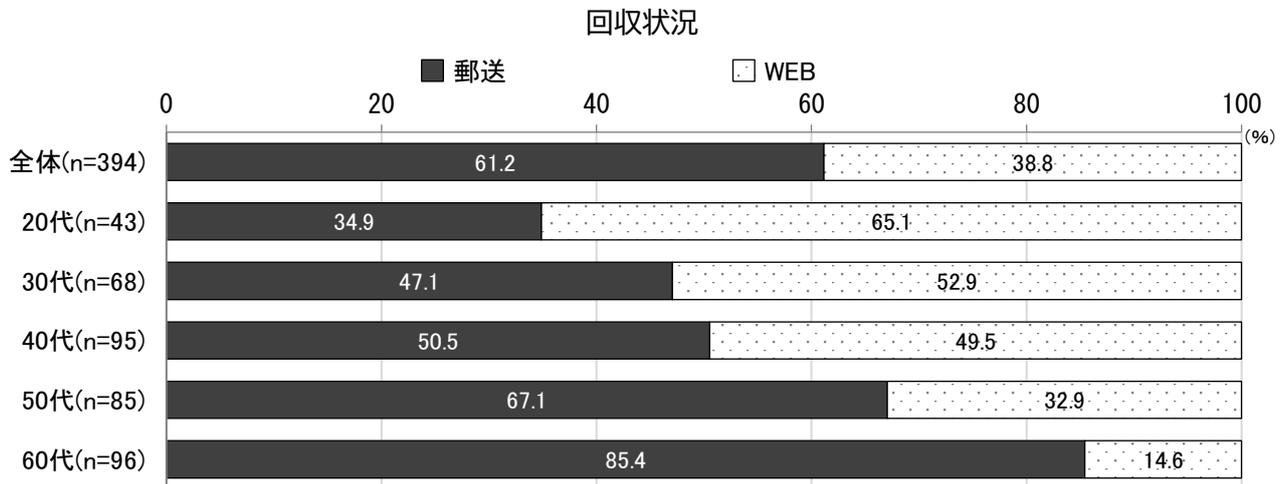
(1)調査の目的

本調査は、「第2期恩納村地域福祉推進計画策定」に向けた基礎調査を目的として実施しました。

(2)調査対象及び調査実施方法、配布・回収状況

調査対象及び調査実施方法、配布・回収状況は以下の通りです。

区分	内容
調査対象者	村内在住の20歳から70歳未満の方2,000人
調査方法	郵送配布、郵送・WEB回収
調査時期	令和7年1月14日～2月7日まで ※有効回収分 最終受付2月20日
回収状況	回収400件 回収率20.0% 有効回収数:394件(内WEB回収数:153件)



(3)調査結果の信頼性

①標本誤差と信頼度の概要

アンケート調査では、母集団(※1)から無作為に抽出した標本データ(※2)を元に、調査対象の全体を推計するため、得られた回答に誤差が生じる可能性があります。

その誤差は、標本誤差と呼ばれており、通常のアンケート調査の場合は、信頼度95%を用いるのが一般的であり、許容できる標本誤差の範囲は、5%未満が望ましいとされています。

※1: 今回の調査では、20歳以上の恩納村民である9,324人(令和6年12月末)

※2: 今回の調査では、アンケート有効回収数である394件

②標本誤差の計算式

本アンケート調査では、394件の回答が得られており、例えば、ある選択肢の回答値が50%であった場合、標本誤差は約4.94%（※3）となるため、母集団（全村民）の回答率は、95%の確率で45.06%（50%-4.94%）から54.94%（50%+4.94%）の間にあると言えます。なお、標本誤差は、回答値が50%の時に最も多く、回答率が0%もしくは100%に近づくほど減少します。

$$\text{※3} \cdots \text{標本誤差 } E = 1.96 \times \sqrt{\{50 \times (100 - 50) / 394\}} \doteq 4.94$$

以上より、本アンケート調査では、標本誤差が最大でも約4.94%となり、許容できる標本誤差の範囲である5%未満に収まるため、母集団に対し適切な標本データ数を得ることができたと言えます。

(4)報告書の見方

- 四捨五入による有効数字の関係上、単数回答であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、有効回答者数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- グラフの値については、レイアウトの関係上省略することがあります。
- 図表中の(n=○)は、集計対象者総数、あるいは回答者限定設問の条件に該当する人の総数を表しています。
- 本文または図表中の「前回調査」とは、令和2年2月に行った福祉に関する村民意識調査結果を表しています。
- 記述式による回答は、個人が特定される可能性や、内容のわかりやすさ等を考慮し修正、要約をしている場合があります。
- レイアウトの都合上、設問文や選択肢を省略して表記している場合があります。
- 地域別や年齢別のクロス集計の場合、グラフは項目の無回答者を除いて表示しています。

II 調査結果(概要)

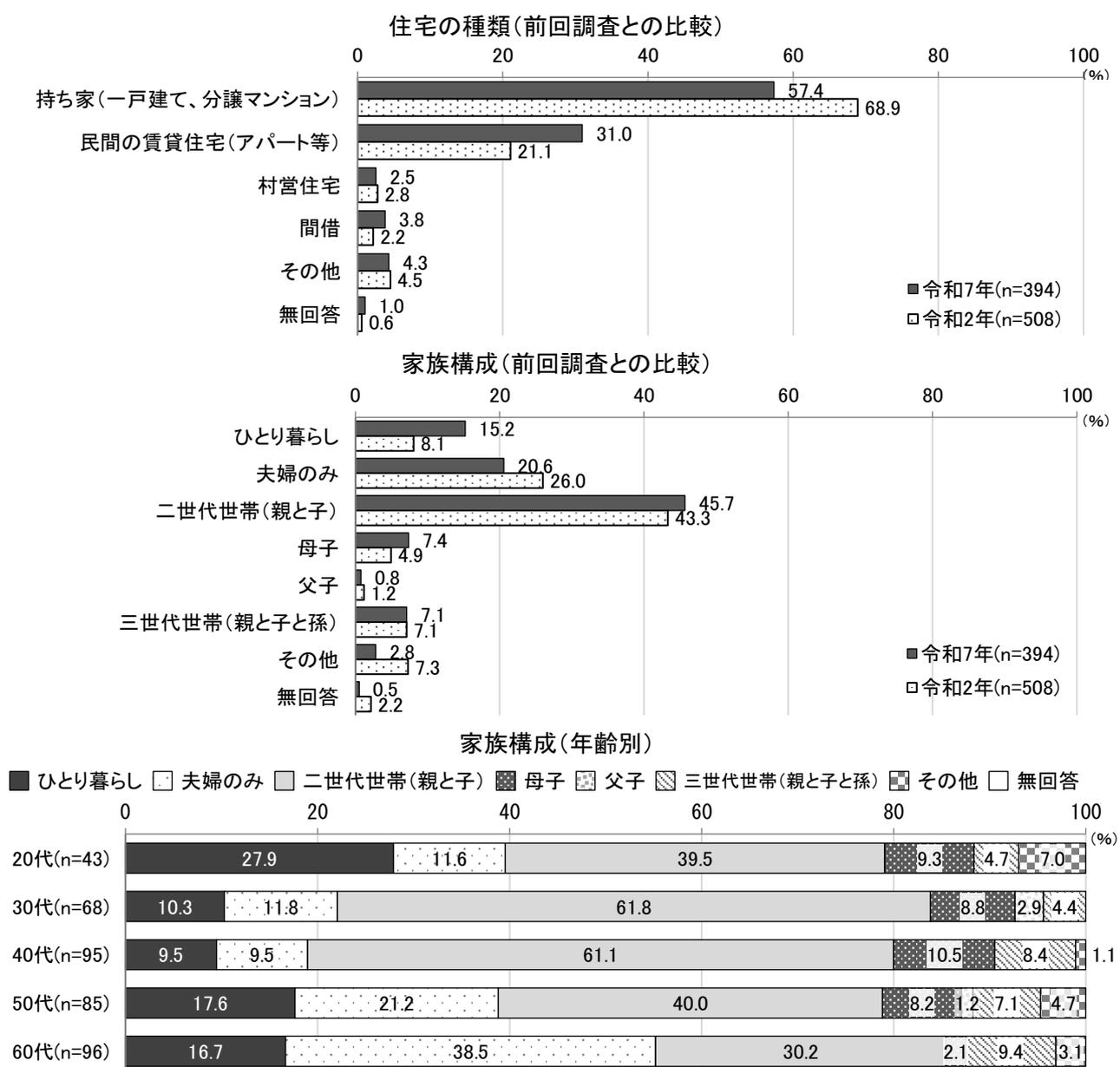
1 世帯の状況

住宅は、前回調査より「持ち家」が減少し、「民間の賃貸住宅」が増加しています。家族構成では、全体の約半数が「二世帯世帯」となっており、前回調査より「ひとり暮らし」と「母子世帯」の割合が上昇しています。年齢別にみると、「30～40代」は「二世帯世帯」が約6割を占めており、「60代」では「ひとり暮らし」と「夫婦のみ」世帯が半数以上となっています。

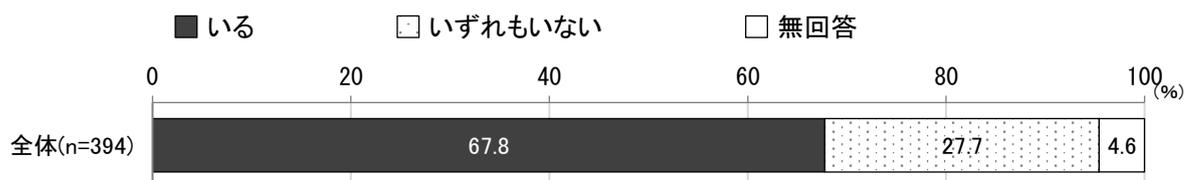
世帯のうち、約7割に「支援が必要な方」がいる状況です。「ひとり暮らし」「夫婦のみ」「母子」などの少人数世帯においても、「障がいのある方」や「介護が必要な方」、「難病の方」といった、日常的に支援が必要な方がいる世帯もあります。また、世帯には「ひきこもりの方」も一定数いることが確認できます。

今後は、高齢者のみの世帯や単身世帯の増加が予想され、世帯の孤立も懸念されます。

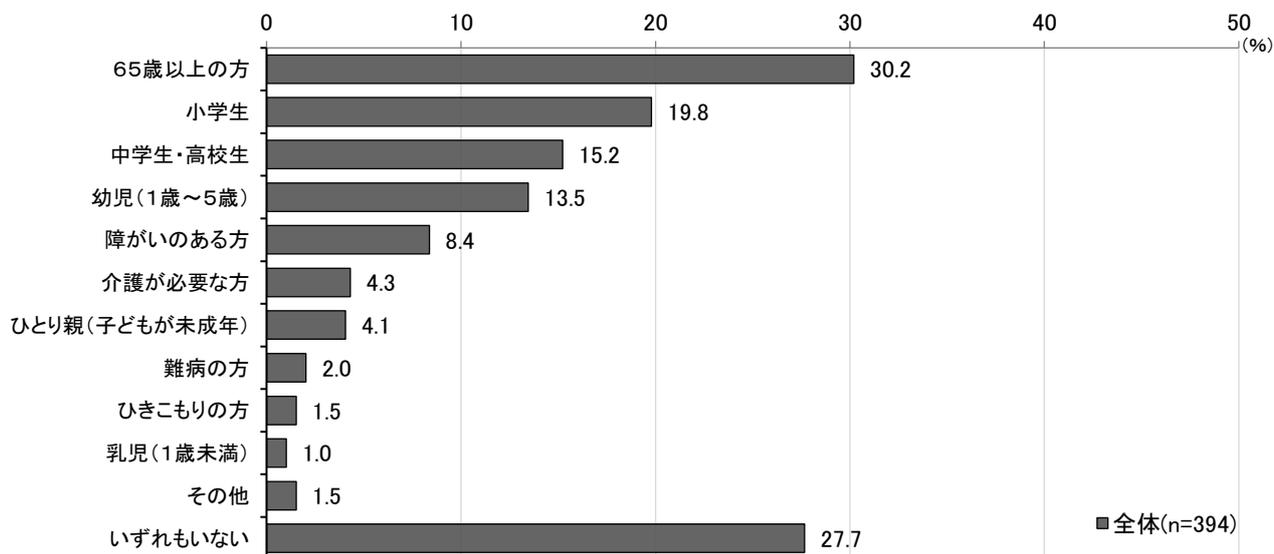
このような状況に対応するためには、地域の支援員や公的サービスだけでなく、地域住民一人ひとりが日頃から積極的に関わりを持つため、包括的な支援体制を築くことが大切です。



支援が必要な方がいる世帯



支援が必要な方の属性



世帯構成別の支援が必要な方の属性

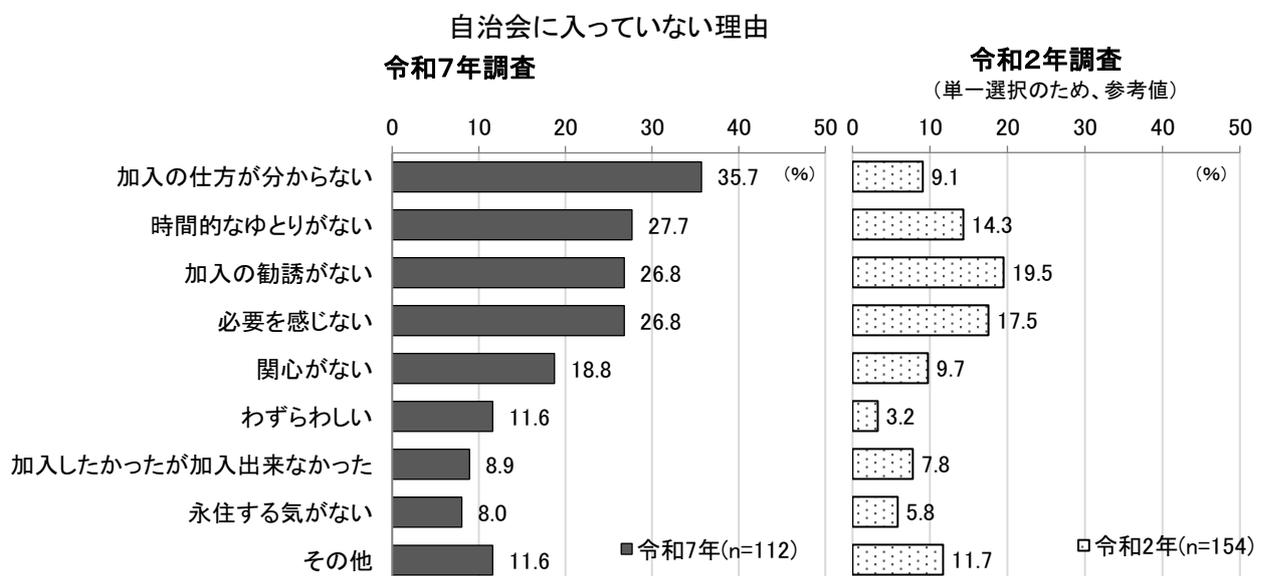
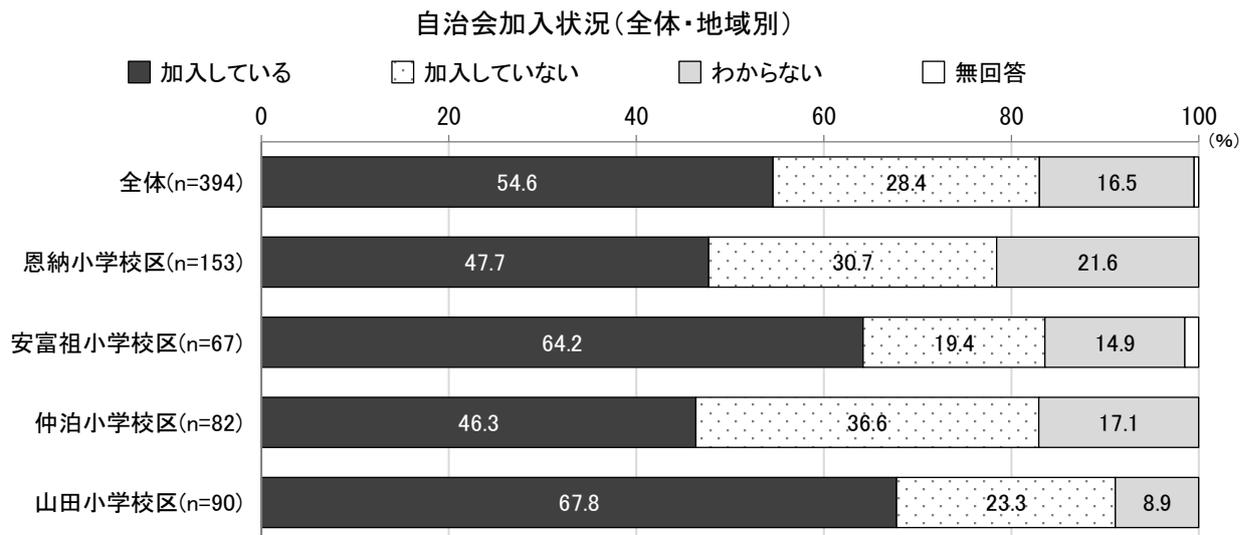
家族構成	ひとり暮らし	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	母子	父子	その他
該当する方							
65歳以上の方(n=119)	5.0%(6)	27.7%(33)	40.3%(48)	19.3%(23)	3.4%(4)	-	4.2%(5)
介護が必要な方(n=17)	-	11.8%(2)	47.1%(8)	29.4%(5)	5.9%(1)	-	5.9%(1)
障がいのある方(n=33)	3.0%(1)	18.2%(6)	51.5%(17)	3.0%(1)	21.2%(7)	-	3.0%(1)
難病の方(n=8)	-	12.5%(1)	75.0%(6)	12.5%(1)	-	-	-
ひきこもりの方(n=6)	16.7%(1)	-	83.3%(5)	-	-	-	-
乳児(1歳未満)(n=4)	-	-	100.0%(4)	-	-	-	-
幼児(1歳~5歳)(n=53)	-	-	83.0%(44)	9.4%(5)	7.5%(4)	-	-
小学生(n=78)	-	-	70.5%(55)	12.8%(10)	14.1%(11)	1.3%(1)	1.3%(1)
中学生・高校生(n=60)	-	-	71.7%(43)	11.7%(7)	13.3%(8)	-	3.3%(2)
ひとり親(子どもが未成年)(n=16)	6.3%(1)	-	-	18.8%(3)	68.8%(11)	6.3%(1)	-
該当する項目数							
3項目(n=21)	-	-	47.6%(10)	28.6%(6)	23.8%(5)	-	-
4項目(n=2)	-	-	-	50.0%(1)	50.0%(1)	-	-
5項目(n=1)	-	-	100.0%(1)	-	-	-	-

2 地域との関わり

(1)自治会加入状況

自治会の加入状況は全体の 54.6%に留まっています。加入状況は地域によって異なり、山田小学校区では加入割合が最も高く、仲泊小学校区では最も低くなっています。加入していない方の理由は、「加入の仕方が分からない」が最も高く、「時間的なゆとりがない」のほかに「必要を感じない」「加入の勧誘がない」といった意見も多くなっています。

自治会は地域活動の重要な組織であり、加入率の低さは地域における互助機能の低下に繋がる可能性があります。地域の協力体制を弱体化させないためにも、地域住民全体が自治会活動を通じて、より住みやすい地域社会を共に作り上げていくという共通認識を持つことが重要です。

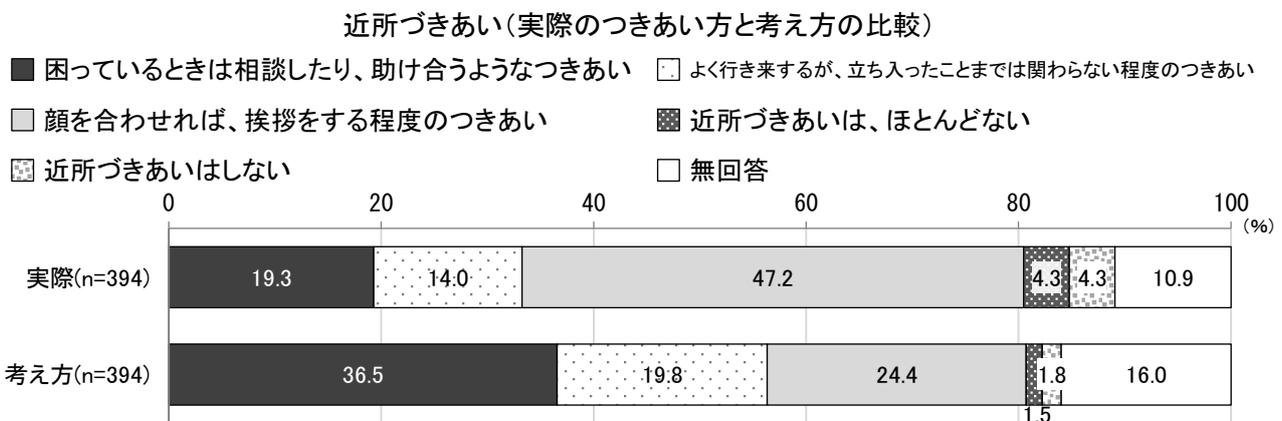
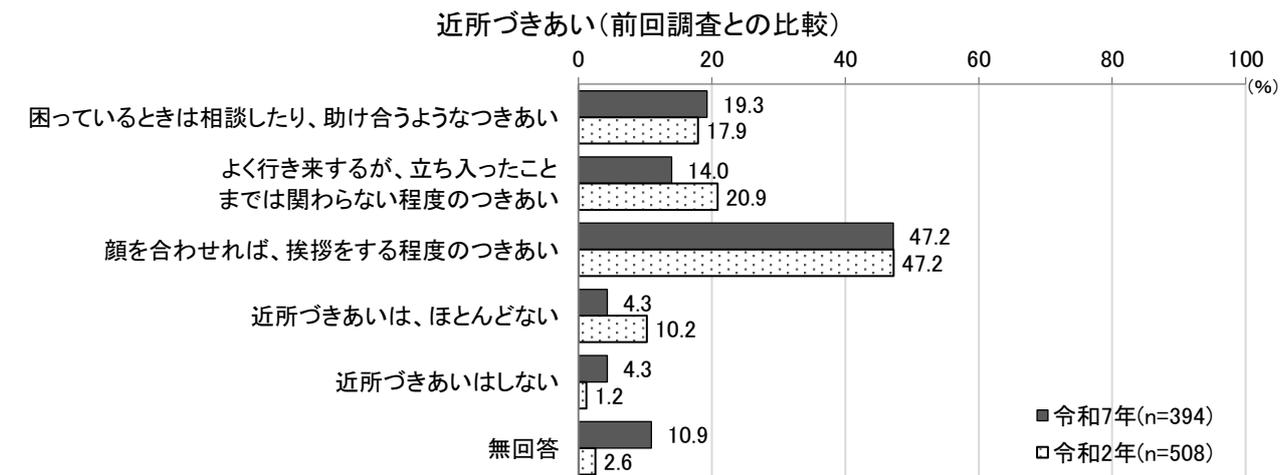


(2)近所づきあい

近所づきあいは前回調査とほぼ変わらず、半数近くが「顔を合わせれば、挨拶をする程度のつきあい」と回答しており、深いレベルでの近隣住民同士の支え合いが十分に行われていない可能性を示しています。

しかしながら、今後の近所づきあいに対する考え方では、「困っているときは相談したり、助け合うようなつきあい」が最も高くなっており、より深い近所づきあいをしたいと考えていることがわかります。

近所づきあいは、地域の人々がお互いに助け合い、支え合うことで、地域全体の安全や安心を確保する上で大切なものとなっています。住民へ地域コミュニティの重要性について啓発し、近所でのコミュニケーションが活発になるような働きかけが必要です。



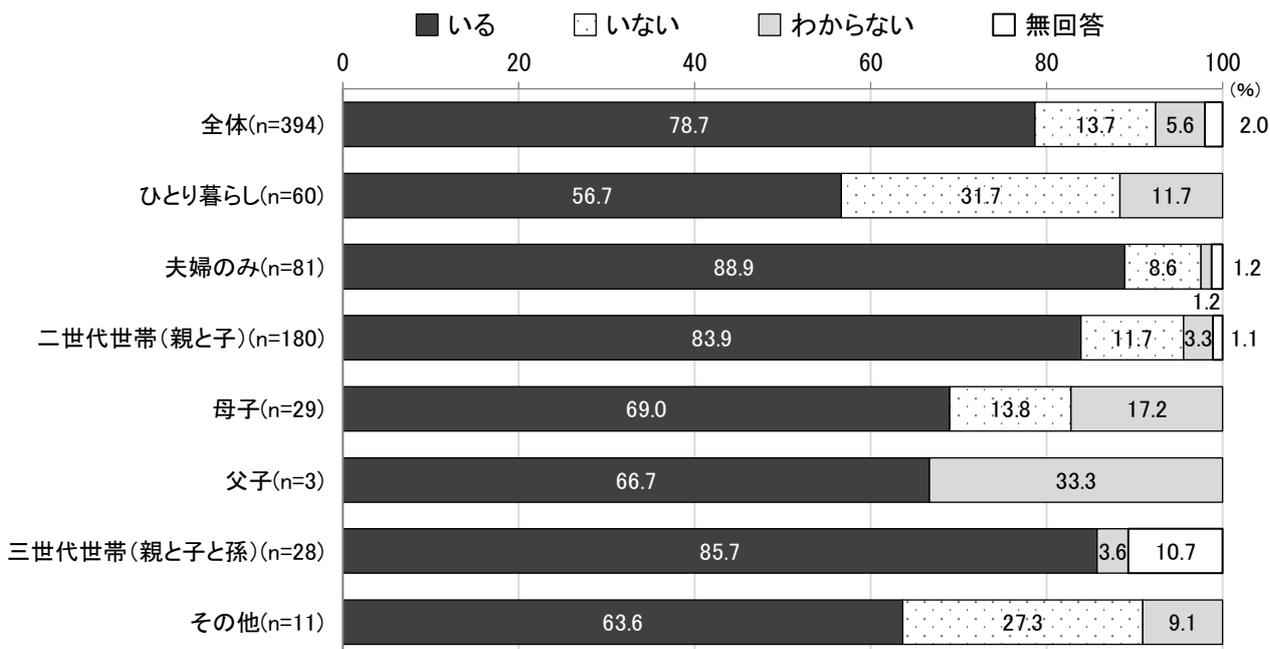
(3)地域での見守り・助け合い

アンケートでは、「身近に助けてくれる方、見守ってくれる方、頼れる方」がいるかについて、「いない」と感じている方が一定数確認できます。特に一人暮らしの世帯では3割を占め、孤立化のリスクが懸念されます。

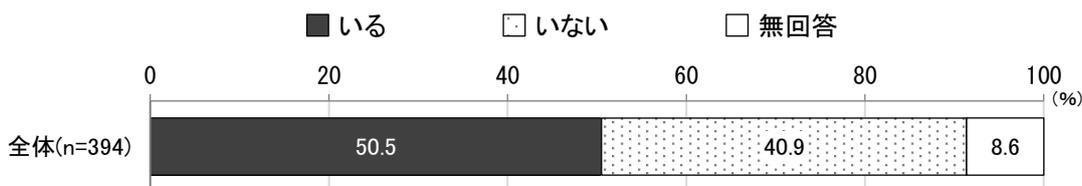
また、地域に見守りなど支援が必要な人や世帯、または深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯があるかについて、全体の約5割が何らかの問題を抱える世帯が地域にいると感じています。その世帯の状況では「高齢者のひとり暮らし世帯」が多くなっていますが、「生活に困窮していると思われる人」や「複数の困りごとや深刻な課題を抱えていると思われる世帯」といったより深刻な状況と思われる世帯も一定数確認されています。

地域の中で孤立した住民や困っている方がいる場合、それに気づけるよう自治会などの交流イベントや見守り活動を推進し、お互いの信頼関係を築く機会を増やすことも必要と考えられます。

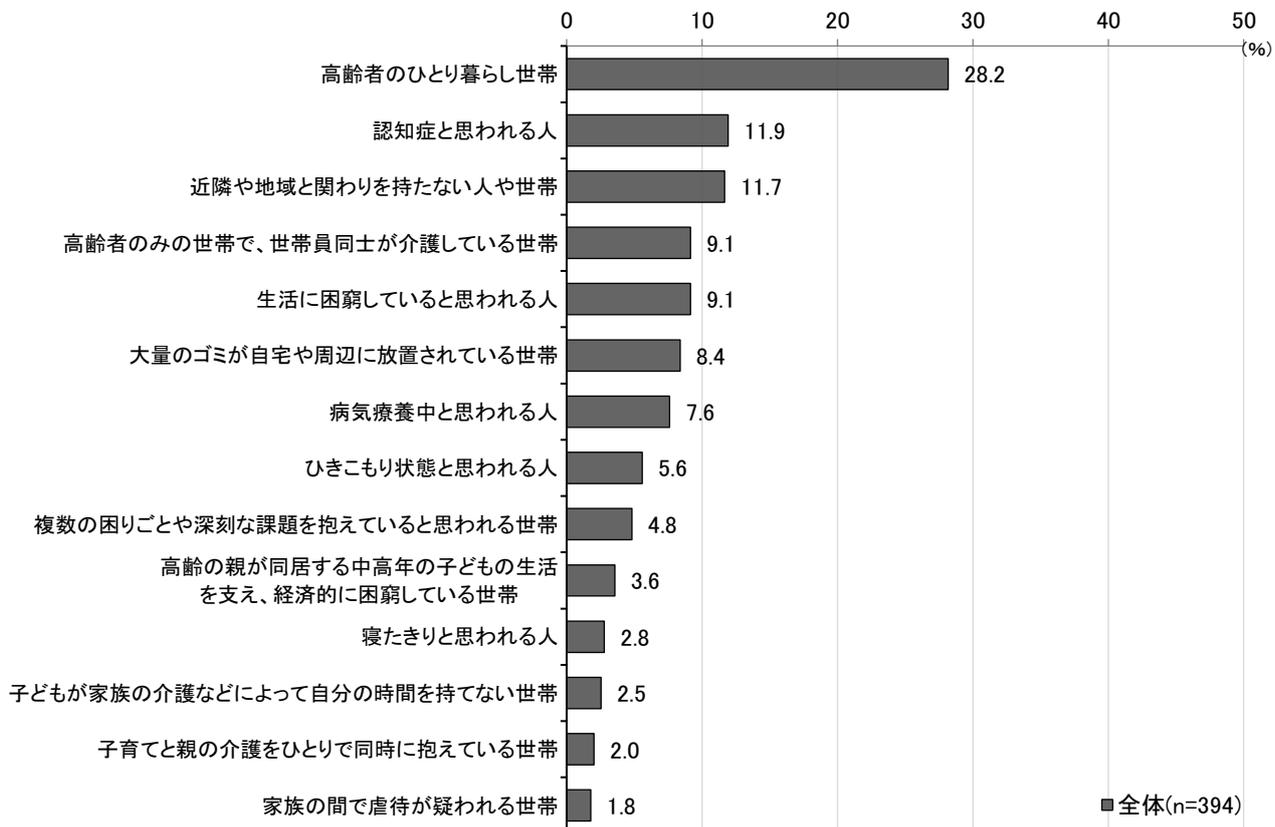
身近に助けしてくれる方、見守ってくれる方、頼れる方がいるか(全体・家族構成別)



見守りなど支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯がいるか



見守りや支援等が必要と思われる世帯の状況(全体)



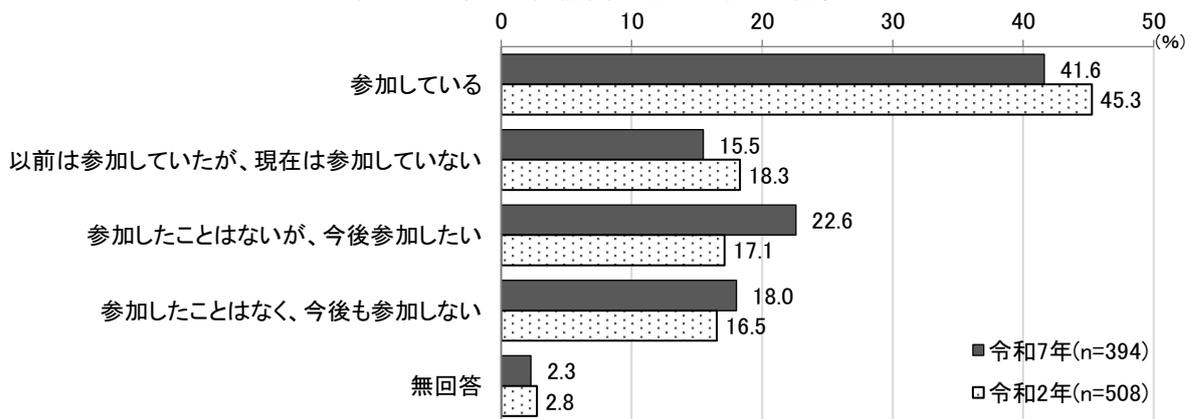
(4)地域活動・ボランティア活動等

地域活動の参加者は前回調査より減少していますが、参加意欲はあるものの、参加に至っていない方も存在しています。参加していない理由には、「時間的な余裕がないから」のほかに、「どこで、どんな活動をしているのかよく分からないから」、「参加の仕方がわからないから」といった情報不足による意見も多くなっています。

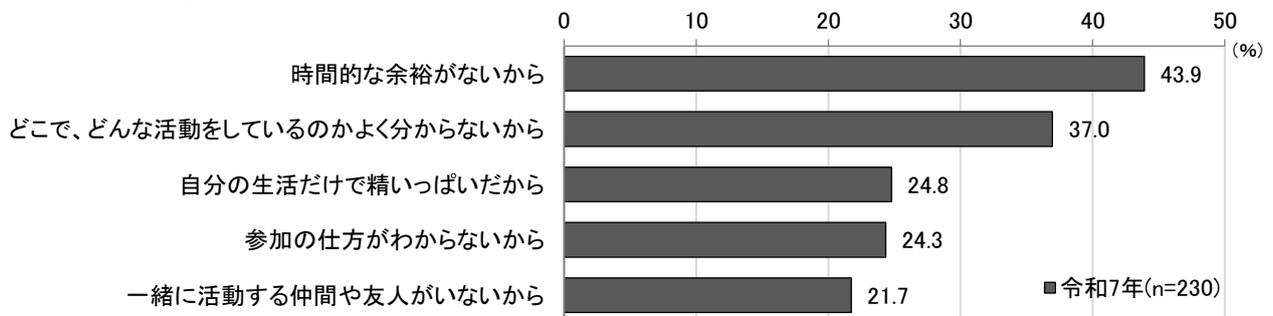
また、ボランティア活動は前回調査と比べて、参加したことがある方を含め、興味を持っている人の割合が増加しています。

地域活動・ボランティア活動のいずれにおいても、前回調査より参加意欲が高まっているため、活動に関する情報提供の充実、そして参加しやすい環境整備が必要と考えます。

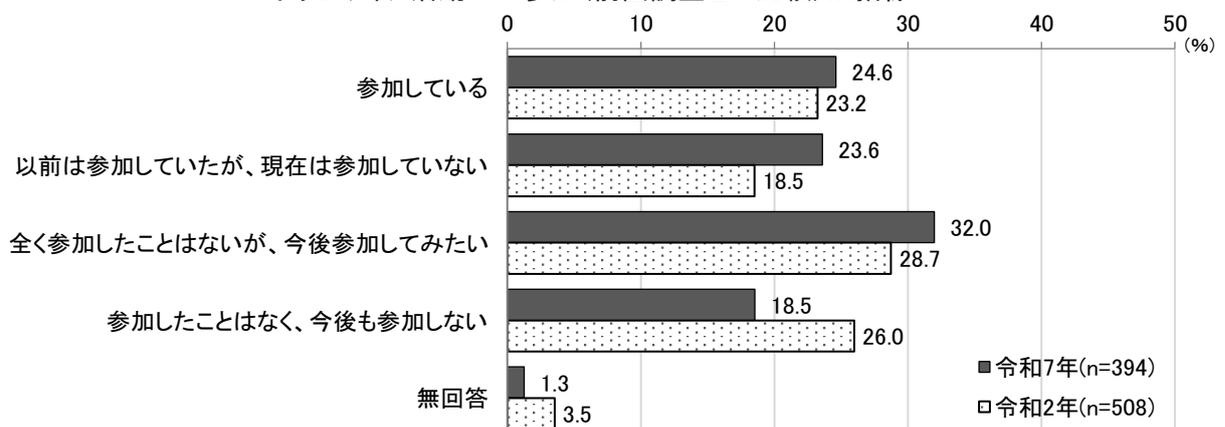
地域活動への参加(前回調査との比較)※指標



地域活動に参加していない理由(「参加している」と回答した方以外)上位5項目



ボランティア活動への参加(前回調査との比較)※指標



3 地域について

(1) 地域への愛着、住みやすさ

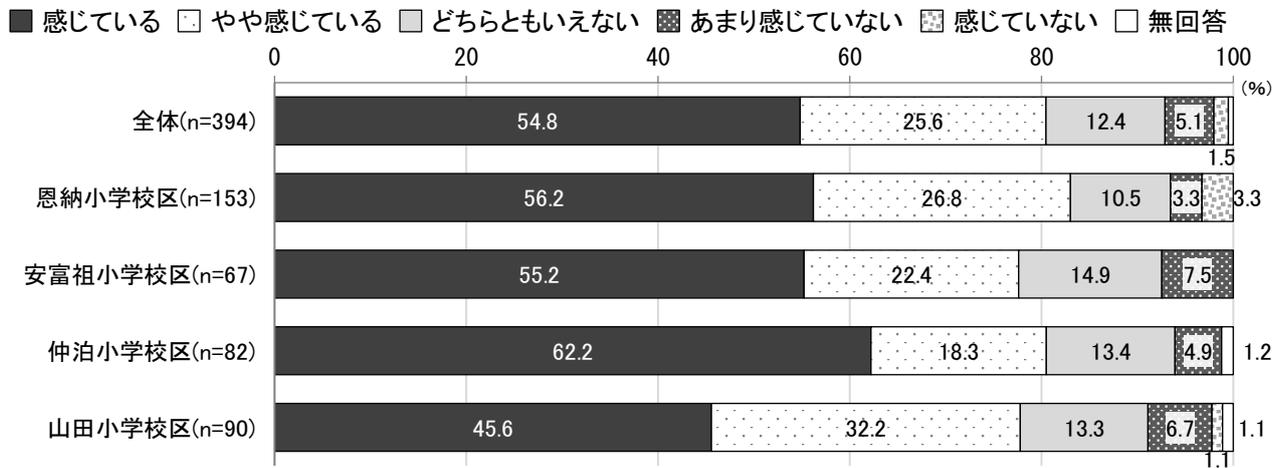
地域への愛着は高く、どの地域においても 8 割前後の方が「感じている」または「やや感じている」と回答しています。また、地域を「住み良い」と感じている方は全体の 6 割以上となっていますが、一方で「住みにくい」と感じている方も全体の約 2 割程度存在しています。

地域別では住みやすさについて、仲泊小学校区では「住み良い」が他の地域より高く、「住みにくい」は 1 割程度と最も低くなっていますが、安富祖小学校区では、3 割の方が「住みにくい」と感じており、他の地域に比べて課題がある可能性が示唆されています。

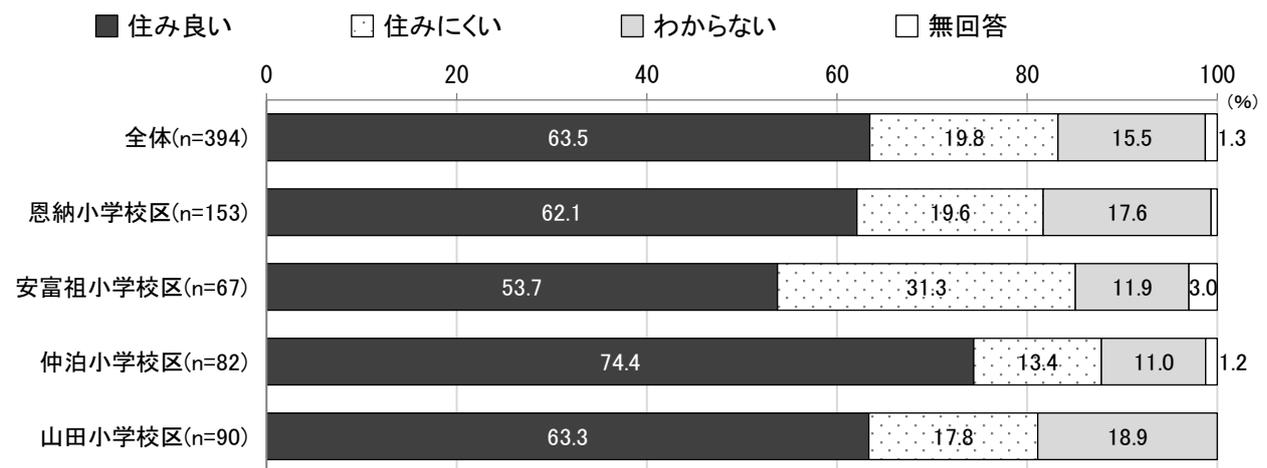
また、全体の9割を超える方が「地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域にしていかなければならない」と感じています。

これらのことから地域住民が主体的に関わり、それぞれの地域のニーズに合わせた取り組みを進めていくことが重要になると考えられます。

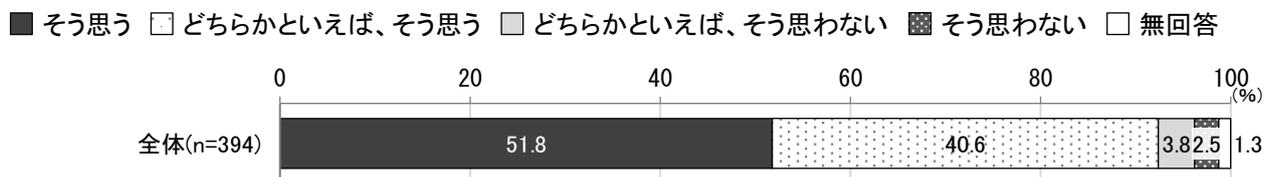
地域への愛着(全体・地域別)



住みやすさ(全体・地域別)



地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域にしていかなければならない



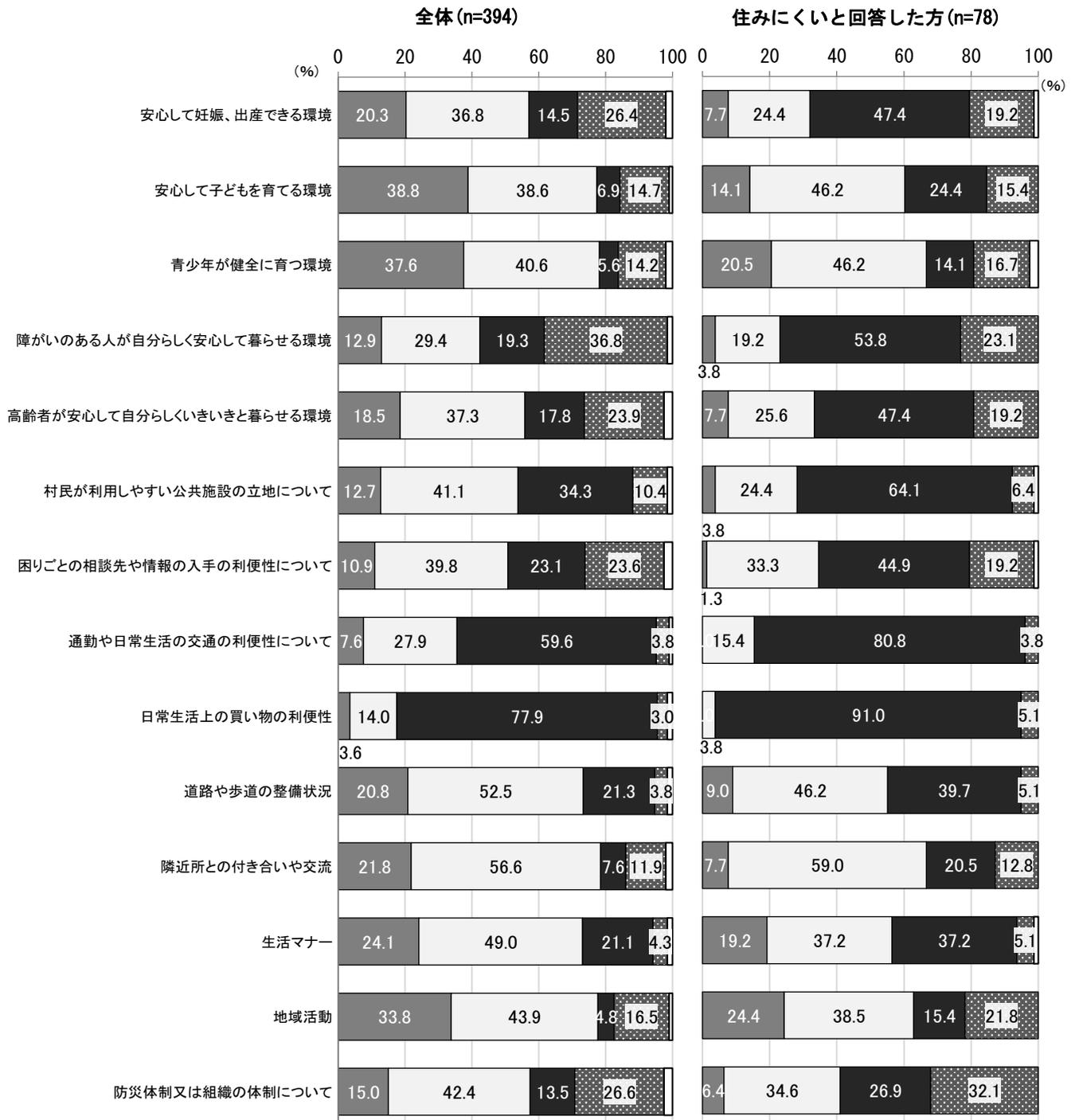
(2)地域の環境について

生活環境では、「日常生活上の買い物の利便性」、「通勤や日常生活（銀行、郵便局、病院など）の交通の利便性」、「村民が利用しやすい公共施設の立地」の順で、「悪い方だと思う」の割合が高く、特に買い物の利便性については8割近くの方が悪いと感じています。恩納村について「住みにくい」と感じていると回答した方に限っては9割を超えています。

また、地域別では課題認識には差があり、安富祖小学校区では他の地域と比べて生活環境全般に対する不満が大きいことがわかります。地域別の課題については、ワークショップや意見交換会などを通して地域の必要な取り組みを洗い出すことが重要だと考えます。

地域の環境

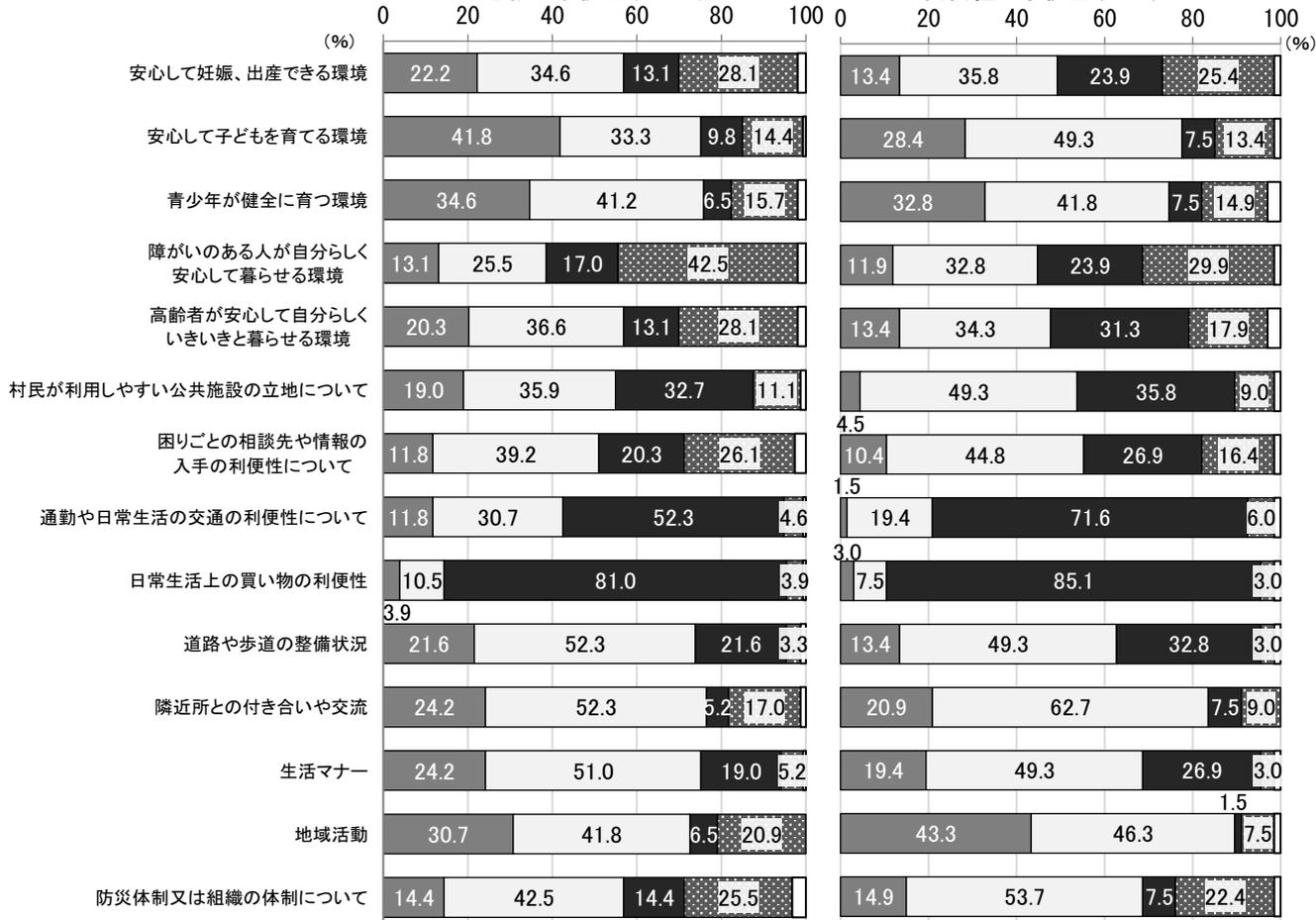
■ 良い方だと思う □ 普通だと思う ■■■ 悪い方だと思う ■■■■ わからない □ 無回答



■ 良い方だと思う □ 普通だと思う ■ 悪い方だと思う ■ わからない □ 無回答

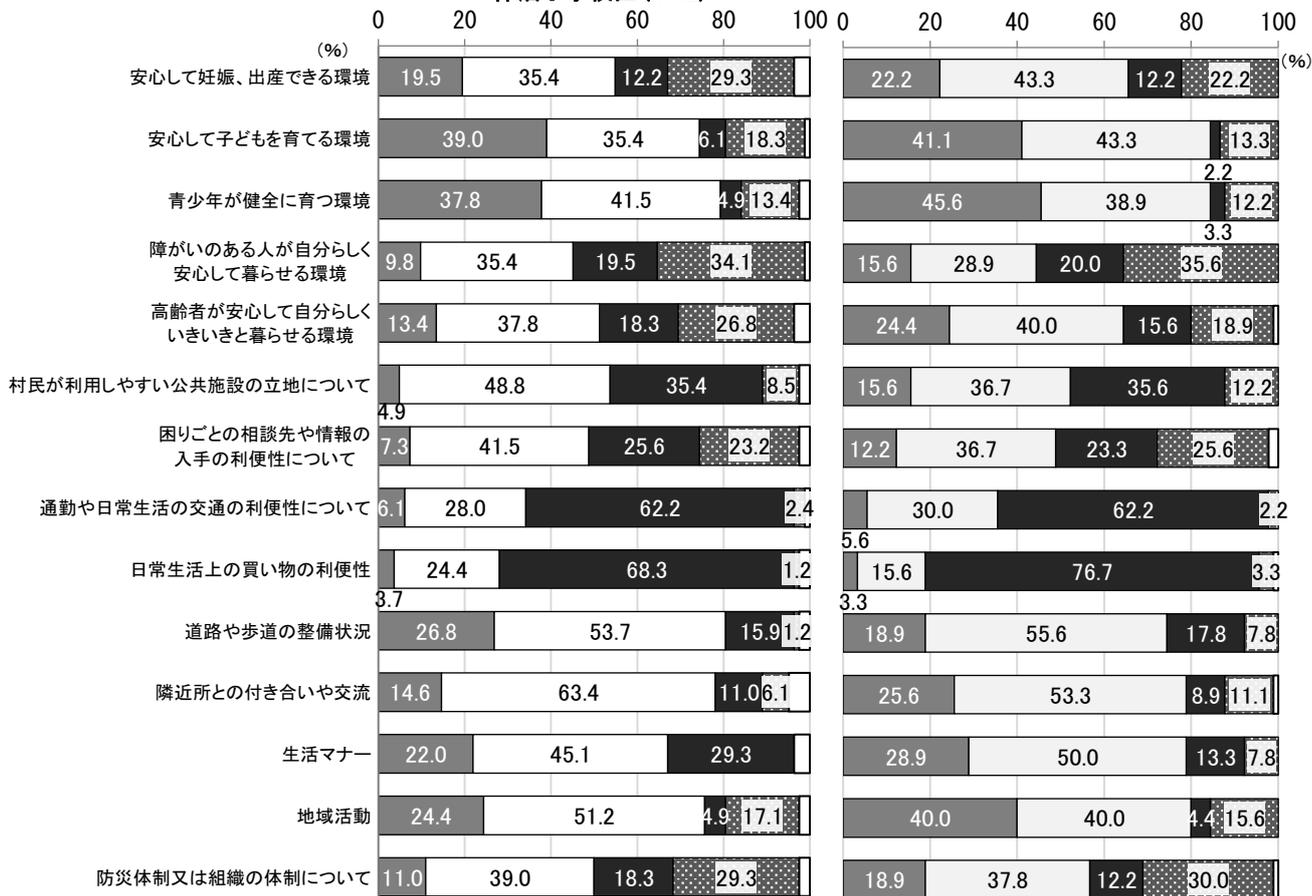
恩納小学校区 (n=153)

安富祖小学校区 (n=67)



仲泊小学校区 (n=82)

山田小学校区 (n=90)



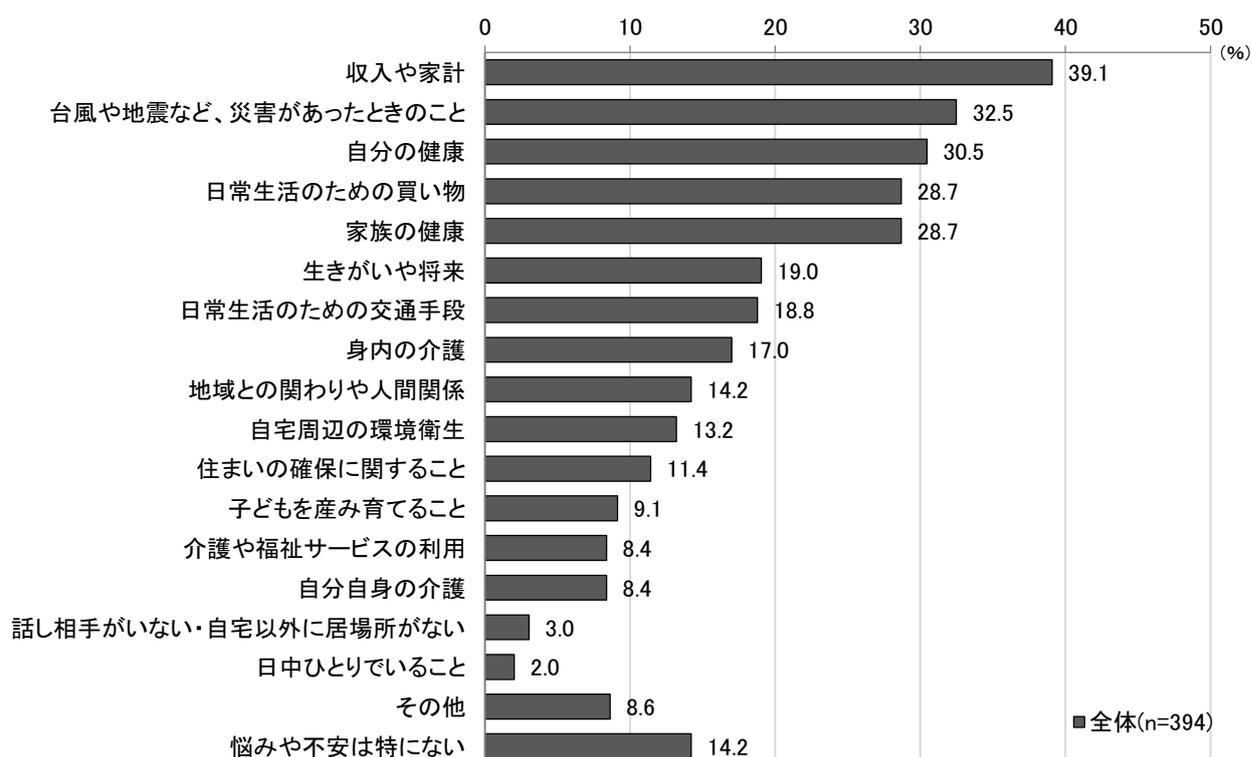
4 悩み・困りごと

(1)生活上の悩みや不安

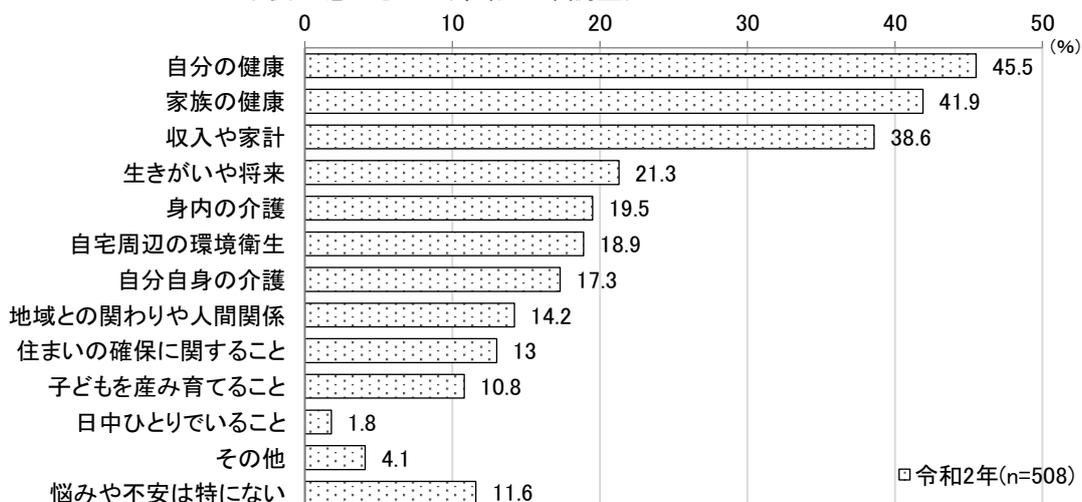
普段の暮らしの中の困りごと・心配ごと・悩みごとについて、「収入や家計」が最も高く、次いで「台風や地震などの災害があったときのこと」となっています。地域別の特徴としては、安富祖小学校区で「日常生活のための買い物」が最も高く、仲泊小学校区では「台風や地震など、災害があったときのこと」が「収入や家計」と並んで最も高くなっています。

また、相談先では、自殺や自殺未遂者に関して相談できる機関について「相談できるところを知らない」と回答した方が約4割となっており、情報の周知について課題があります。

どんな困りごと・心配ごと・悩みごとがあるか

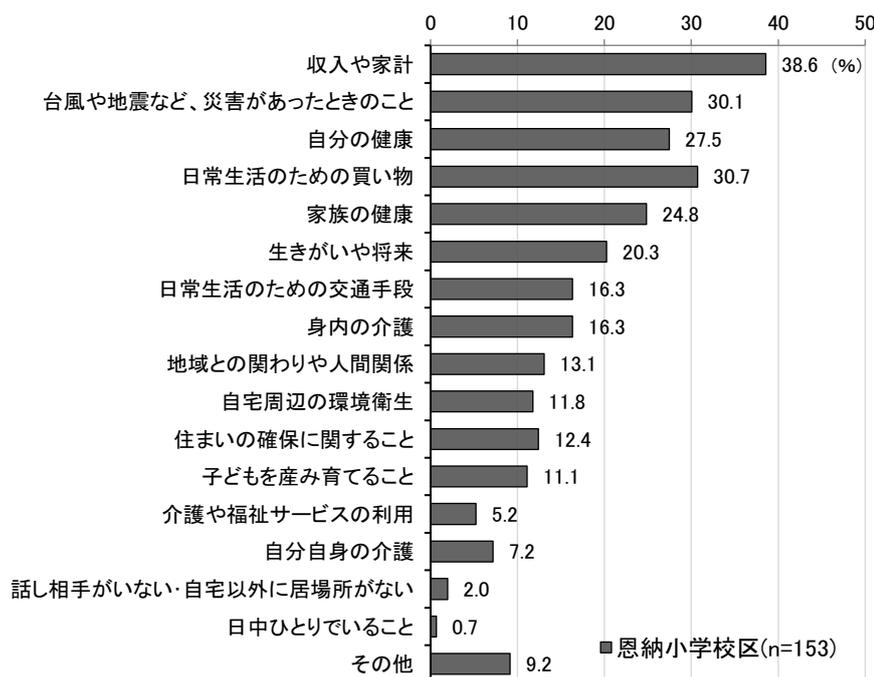


不安に感じること(令和2年調査)

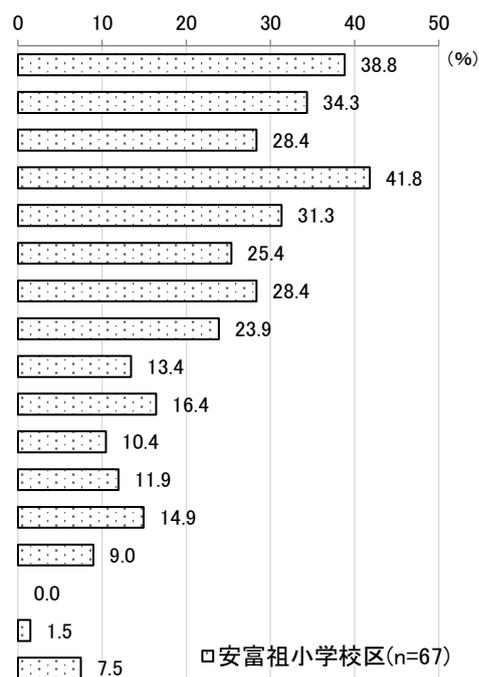


困り・心配・悩み(地域別)

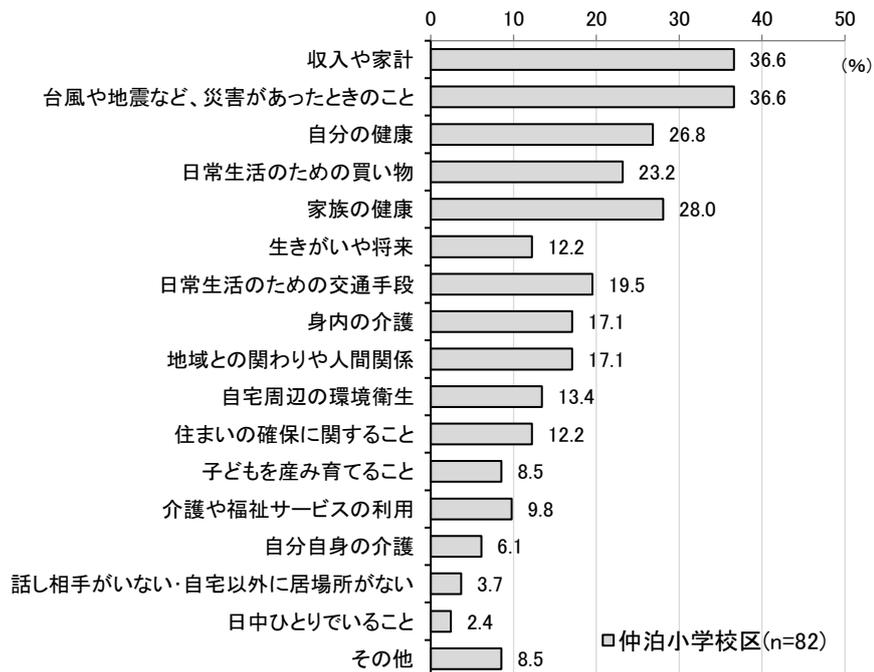
恩納小学校区



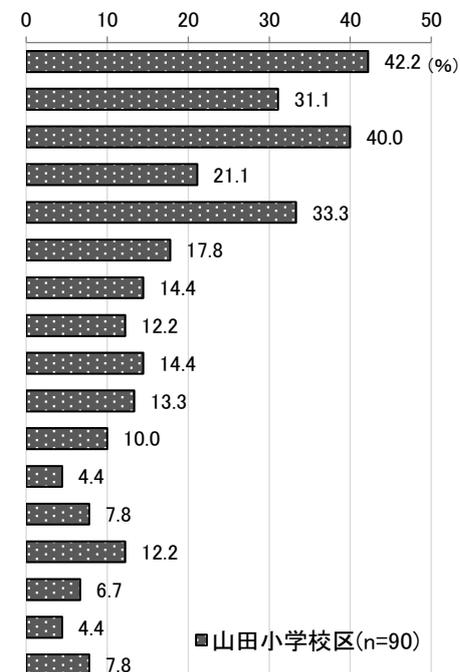
安富祖小学校区



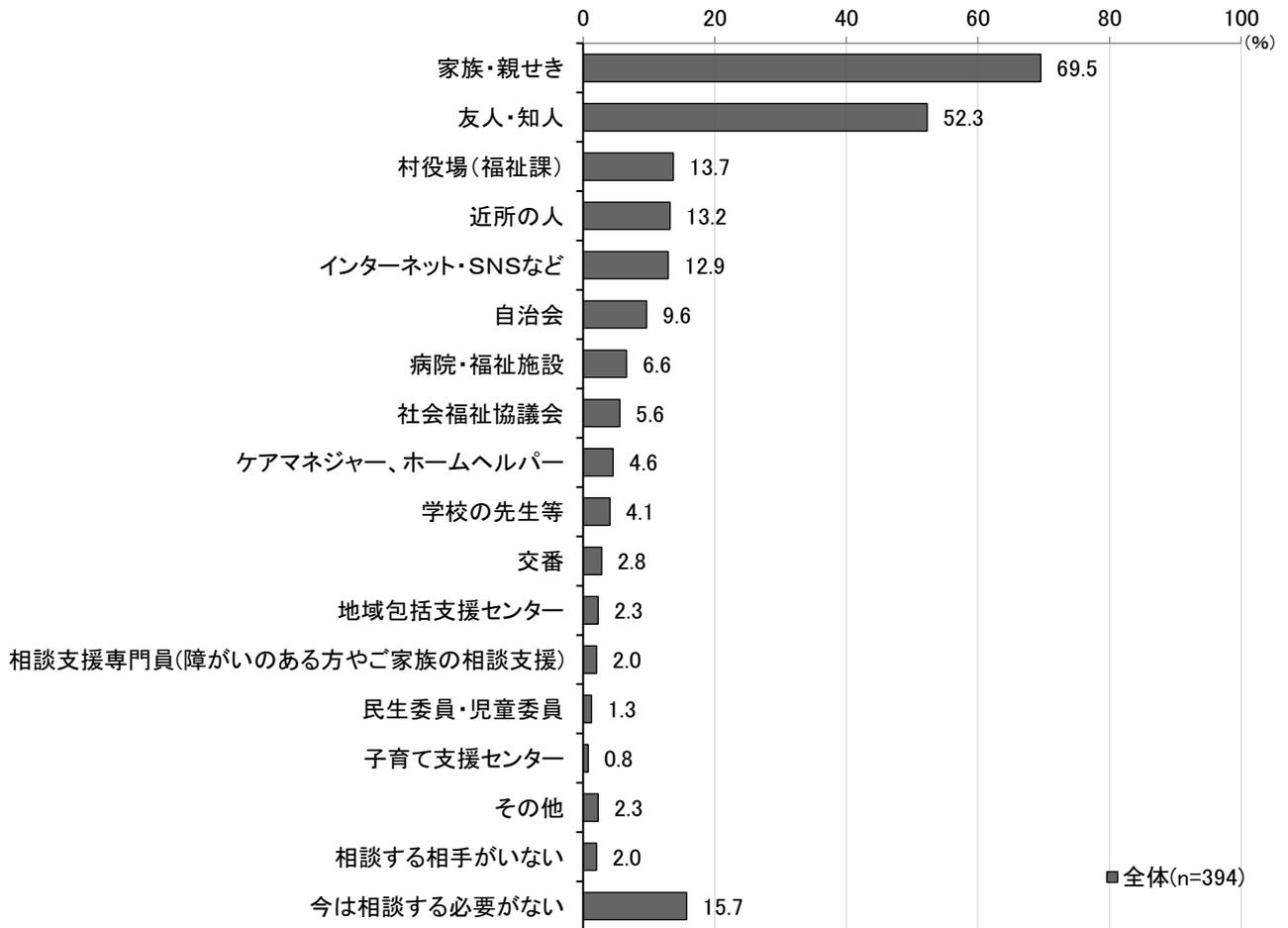
仲泊小学校区



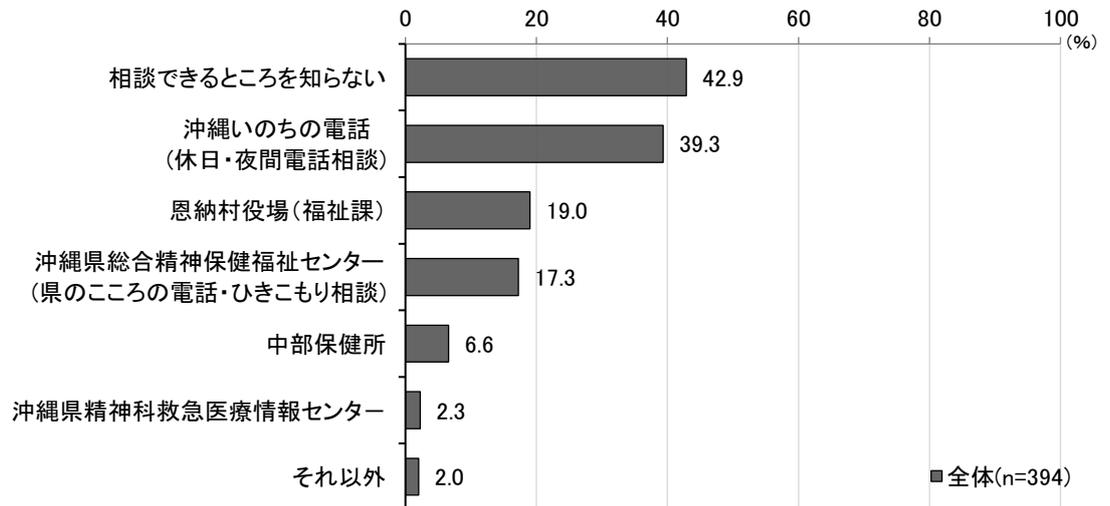
山田小学校区



困りごと・心配ごと・悩みごとを解決したい時の相談先



自殺や自殺未遂者に関して相談できる機関の認知度



5 災害への対応

(1)防災意識

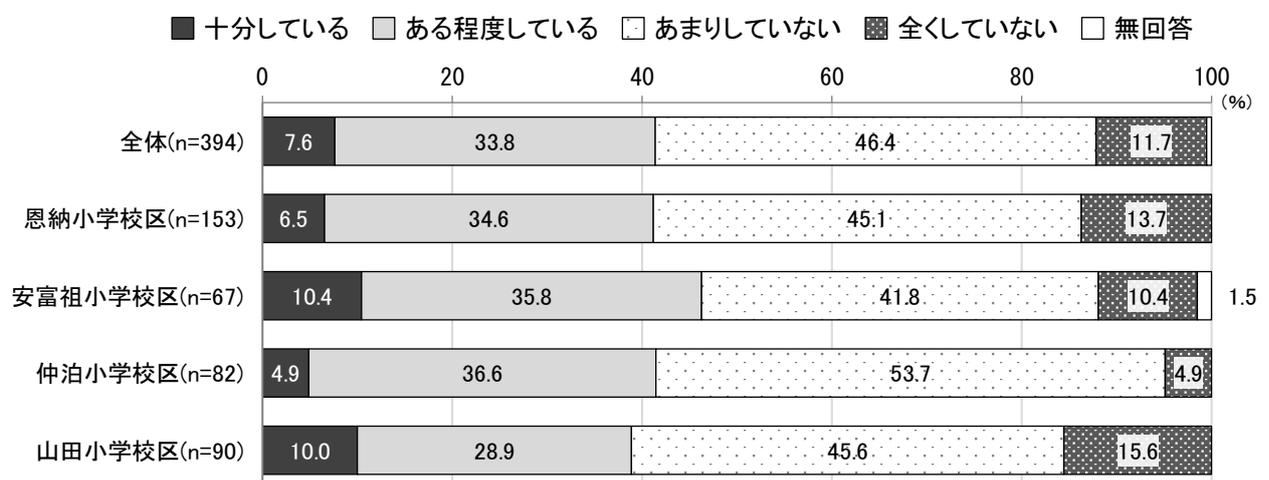
地震や台風・大雨などの災害に対する備えについて、「十分している」と回答した割合は全体で7.6%に留まり、6割近い方が「あまりしていない」「全くしていない」と回答しています。災害時の避難場所を認識している方は全体の66.2%となっています。

全体として、住民の災害に対する意識や備えが十分とは言えず、地域間で差が見られます。この背景には、地域コミュニティのつながりの希薄化や、防災に関する情報提供の不足、防災訓練の機会の不足などが考えられます。

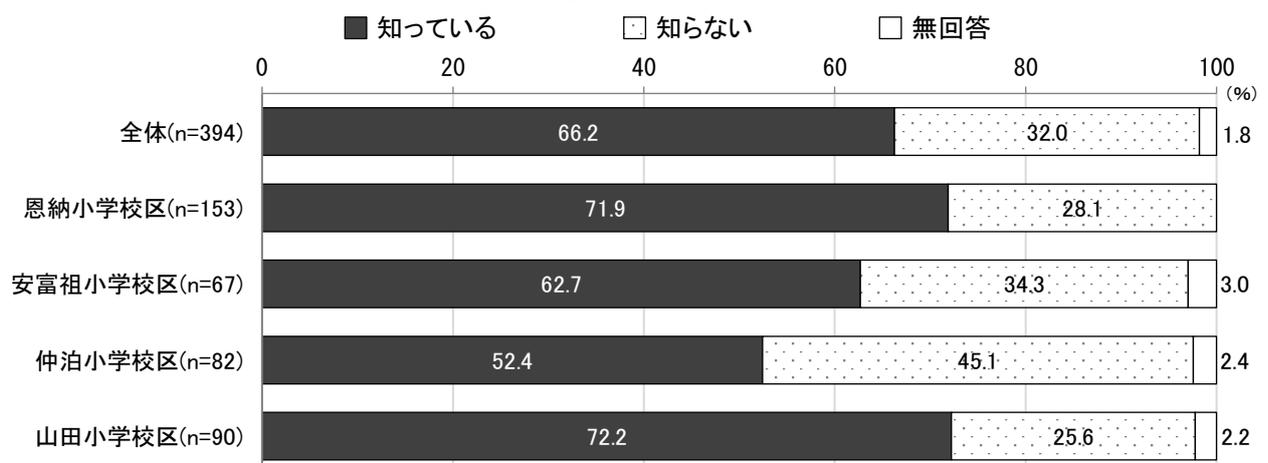
地域別でみると、仲泊小学校区では困りごと・悩みごとの設問で「台風や地震などの災害があったときのこと」が比較的高くなっていましたが、避難場所の認知度は他の地域よりも低くなっています。

村民一人ひとりの災害に対する備え、自助の意識向上は重要な課題です。災害はいつ発生するか予測が困難であり、日頃からの備えが被害軽減に不可欠です。今後、防災に関する情報提供や啓発活動を通じて、村民全体の自助意識を高め、具体的な行動に繋げていく必要があります。

地震や台風・大雨などの災害に対する備え(全体・地域別)



避難場所の認知度(全体・地域別)



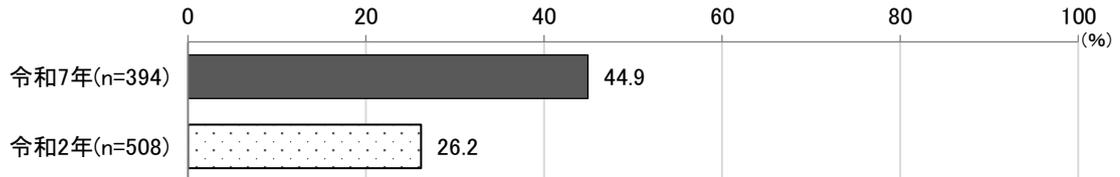
6 福祉サービス・福祉に関する情報

(1) 地域を支える担い手

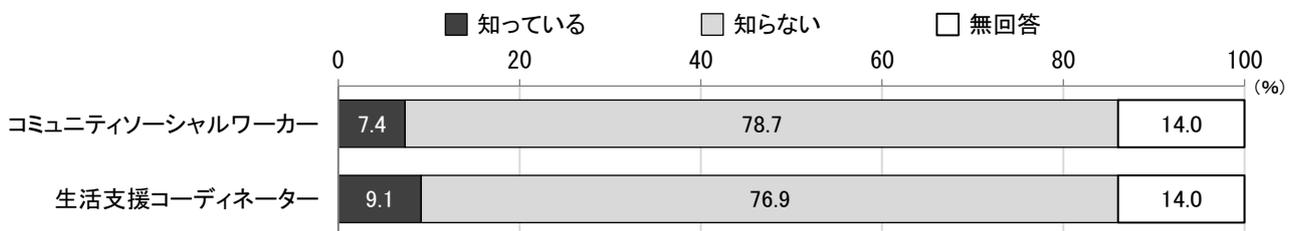
支援が必要な場合に行政などにつなぐパイプ役を務める民生委員・児童委員については、知っている方は全体の5割に満たない状況です。コミュニティソーシャルワーカーや生活支援コーディネーターはそれぞれ「知っている」と回答した方が1割未満と低くなっています。

必要な方が適切な支援を必要な時に受けられるよう、地域住民に対し、地域の担い手の役割や活動を周知するとともに、人材確保・育成の取り組みと活動への支援体制を強化することが重要です。

自分の地区の民生委員・児童委員を知っていると回答した割合(前回調査との比較)



コミュニティソーシャルワーカー・生活支援コーディネーターの認知度

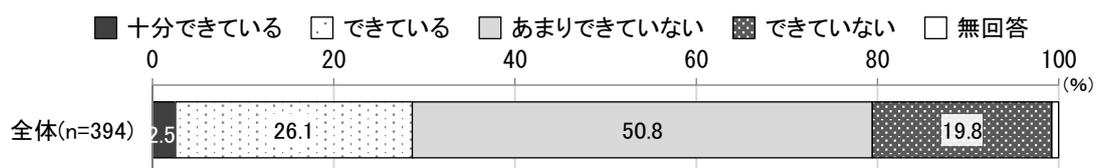


(2) 福祉に関する情報の入手について

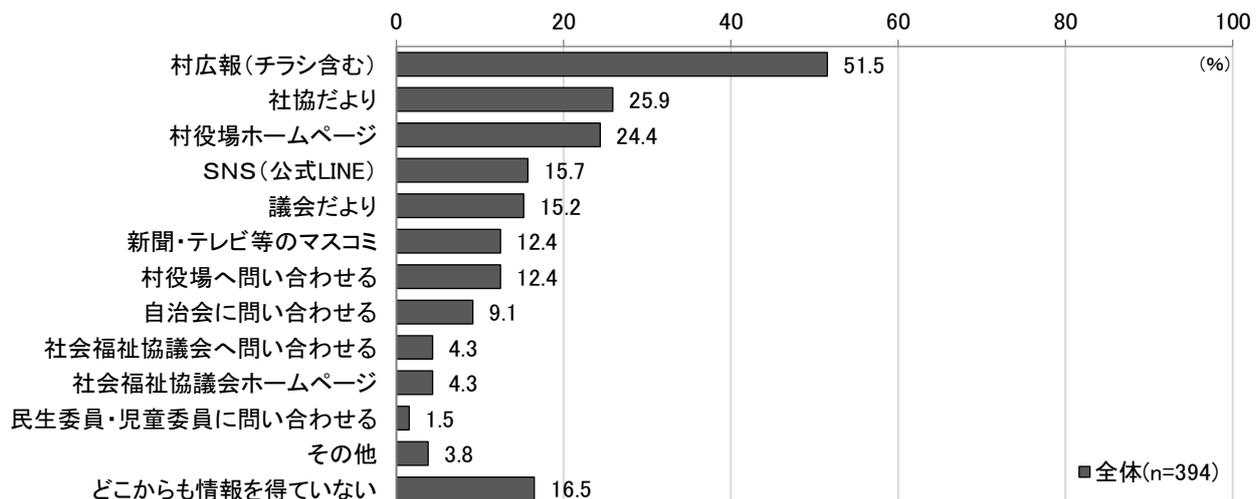
福祉に関する必要な情報の入手が十分にできていないと感じる層が存在します。「十分できている」と回答した方は2.5%に留まり、約7割が「あまりできていない」もしくは「できていない」と回答しています。

情報の入手先では、村の広報や社協だよりといった紙媒体を通じた情報取得の割合が高くなっています。今後は、情報伝達手段の多様化や、情報弱者への配慮が求められます。

福祉に関する必要な情報の入手(全体)



地域の情報や福祉の情報入手先



7 現状・課題の整理

(1)地域との関わり(基本目標1:お互いさまの心で支え合うひとの輪を広げる!)

福祉や地域に関する情報提供、地域コミュニティ活性化への取り組みが課題として挙げられます。

アンケート結果では、地域活動やボランティア活動など住民の相互協力の意識が前回調査よりも高まっていることがわかります。また、全体の9割以上が「地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域にしていかなければならない」と感じています。しかしながら、情報や活動の機会を得られず、実際の行動には十分結びついていない状況が見て取れます。地域社会におけるコミュニケーション不足は、日常的な助け合いだけでなく、災害時や緊急時等においても相互支援の遅れに繋がりがかねません。より多くの住民が主体的に地域活動に関わり、支え合う関係性を構築できるよう、活動等の具体的な情報提供や地域コミュニティの活性化、住民同士の繋がりを深めるための取り組みが求められます。

また、住民全体に福祉に関する情報が十分に行き渡るよう、今後は多様な媒体を活用した情報提供が求められます。

(2)みんなで支え合う(基本目標2:みんなで支え合う仕組みをつくる!)

相談しやすい環境づくり、包括的支援体制の整備、地域の担い手確保・活動支援が課題として挙げられます。

アンケート結果から、複数の課題を抱える世帯の存在や、顕在的・潜在的な支援ニーズの存在が示唆されています。困りごとを抱えた住民が相談しやすい環境を作るとともに、複合・複雑化した支援ニーズにも対応できるよう包括的な相談支援体制の整備が必要です。

住民を支える重要な役割を担う地域の民生委員・児童委員について、前回調査より認知度が向上しています。これまで支援を求められなかった住民が、必要な支援に繋がる可能性が高まったと推測されます。今後、多様化する世帯の課題に向けて、さらなる地域の担い手確保と活動支援が求められます。

地域では困りごとを抱えている住民に気づき、声掛けや必要な支援につなげるなど地域の中で受け止められるような体制づくりが必要です。そのためには、自治会をはじめ関係機関と連携しながら、公民館などの地域資源を活用した新たなつながりを模索することも必要と考えます。

(3)安心、安全な環境づくり(基本目標3:安心、安全をつくる!)

移動手段の確保、買い物支援、災害対策が課題として挙げられます。

地域の環境では、買い物や交通の利便性について不満を感じている方が多くいることがわかります。地域生活を支える基盤を強化するためには、移動に支援が必要な方の日常生活における移動支援や買い物の利便性向上に向けた検討が必要と考えます。

悩みや困りごとでは、「収入や家計」に次いで、「台風や地震などの災害があったときのこと」が挙げられています。しかし、多くの世帯で災害への備えが十分でなく、住民の災害意識を高めることが求められます。そのほかにも避難行動要支援者への支援、防災体制の整備、災害時の情報伝達のための環境整備も必要です。また、高齢者のみの世帯や母子世帯、少人数世帯で障がい者、難病、介護が必要な方のいる世帯も一定数存在することから、地域でお互いに助け合う仕組みを整えておく必要があります。

生活環境、困りごとについては、地域によって差が見られます。例えば、仲泊小学校区の困りごとでは、経済的な問題と並び、災害に関することが最も高く、安富祖小学校区では、買い物に関する困りごとが最も高いといったように、地域特性に応じた課題が存在することが示唆されています。

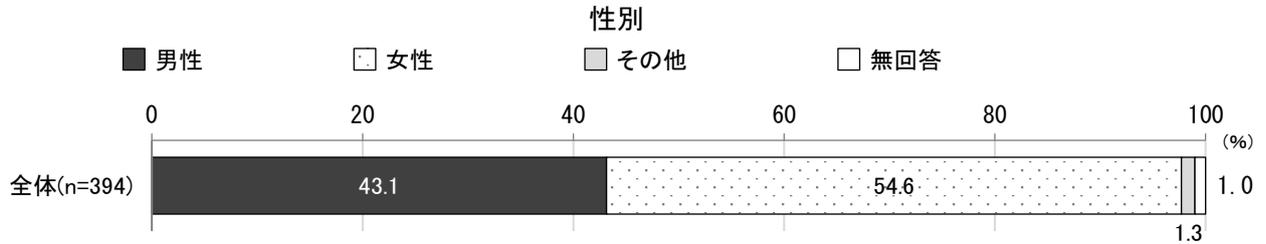
このような状況を踏まえ、地域別の課題については、ワークショップや意見交換会などを通して地域の必要な取り組みを洗い出すことが重要だと考えます。

Ⅲ 調査結果(設問ごとの集計)

1 回答者自身のことについて

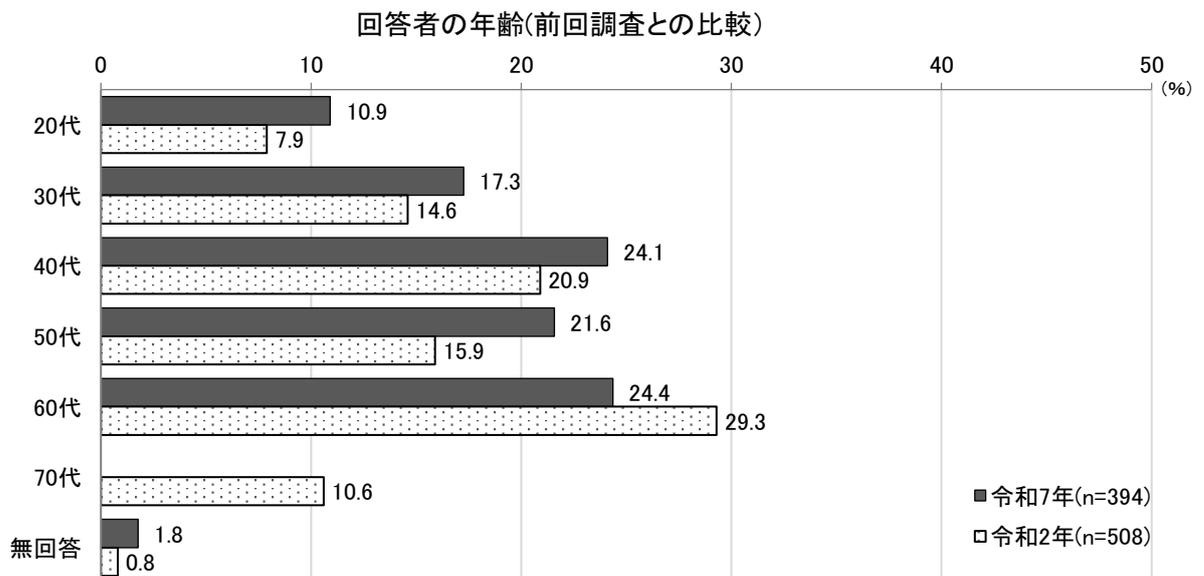
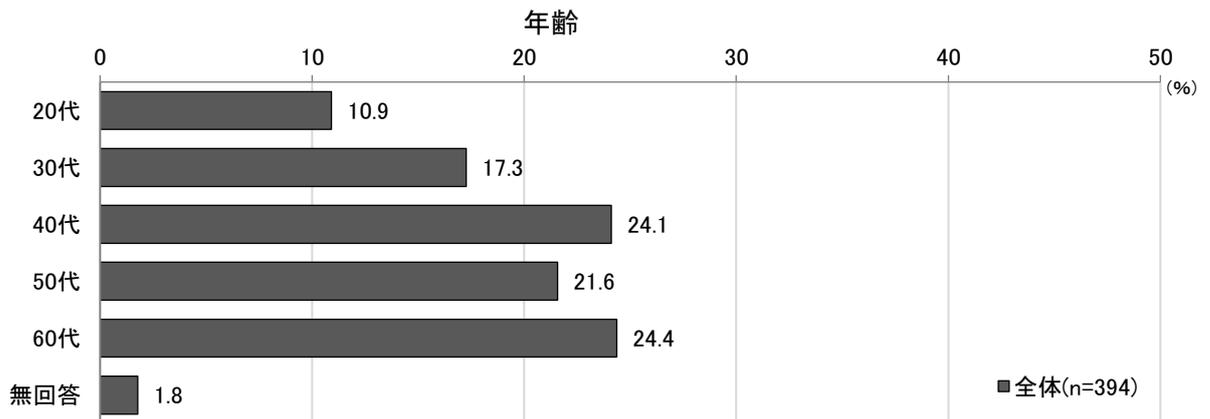
問1 1性別はどちらですか。

「男性」が43.1%、「女性」が54.6%、「その他」が1.3%となっています。



問2 あなたの年齢は次のどれですか。(令和7年1月1日現在)

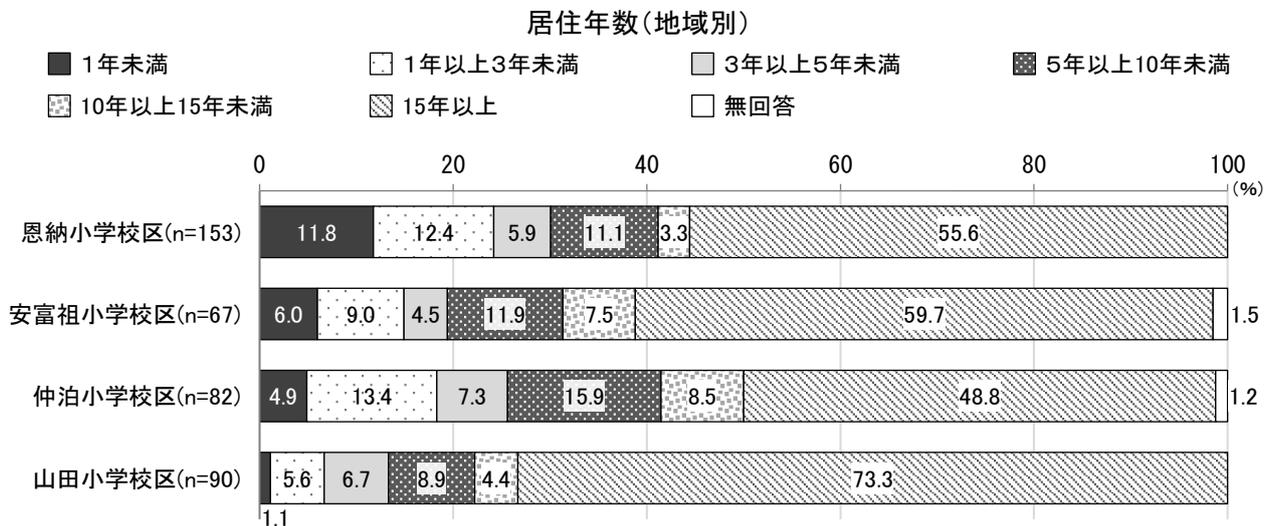
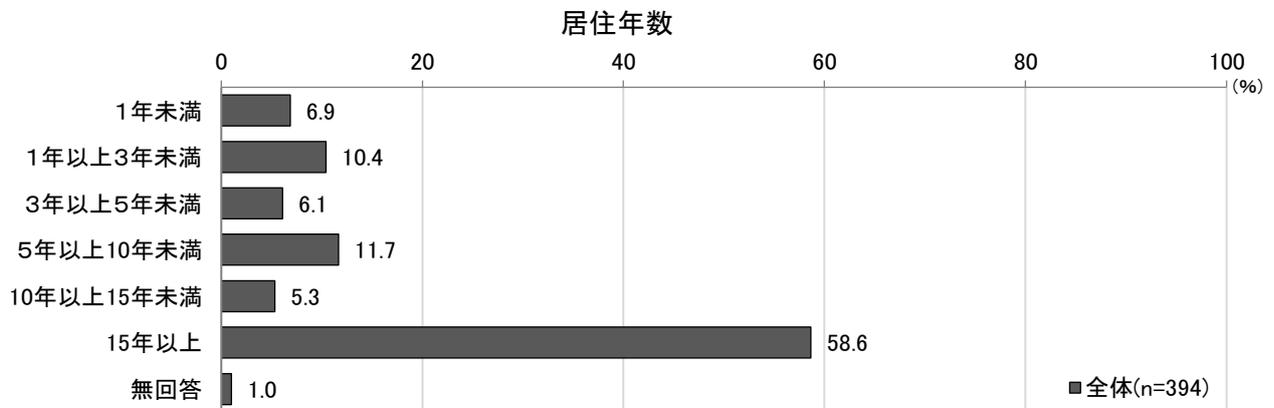
「60代」が最も高く24.4%、次いで「40代」が24.1%となっています。



※令和7年調査では20-60代のみ

問3 あなたは恩納村に住んでどれくらいになりますか。

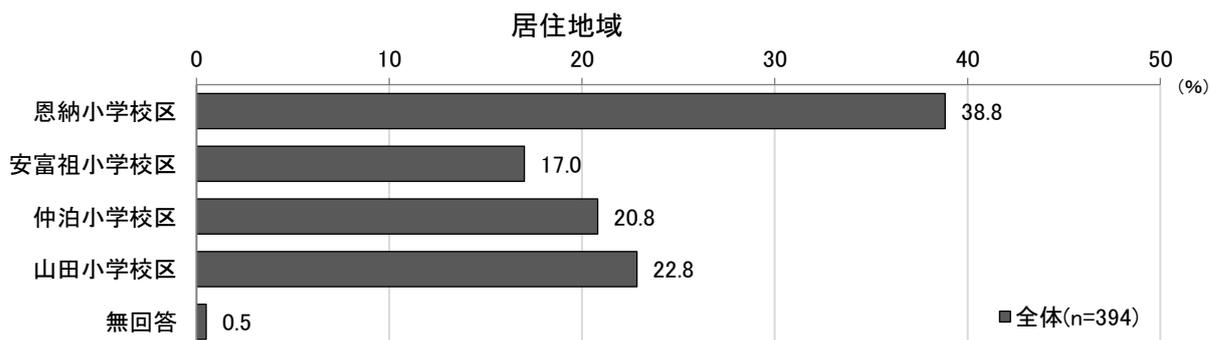
全体で見ると、「15年以上」が58.6%と半数以上を占めています。地域別にみると山田小学校区で「15年以上」が最も高く73.3%、恩納小学校区では、他の地域より居住年数が浅い世帯の割合が高くなっています。



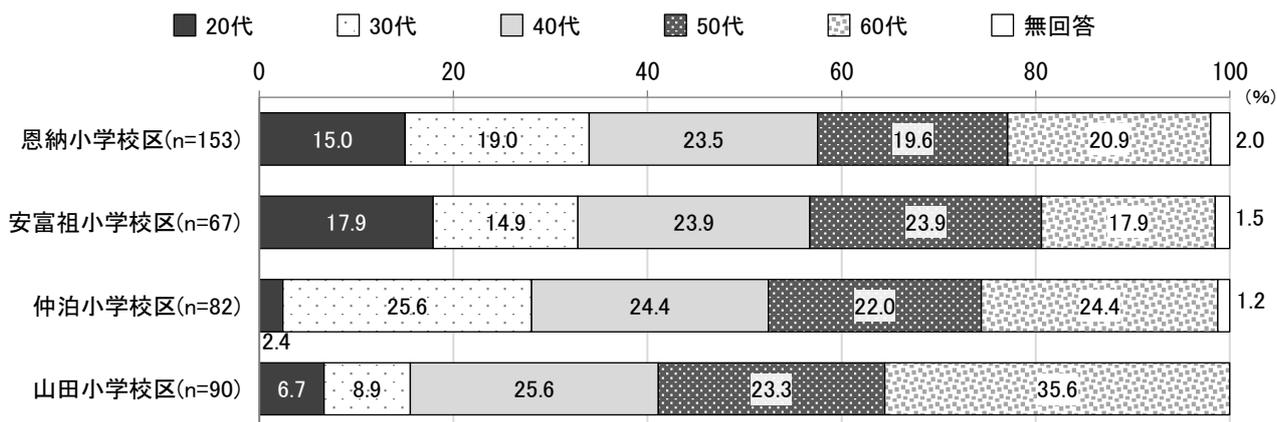
問4 あなたの住んでいる地域は次のどれですか。

「恩納小学校区」が38.8%、「安富祖小学校区」が17.0%、「仲泊小学校区」が20.8%、「山田小学校区」が22.8%となっています。

地域の年齢割合をみると、「安富祖小学校区」では最も年齢のばらつきが少なく、「仲泊小学校区」では20代の割合が極端に低くなっています。また、「山田小学校区」では20~30代が少なく、60代が最も高くなっています。



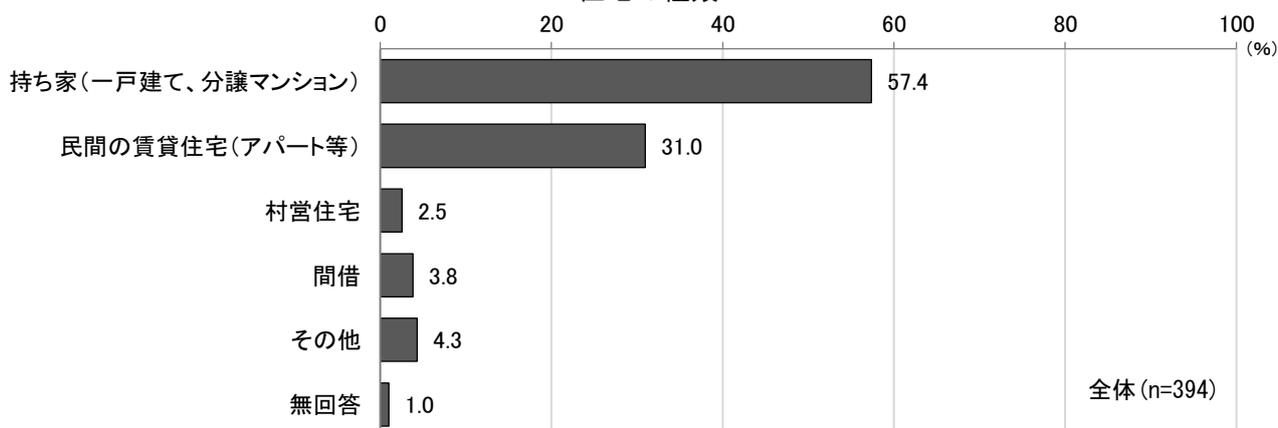
居住地域(年齢別)



問5 お住まいの住宅の形態を教えてください。

「持ち家(一戸建て、分譲マンション)」が最も高く 57.4%、次いで「民間の賃貸住宅(アパート等)」が 31.0%となっています。地域別で見ると、安富祖小学校区と山田小学校区で「持ち家(一戸建て、分譲マンション)」が7割を超えており、仲泊小学校区では「民間の賃貸住宅(アパート等)」が約5割と他の地域より高くなっています。

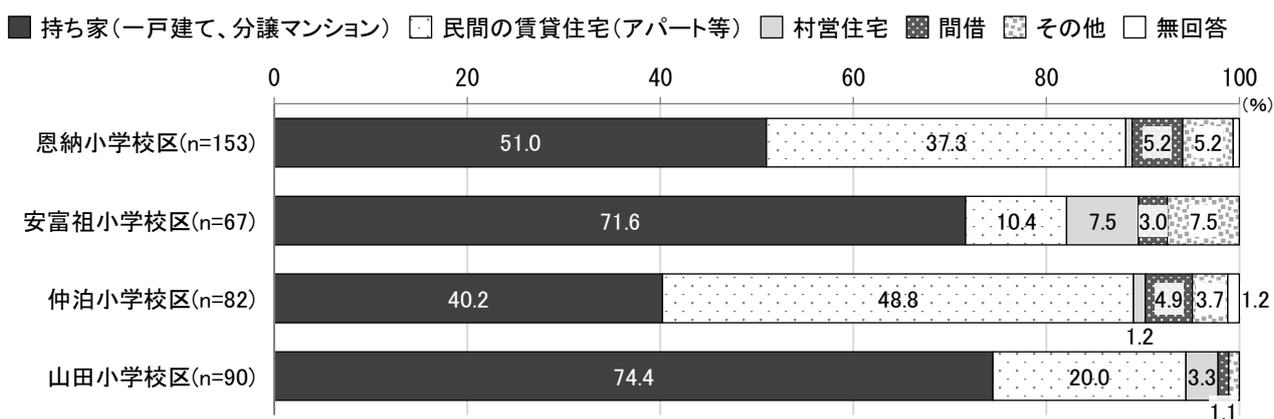
住宅の種類



【その他の意見】

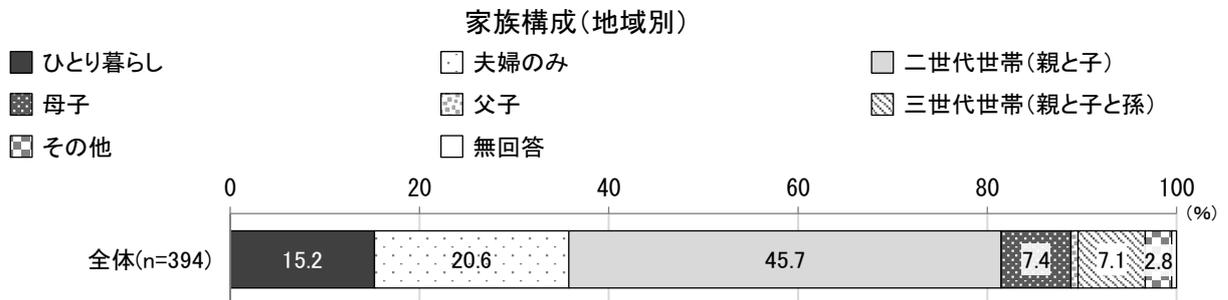
学生寮/OIST/社員寮・社宅/シェアハウス/住み込み

住宅の種類(地域別)



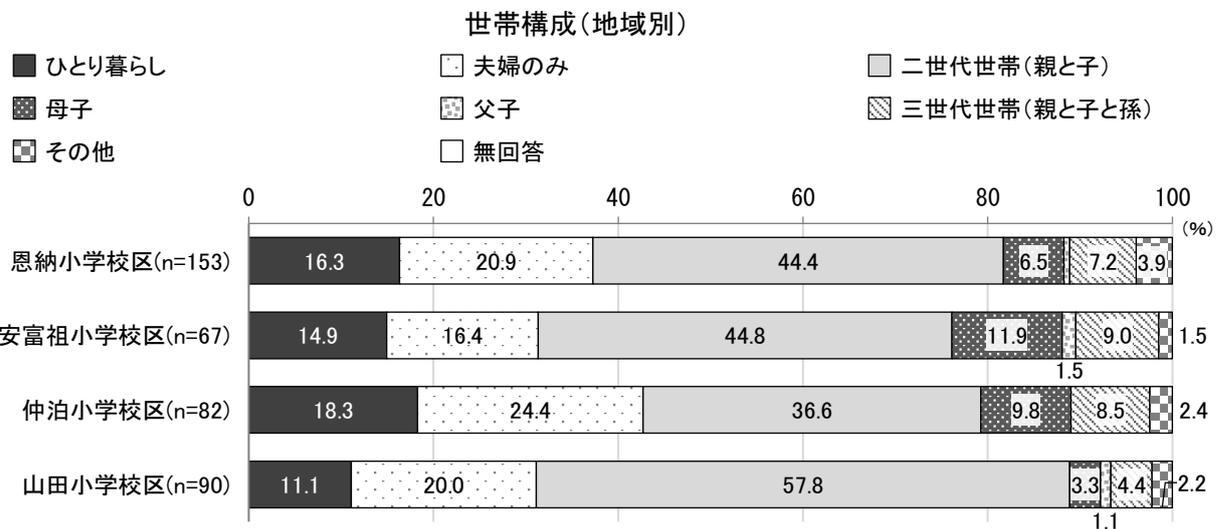
問6 あなたの家族構成を教えてください。

「二世帯世帯(親と子)」が最も高く 45.7%、次いで「夫婦のみ」が 20.6%となっています。地域別で見ると、仲泊小学校区で「ひとり暮らし」、「夫婦のみ」といった少人数世帯の割合が他の地域より高くなっています。



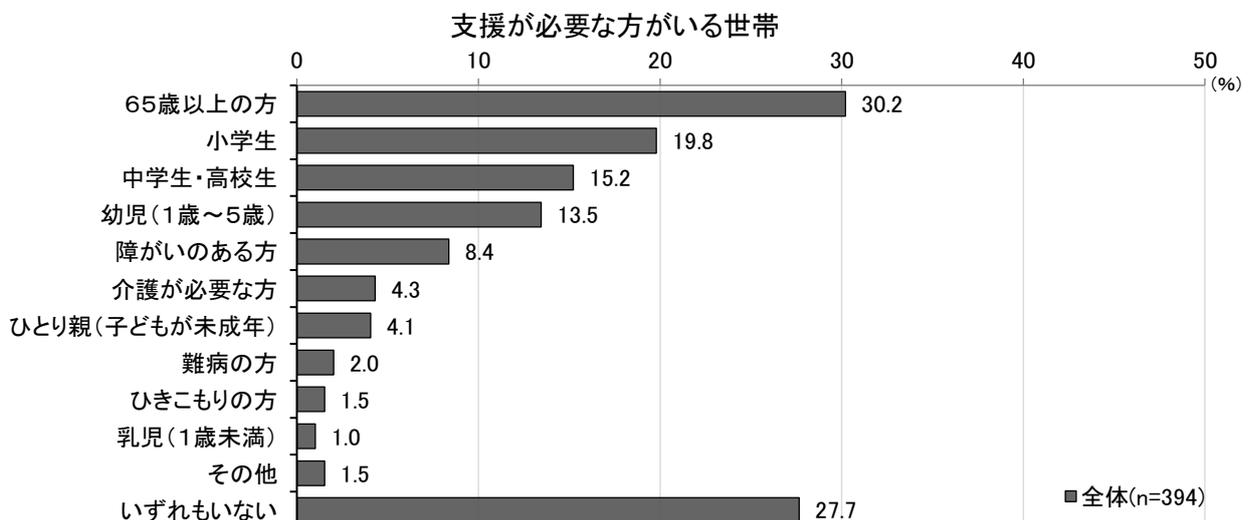
【その他の意見】

兄弟姉妹夫婦／同棲



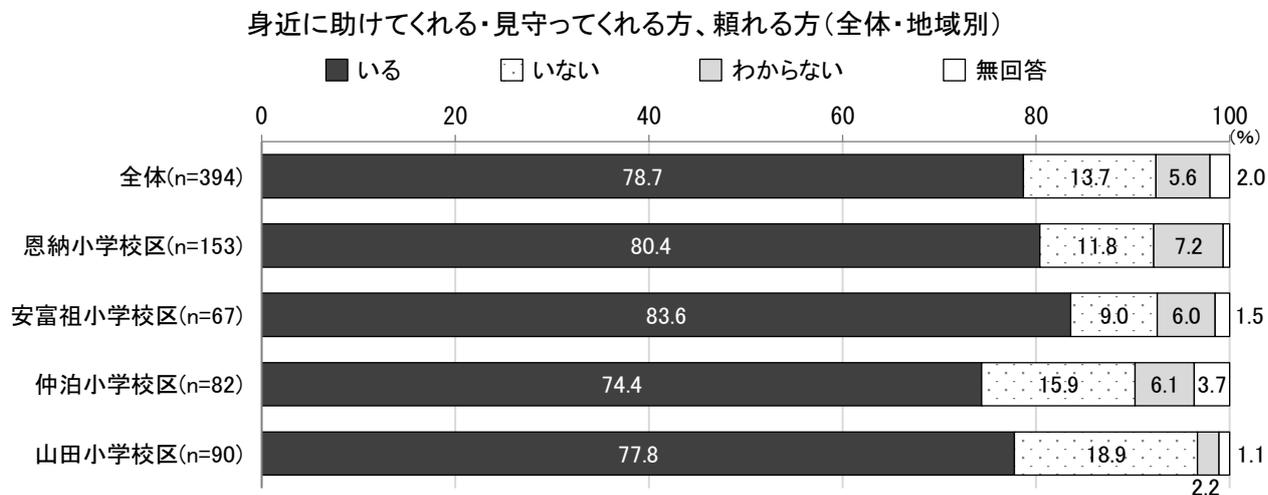
問7 あなたのご家族で次に該当する方はいらっしゃいますか。(複数回答)

家族の中に「65歳以上の方」がいる世帯が 30.2%と最も高く、次いで「小学生」、「中学生・高校生」、「幼児(1歳~5歳)」といった子育て世帯となっています。



問8 あなたには、身近に助けてくれる・見守ってくれる方、頼れる方はいますか。

全体で見ると、身近に助けてくれる・見守ってくれる方、頼れる方が「いる」と回答した方が 78.7%と最も高くなっていますが、13.7%の方が「いない」と回答しています。地域別で見ると、安富祖小学校区で「いる」と回答した方が 83.6%と他の地域より高くなっていますが、山田小学校区では約 2 割の方が「いない」と回答しています。



【身近に助けてくれる・見守ってくれる方、頼れる方】

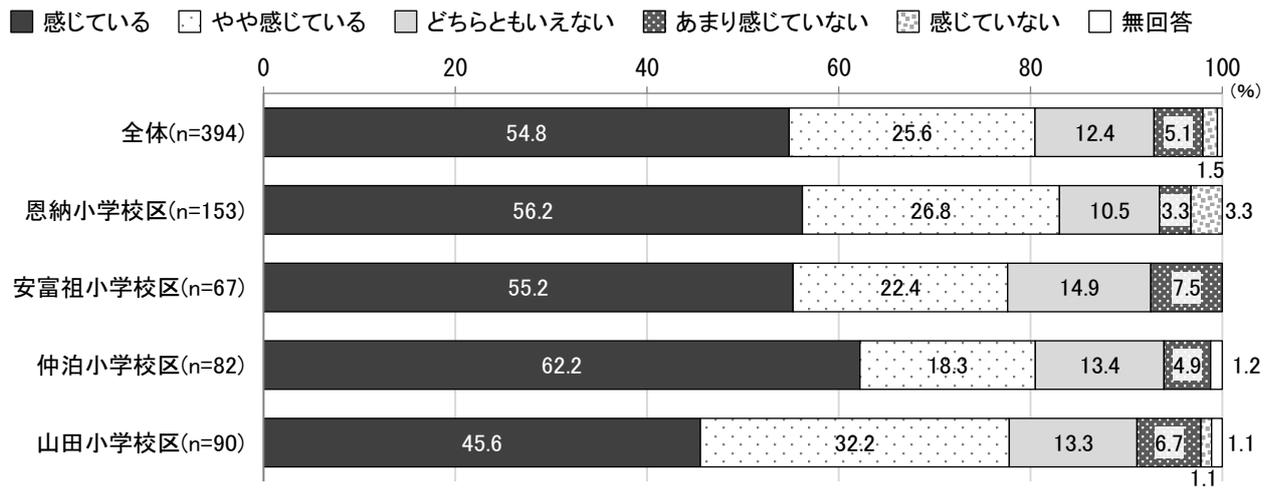
家族／同僚／友人／近隣住民／親戚／民生委員・児童委員／同居人／職場・上司

2 お住まいの地域について

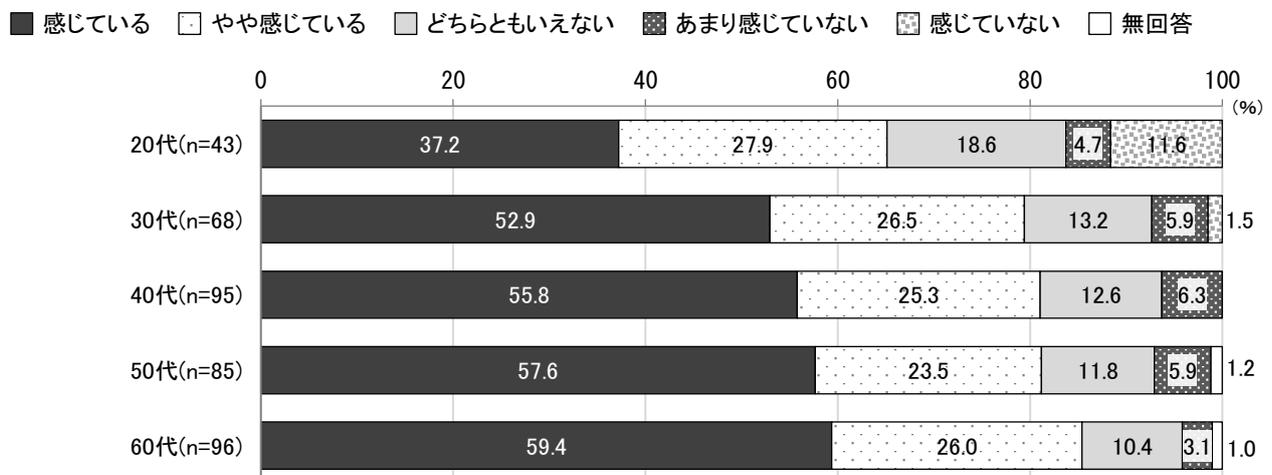
問9 あなたは、現在お住まいになっている地域に愛着を感じていますか。

全体で見ると、愛着を感じている（「感じている」＋「やや感じている」）が80.4%となっており、愛着を感じていない（「感じていない」＋「あまり感じていない」）が6.6%となっています。地域別で見ると、愛着を感じている割合は、どの地域も8割前後と大きな差は見られません。また、20代の1割が愛着を「感じていない」と回答しています。

地域への愛着（全体・地域別）



地域への愛着（年齢別）



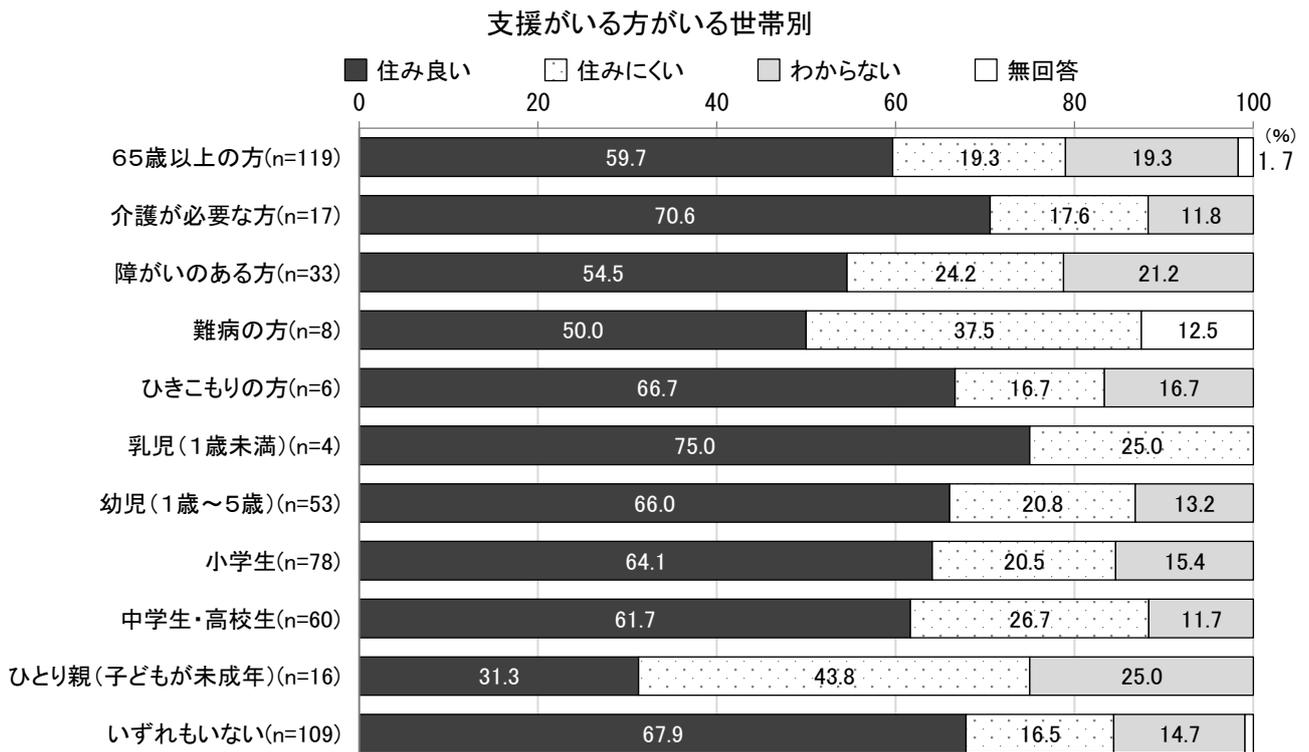
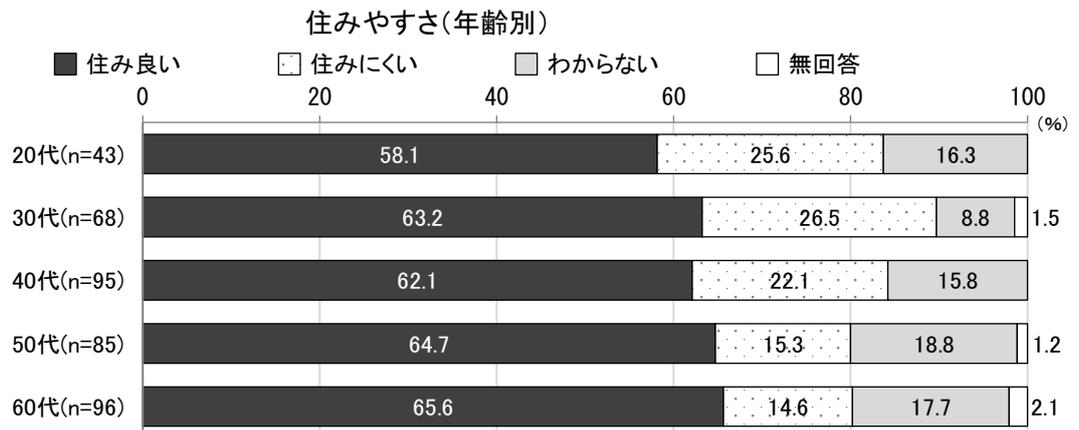
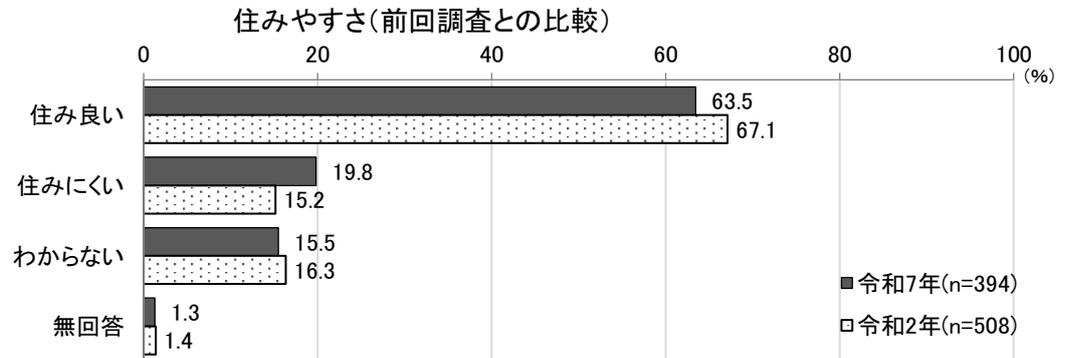
問9-1 愛着を感じる・感じない理由を記入してください。

項目	回答の多い項目・主な内容
愛着を感じている やや感じている	生まれた場所、生まれ育った場所、長く住んでいる／自然が豊か／住み心地が良い、住みやすい／近隣住民や地域住民との関係が良い／人が優しい／静かな環境
どちらともいえない	住みやすい／自然が多い／商業施設や学校までのアクセスが悪い／地域の行事などに参加できない／商店や人々が自然に集うカフェ等、繋がる機会が少ない／地域コミュニティが行き届いていない
あまり感じていない 感じていない	生活の不便さ／地域に溶け込めないこと・地域の繋がりが無い／村外の出身／行事や関係ない草刈り作業が多い／引越して間もない／友人や知り合いがいない

問10 あなたは、恩納村が住み良いと思いますか。

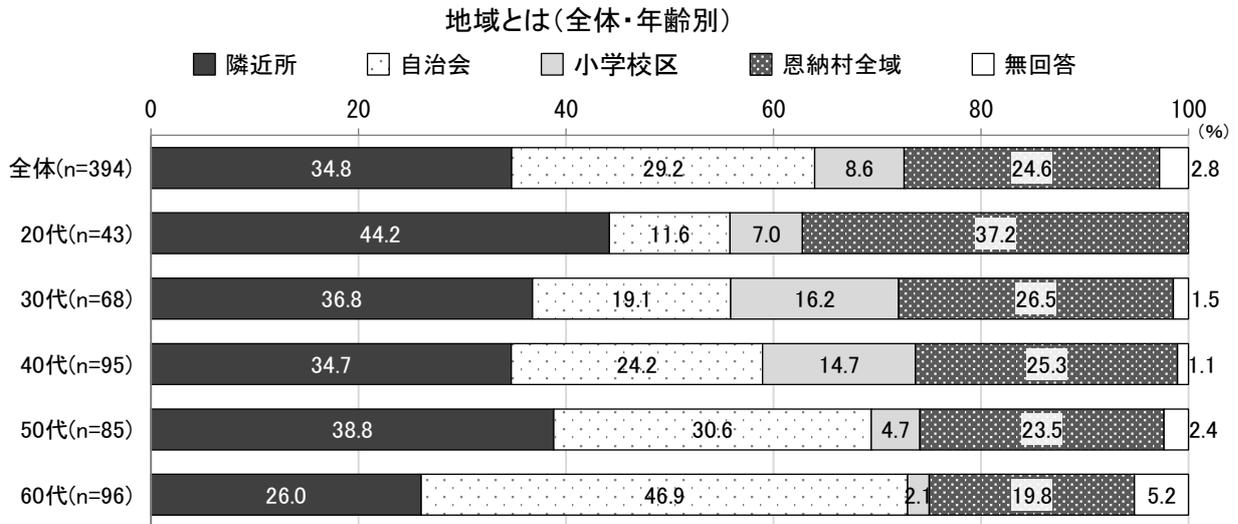
「住み良い」が63.5%、「住みにくい」は19.8%となっていますが、「住み良い」が前回調査よりやや減少し、「住みにくい」と感じる世帯が増加しています。年齢別でみると、20代、30代では「住みにくい」がやや高い傾向にあります。

また、支援が必要な方がいる世帯では、そうでない世帯（「いずれもない」と回答）よりも「住みにくい」と感じる割合が高い傾向にあります。特に、未成年の子どもを持つひとり親家庭では、「住みにくい」と感じる割合が高くなっています。



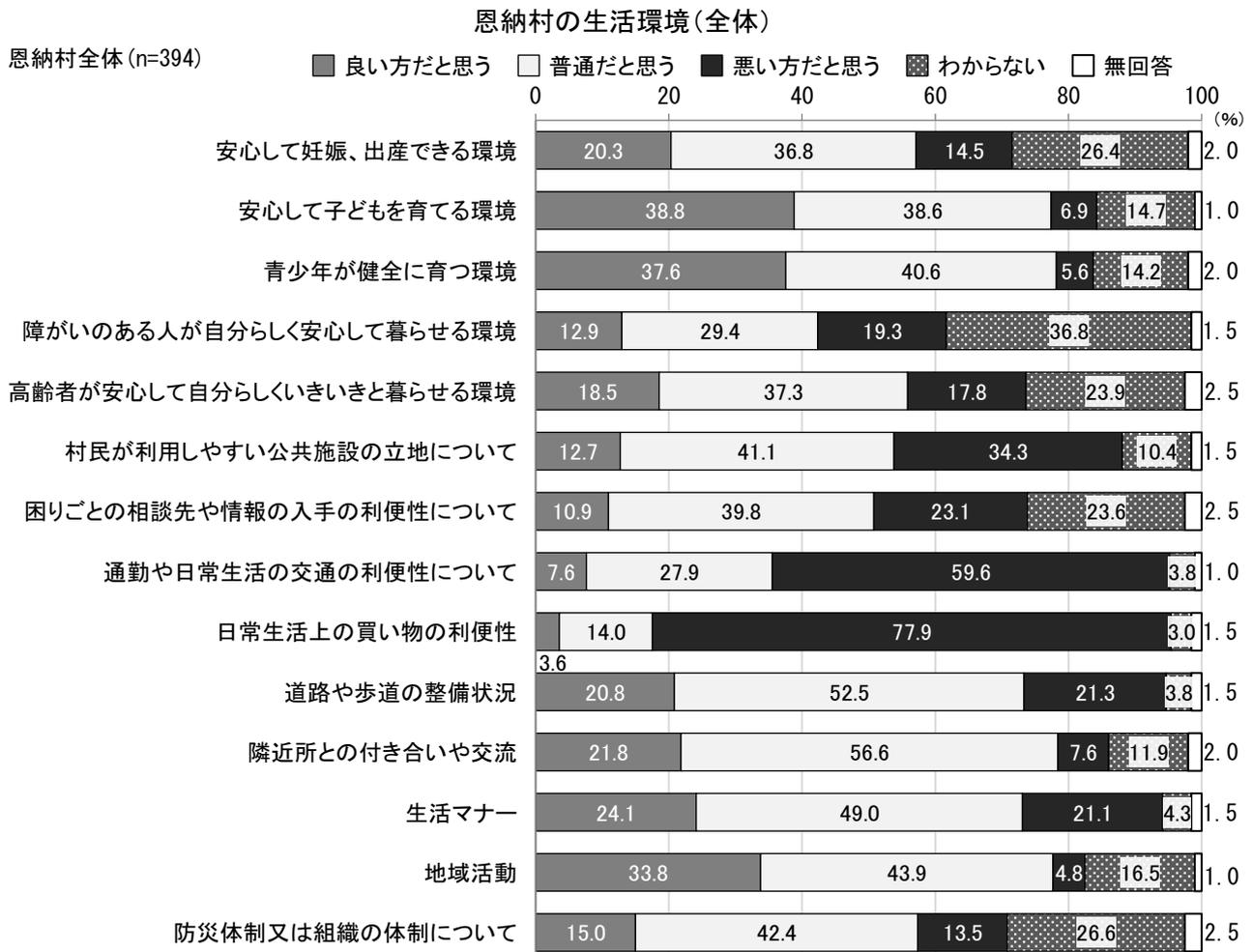
問 11 あなたにとって助け合い、支え合う「地域」とは、こういった範囲ですか。

「隣近所」が最も高く 34.8%、次いで「自治会」が 29.2%となっています。

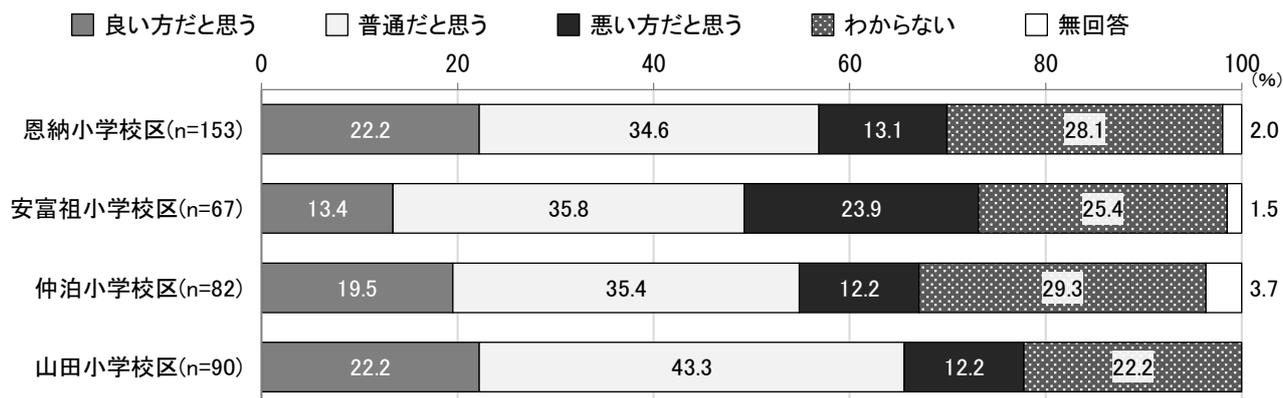


問 12 恩納村の地域環境(ご自身の住んでいる地域)について、どのように感じていますか。

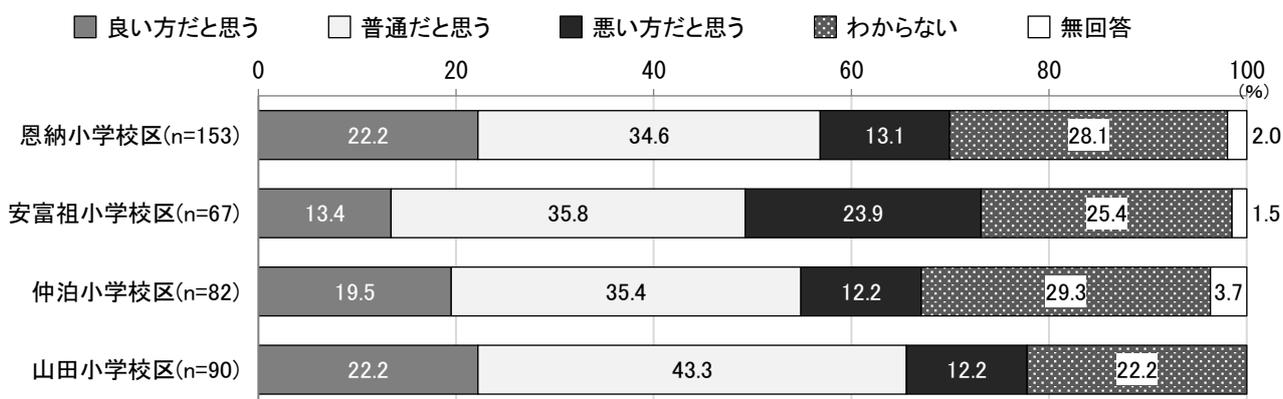
恩納村の生活環境について 14 項目うち、「良い方だと思う」が高い項目は「安心して子どもを育てる環境」が 38.8%と最も高く、次いで「青少年が健全に育つ環境」が 37.6%となっており、子育ての環境として良いことがうかがえます。一方、「悪い方だと思う」項目は、「日常生活上の買い物の利便性」が 77.9%と最も高く、次いで「通勤や日常生活の交通の利便性について」が 59.6%となっています。



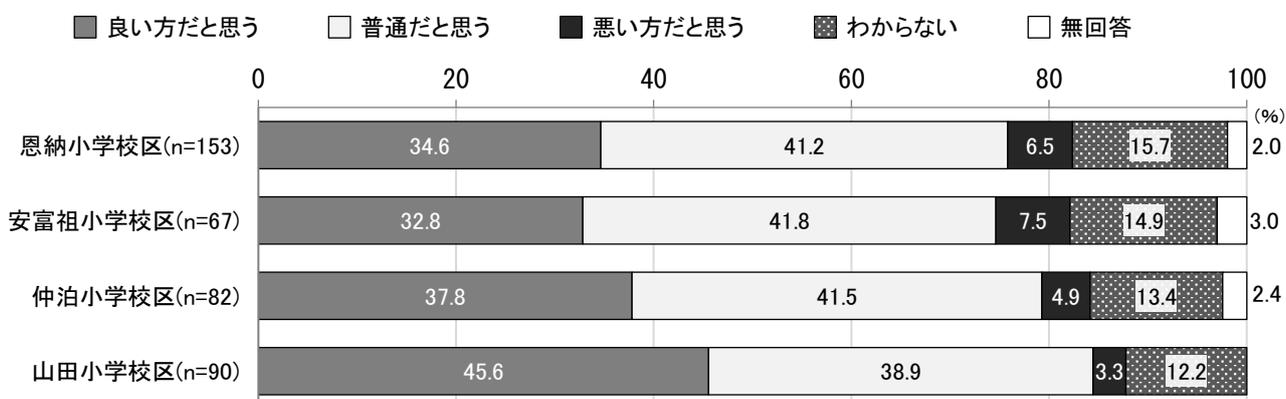
① 安心して妊娠、出産できる環境



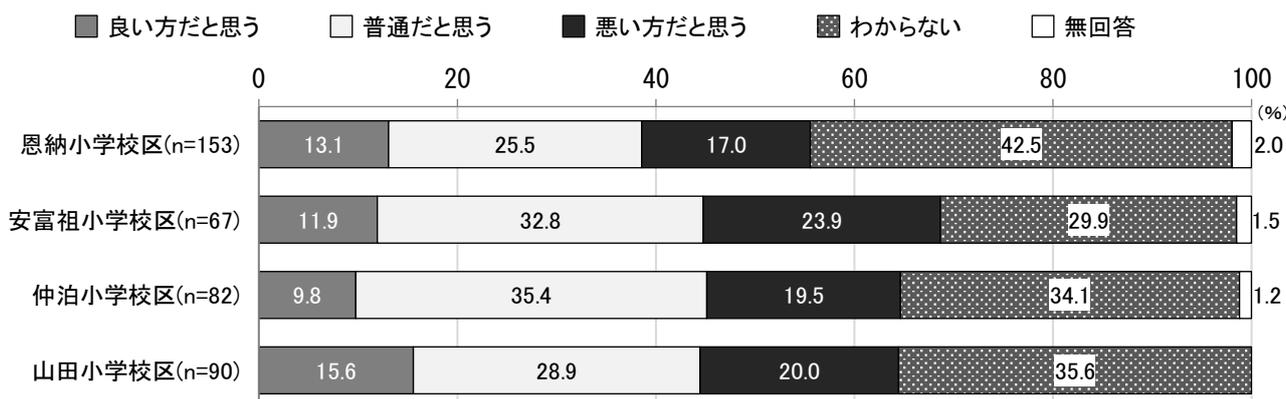
② 安心して子どもを育てる環境



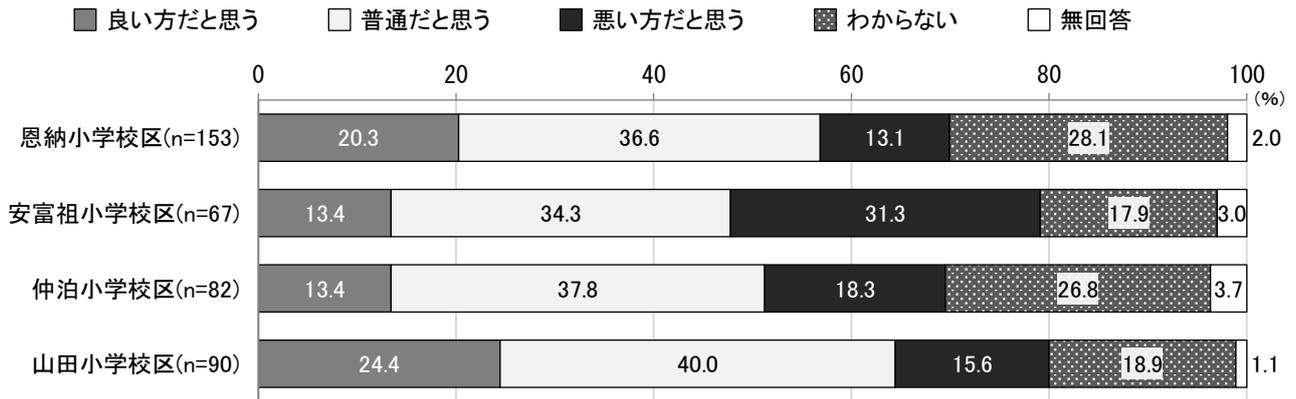
③ 青少年が健全に育つ環境



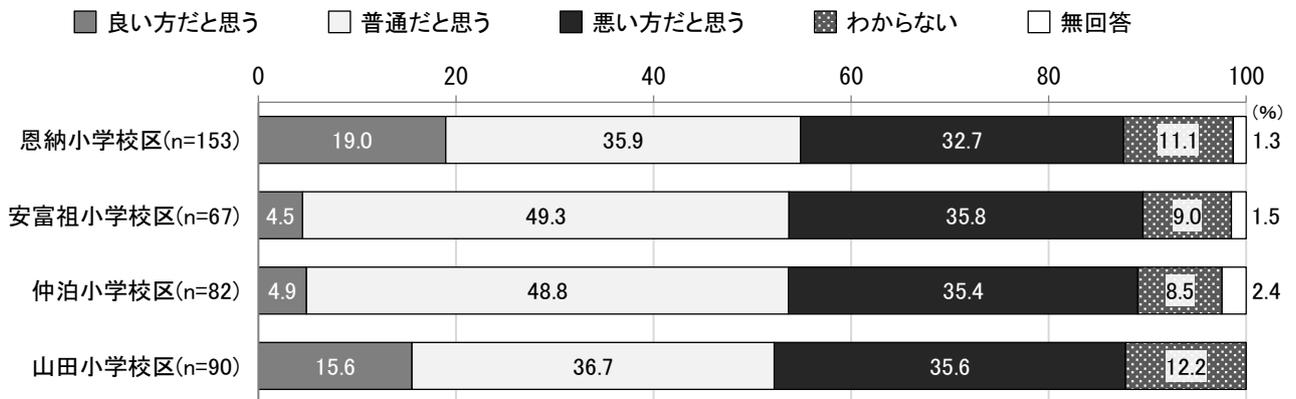
④ 障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境



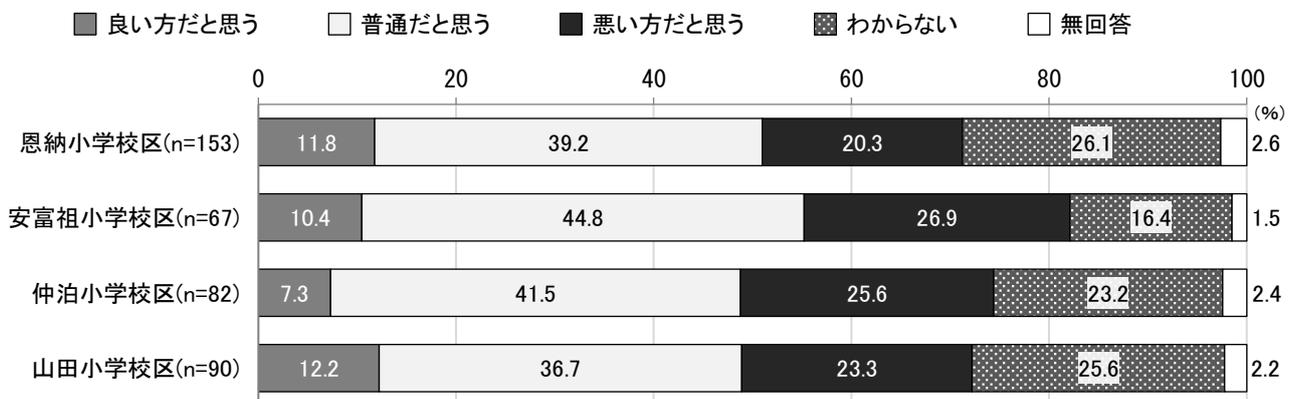
⑤ 高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境



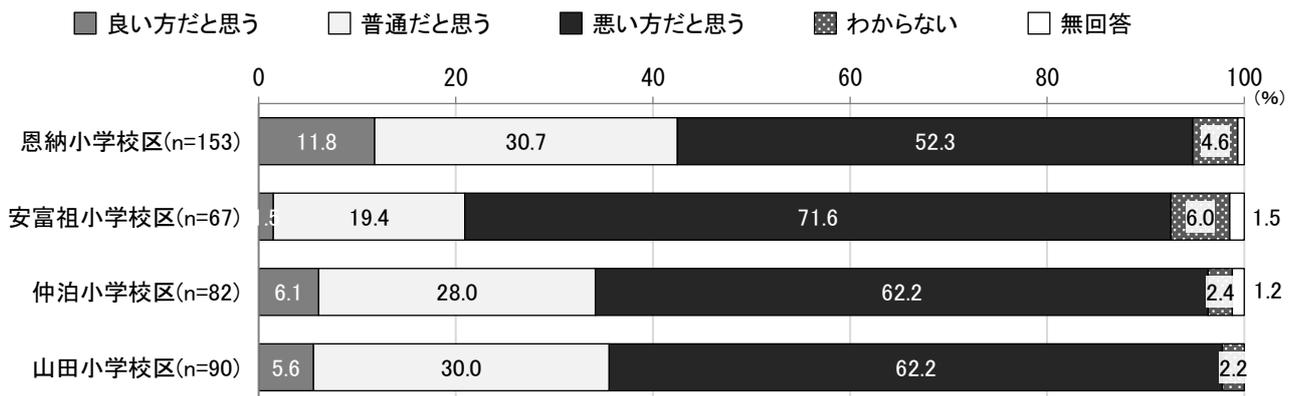
⑥ 村民が利用しやすい公共施設の立地について



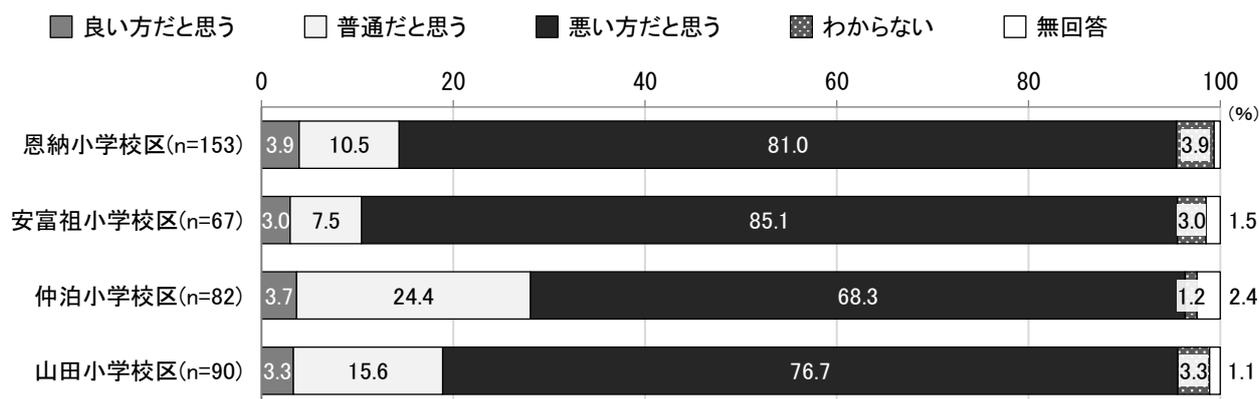
⑦ 困りごとの相談先や情報の入手の利便性について



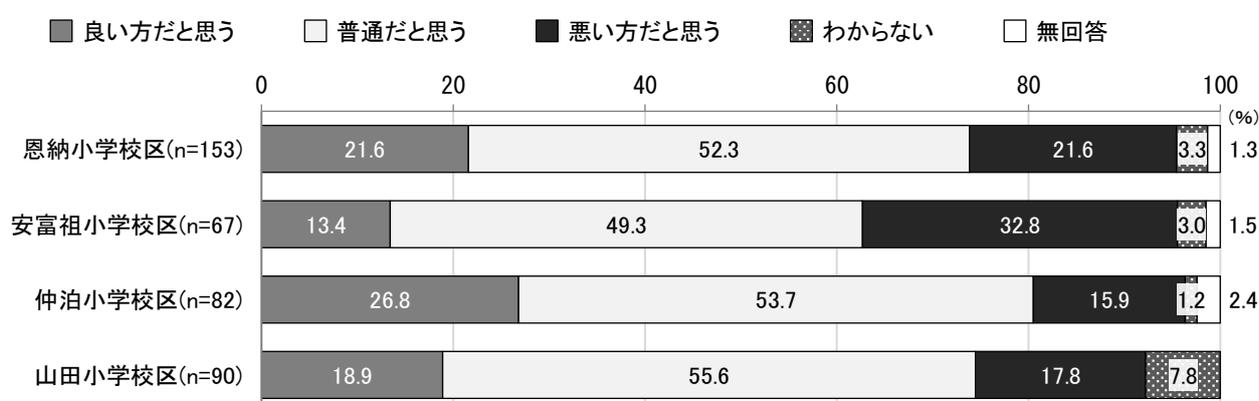
⑧ 通勤や日常生活(銀行、郵便局、病院など)の交通の利便性について



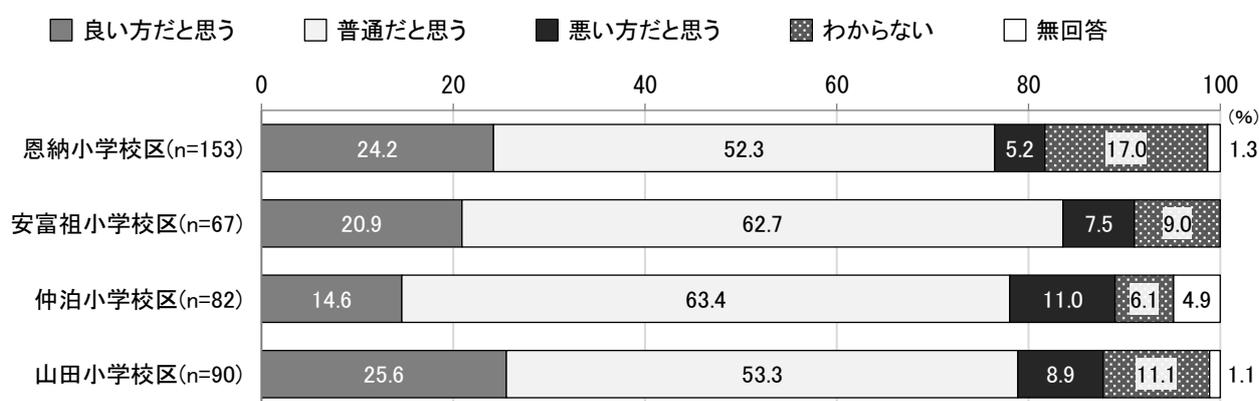
⑨ 日常生活上の買い物の利便性



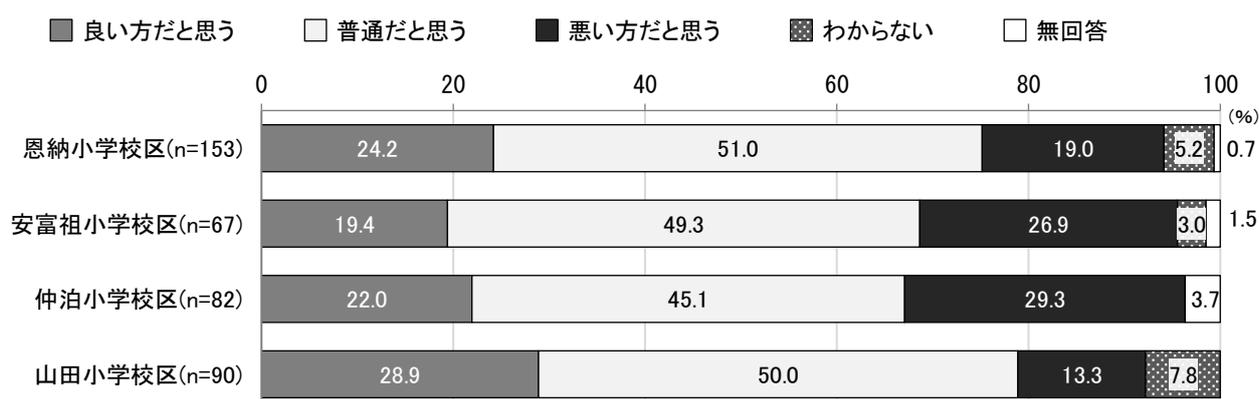
⑩ 道路や歩道の整備状況



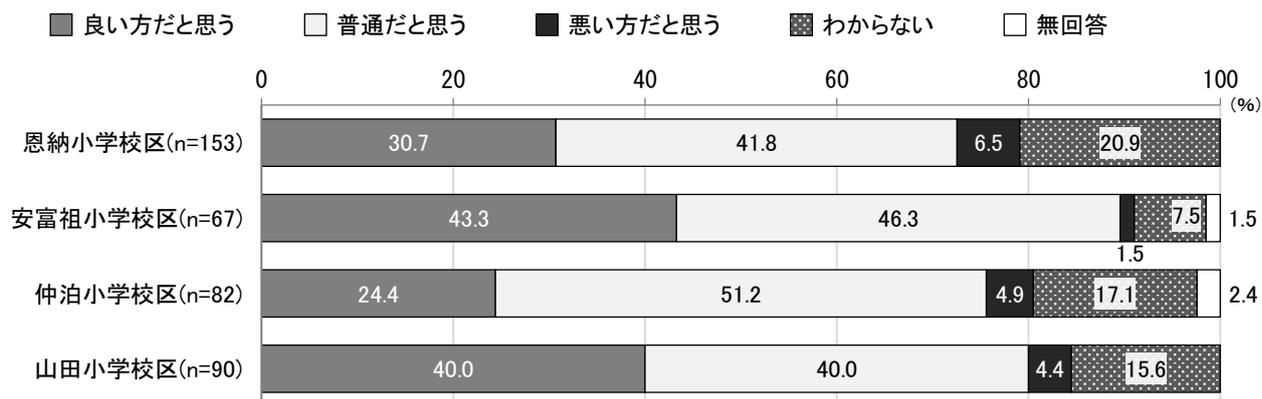
⑪ 隣近所との付き合いや交流



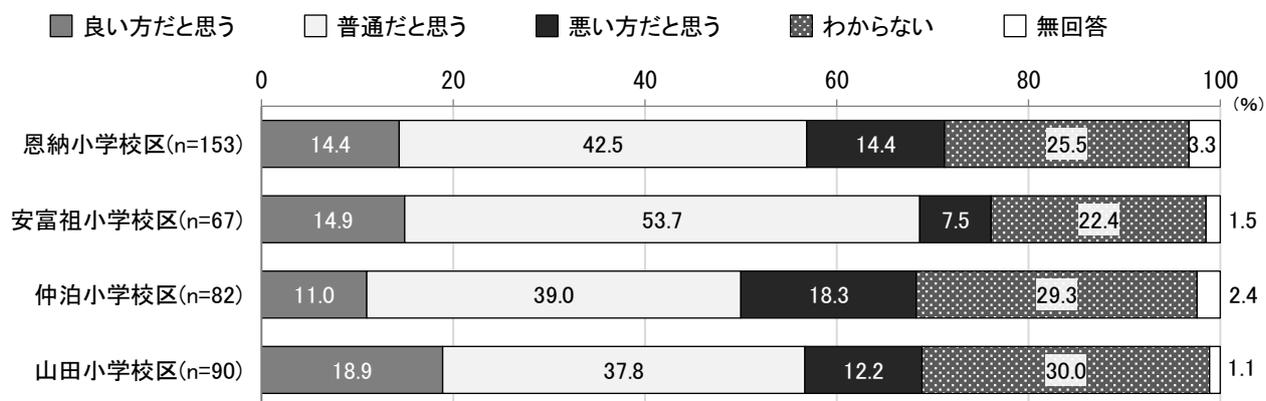
⑫ 生活マナー(ゴミ、騒音問題 等)



⑬ 地域活動(村や自治会の行事、清掃活動 等)



⑭ 防災体制(避難誘導體制)又は組織の体制について

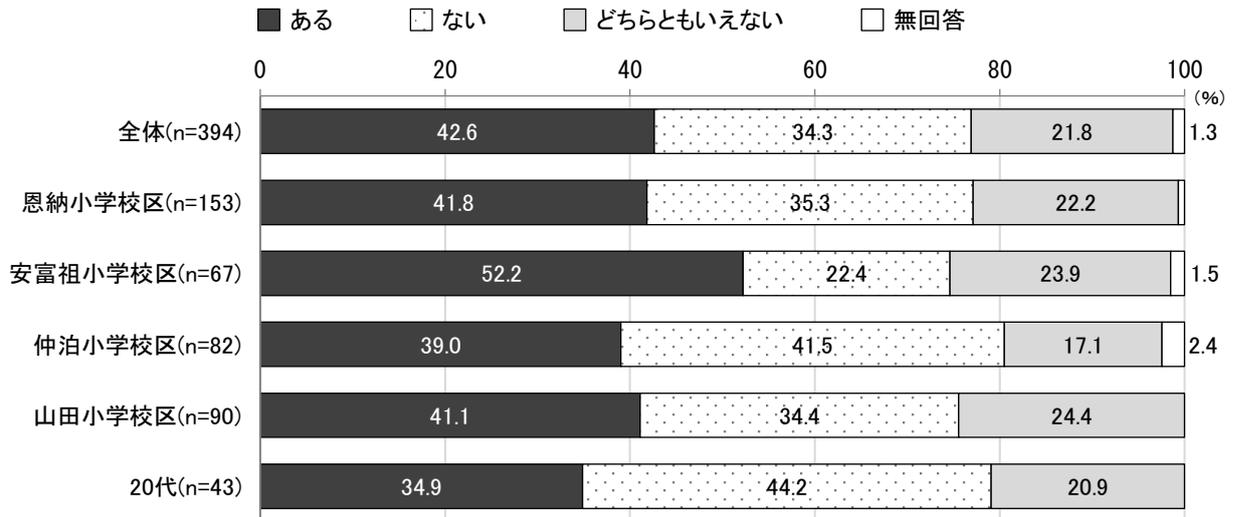


3 暮らしの中での困りごと等について

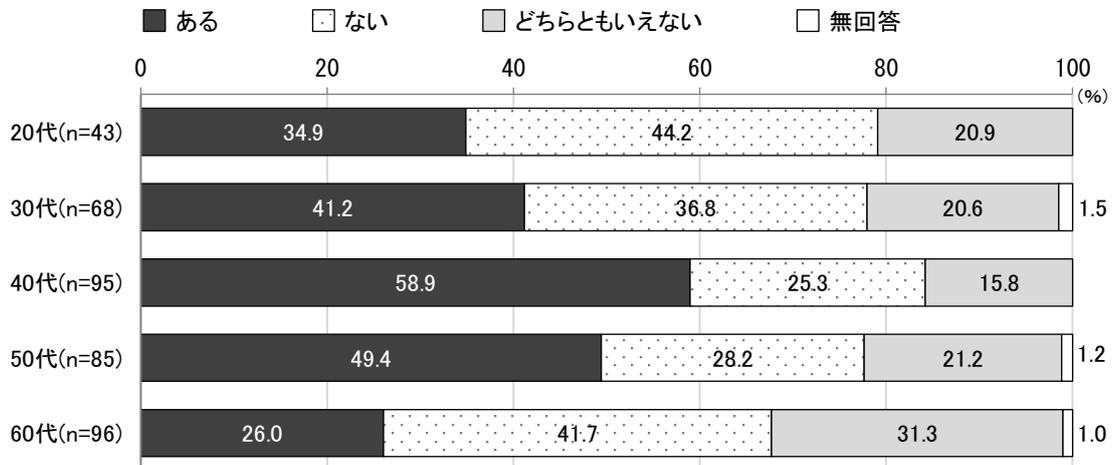
問 13 あなたは、普段の暮らしの中での困りごと・心配ごと・悩みごとはありますか。

普段の暮らしの中で困りごと・心配ごと・悩みごとについて、全体で見ると、「ある」が 42.6%、「ない」が 34.3%、「どちらともいえない」が 21.8%となっています。地域別では、安富祖小学校区で「ある」の割合が他の地域より高くなっています。また、年齢別で見ると、40 代の約 6 割が「ある」と回答しています。

普段の暮らしの中での困りごと・心配ごと・悩みごと(全体・地域別)

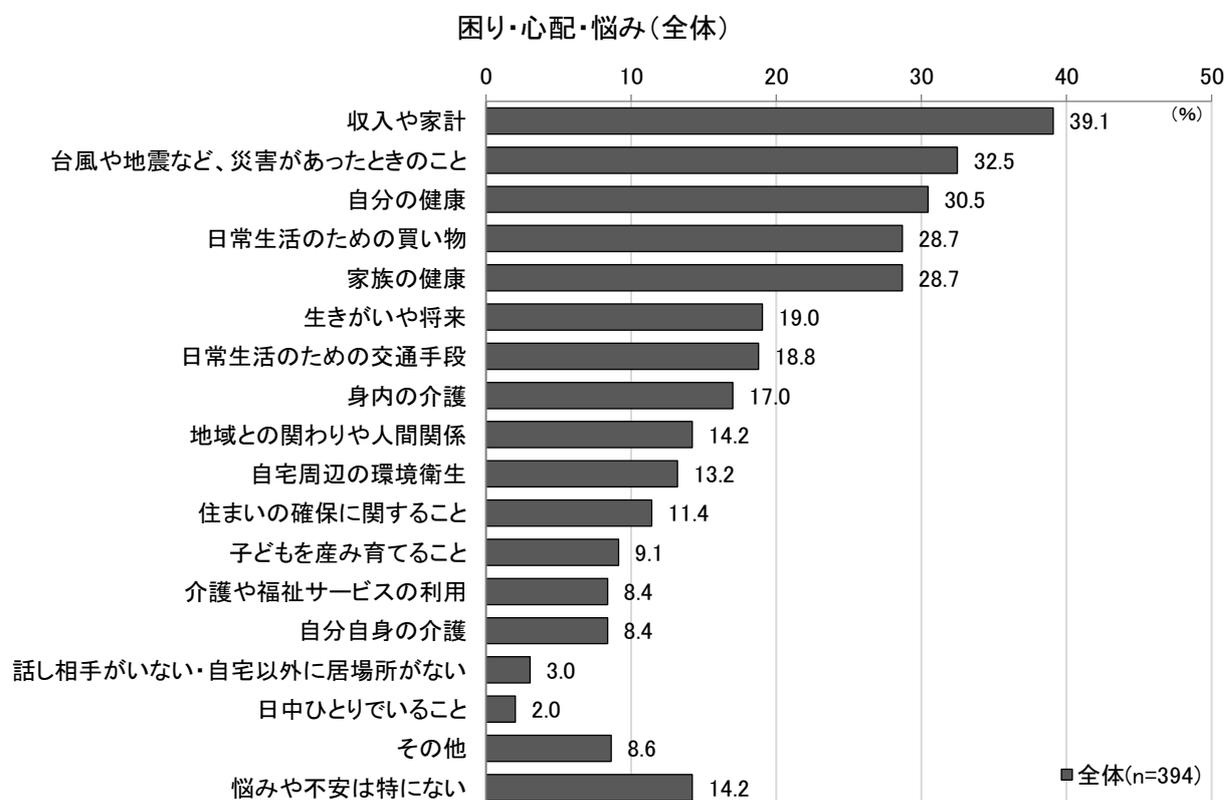


困りごと・心配ごと・悩みごと(年齢別)



問 14 普段の暮らしの中でどのようなことに困り・心配・悩みを感じていますか。(複数回答)

暮らしの中でどのようなことに困り・心配・悩みについて、「収入や家計」が最も高く 39.1%、次いで「台風や地震など、災害があったときのこと」が 32.5%となっています。年齢別でみると、20～50 代では「収入や家計」が最も高くなっていますが、60代では「自分の健康」、「家族の健康」が高くなっています。

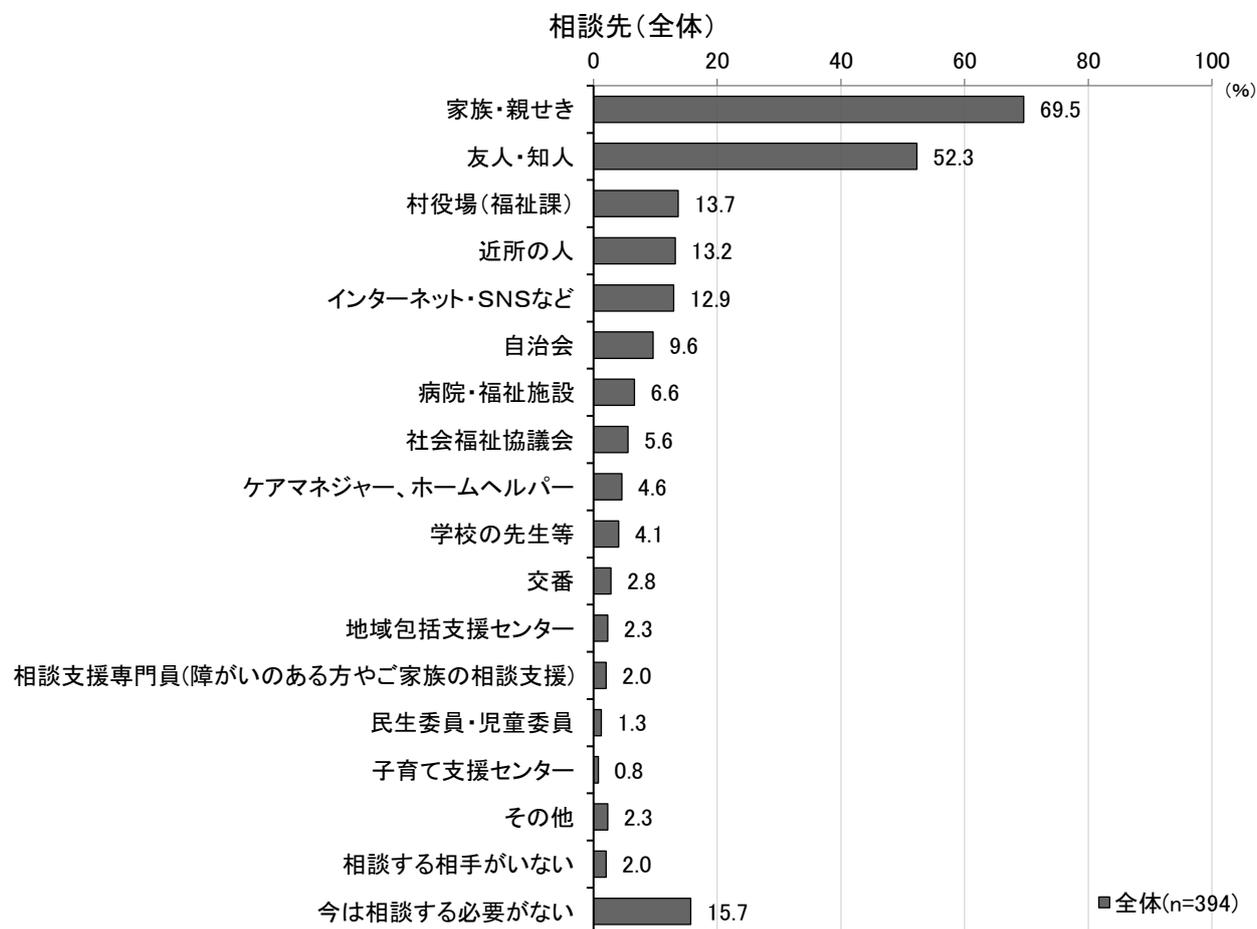


困り・心配・悩み(年齢別)

	20代(n=43)	30代(n=68)	40代(n=95)	50代(n=85)	60代(n=96)
収入や家計	39.5	42.6	47.4	44.7	24.0
台風や地震など、災害があったときのこと	23.3	38.2	33.7	34.1	29.2
自分の健康	23.3	19.1	30.5	38.8	33.3
日常生活のための買い物	37.2	32.4	32.6	24.7	21.9
家族の健康	20.9	25.0	28.4	30.6	31.3
生きがいや将来	27.9	25.0	20.0	15.3	13.5
日常生活のための交通手段	27.9	19.1	16.8	18.8	15.6
身内の介護	9.3	13.2	20.0	16.5	17.7
地域との関わりや人間関係	16.3	10.3	22.1	14.1	8.3
自宅周辺の環境衛生	7.0	16.2	15.8	15.3	9.4
住まいの確保に関すること	4.7	16.2	13.7	17.6	4.2
子どもを産み育てること	9.3	23.5	15.8	0.0	1.0
介護や福祉サービスの利用	7.0	10.3	9.5	9.4	5.2
自分自身の介護	4.7	4.4	10.5	9.4	9.4
話し相手がない・自宅以外に居場所がない	4.7	2.9	1.1	3.5	4.2
日中ひとりであること	0.0	4.4	0.0	2.4	3.1
その他	4.7	11.8	10.5	10.6	3.1
悩みや不安は特にない	25.6	10.3	9.5	10.6	18.8

問 15 困りごと・心配ごと・悩みごとを解決したい時、どこに相談しますか。(複数回答)

困りごとや悩んだときの相談先について、「家族・親せき」が最も高く 69.5%、次いで「友人・知人」が 52.3%となっています。年齢別でみると、20 代ではインターネット・SNS が他の年代より高くなっています。



【その他の意見】

誰にも言わない／議員／適切なプロフェッショナル／教会／病院／OIST／心理セラピスト

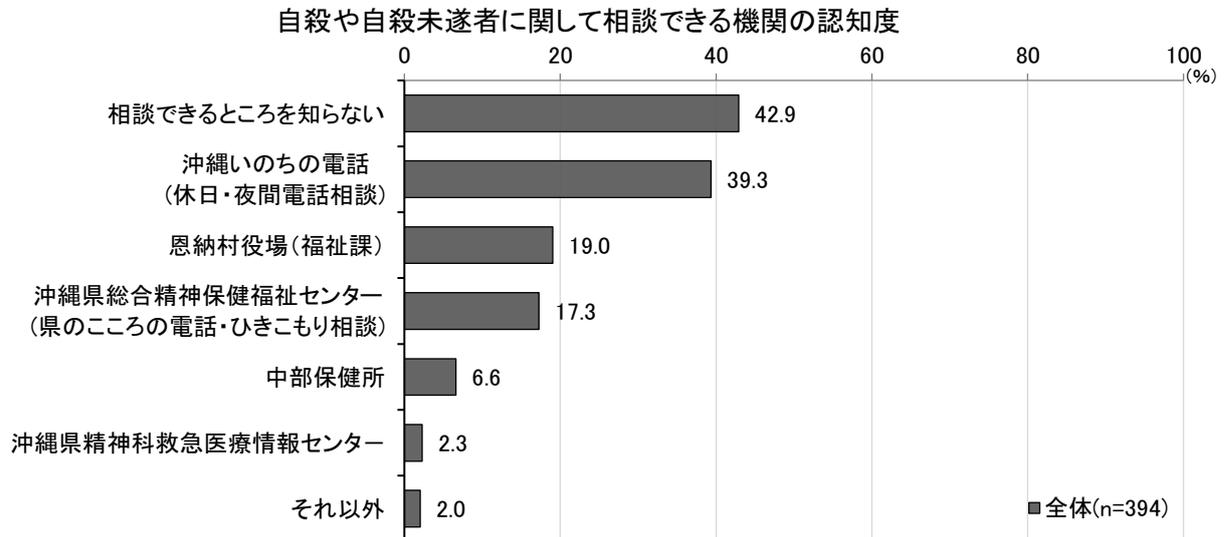
相談先上位 6 項目(年齢別)

	20代(n=43)	30代(n=68)	40代(n=95)	50代(n=85)	60代(n=96)
家族・親せき	69.8	79.4	63.2	68.2	69.8
友人・知人	60.5	60.3	52.6	48.2	45.8
村役場(福祉課)	11.6	7.4	8.4	18.8	18.8
近所の人	11.6	17.6	13.7	11.8	10.4
インターネット・SNSなど	27.9	11.8	11.6	12.9	9.4
自治会	4.7	7.4	8.4	9.4	14.6

4 メンタルヘルスについて

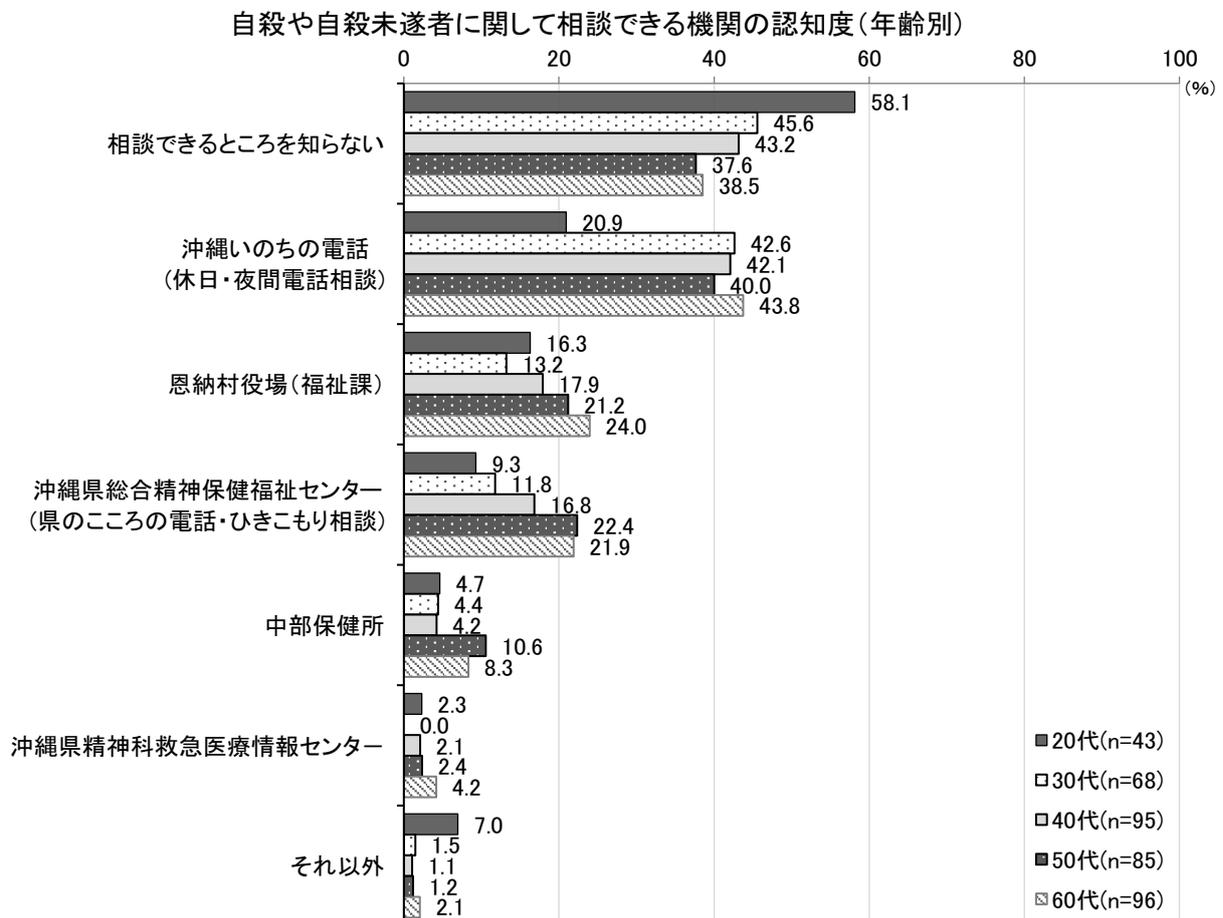
問 16 あなたは、自殺や自殺未遂者に関して相談できる機関を知っていますか。(複数回答)

自殺に関する相談機関については、「相談できるところを知らない」が最も高く 42.9%、次いで「沖縄いのちの電話(休日・夜間電話相談)」が 39.3%となっています。年齢別でみると、20代の 58.1%が「相談できるところを知らない」と回答しています。



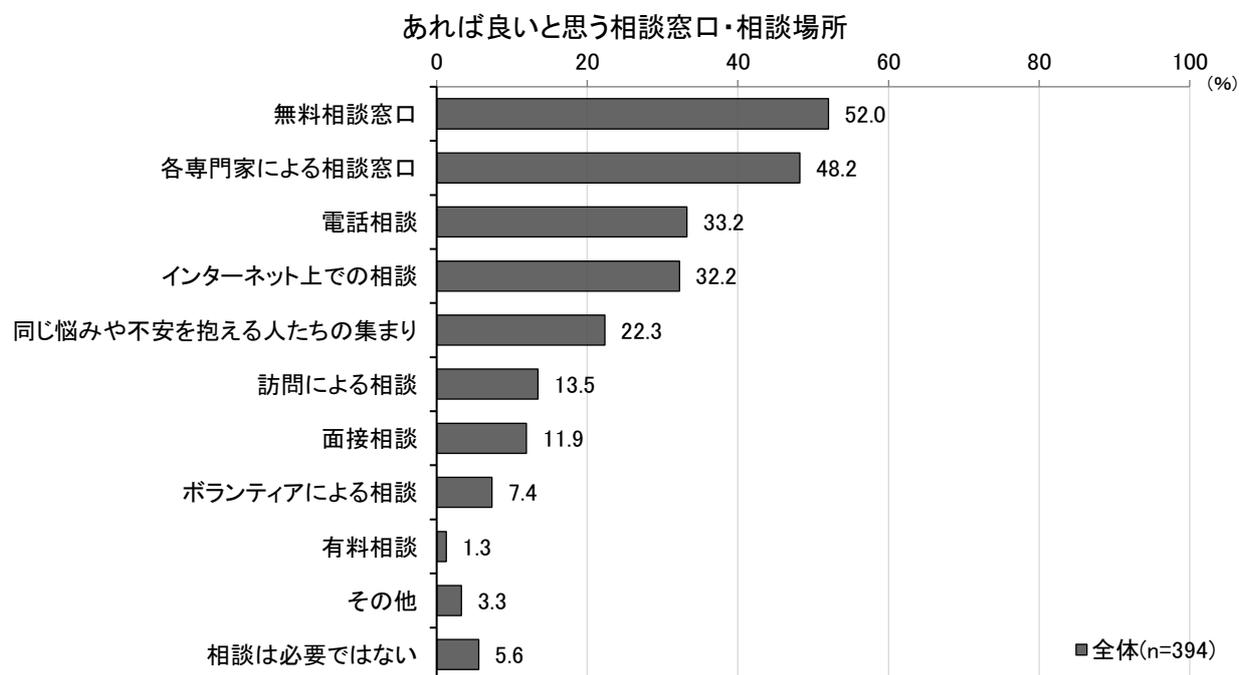
【その他の意見】

精神科／教会／OIST のがんじゅうサービス／琉球病院



問 17 あなたは、どのような相談窓口や場所があれば良いと思いますか。(複数回答)

あれば良いと思う相談先については「無料相談窓口」が最も高く 52.0%、次いで「各専門家による相談窓口」が 48.2%となっています。



【その他の意見】

憩いの場所、昔の売店的な場所／自治会での対応・公民館に専門家配置／病院／相談場所も一緒に考えてくれるワンストップ窓口／相談した内容を次の機関へ引き継いでくれる窓口／フリースクール／24 時間対応／SNS、メッセージアプリやビデオ通話／英語対応可の専門家

5 「地域」との関わりについて

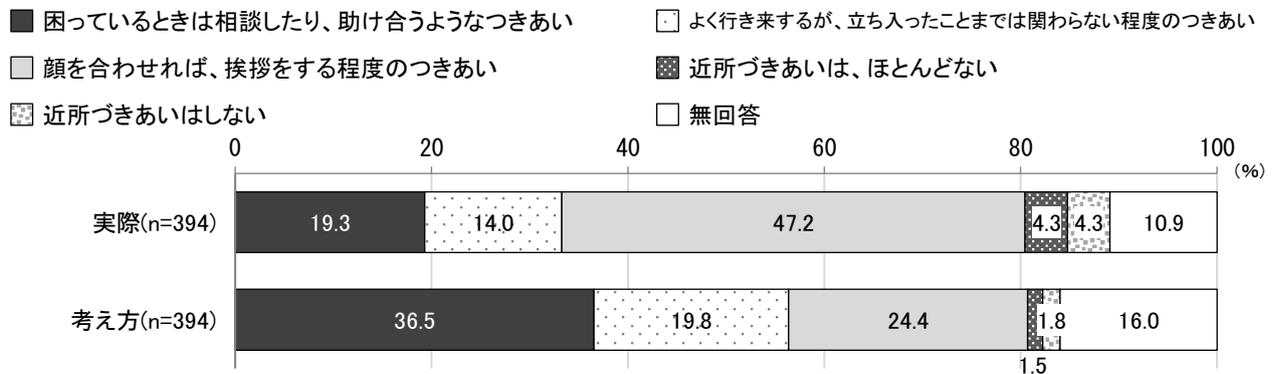
問 18 あなたは、日ごろ、隣近所の人との程度のつきあいがありますか。
また、今後どのようなつきあい方をしたいですか。

日ごろの近所づきあいは「顔を合わせれば、挨拶をする程度のつきあい」が最も高く47.2%、次いで「困っているときは相談したり、助け合うようなつきあい」が19.3%となっています。

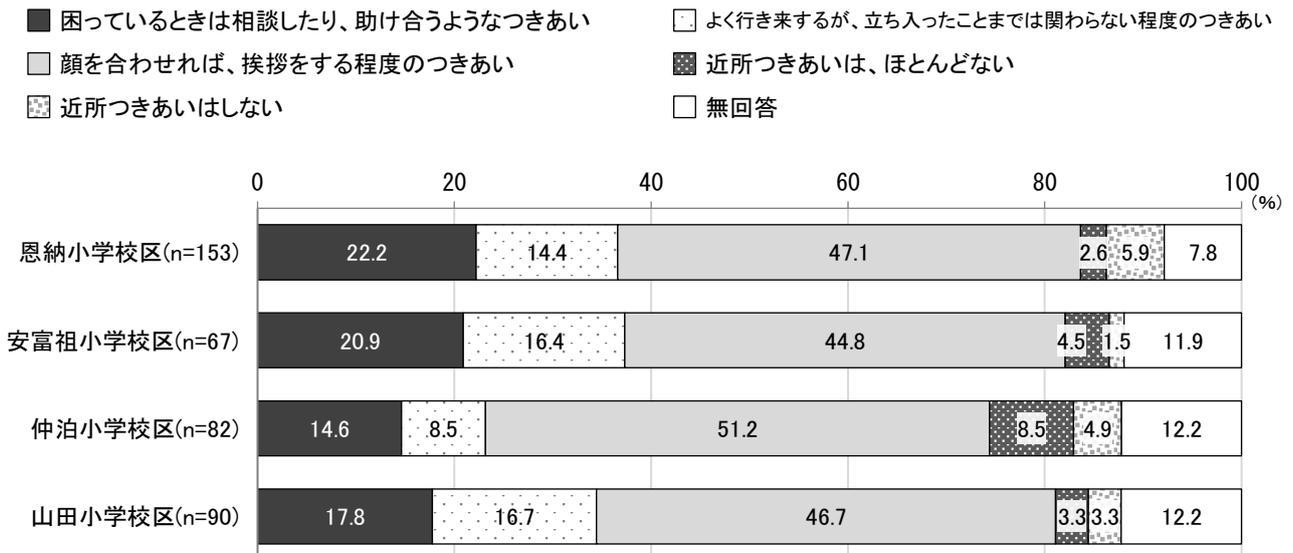
今後の近所づきあいに対する考え方では、「困っているときは相談したり、助け合うようなつきあい」が36.5%と最も高くなっており、より深い近所づきあいをしたいと考えていることがわかります。

地域別で見ると、恩納小学校区で「困っているときは相談したり、助け合うようなつきあい」が他の地域より高く22.2%となっています。一方で、近所づきあいが希薄になっている地域は仲泊小学校区で、「困っているときは相談したり、助け合うようなつきあい」が14.6%と他の地域より低く、また、全体の13.4%が「近所づきあいは、ほとんどない」または「近所づきあいはしない」と回答しています。年齢別で見ると、20代では「近所づきあいは、ほとんどない」、「近所づきあいはしない」が、3割を超えています。

近所づきあい(実際のつきあい方と考え方の比較)

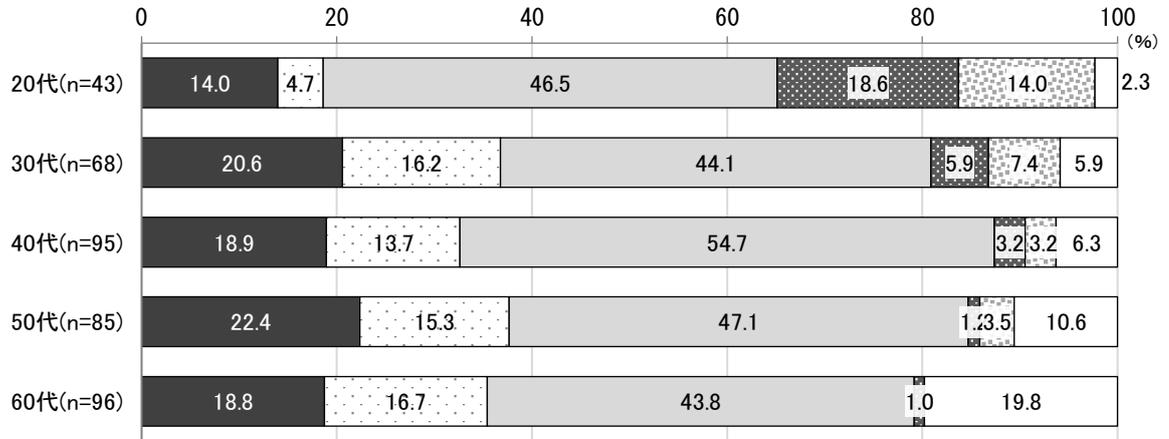


近所づきあい(地域別)



近所づきあい(年齢別)

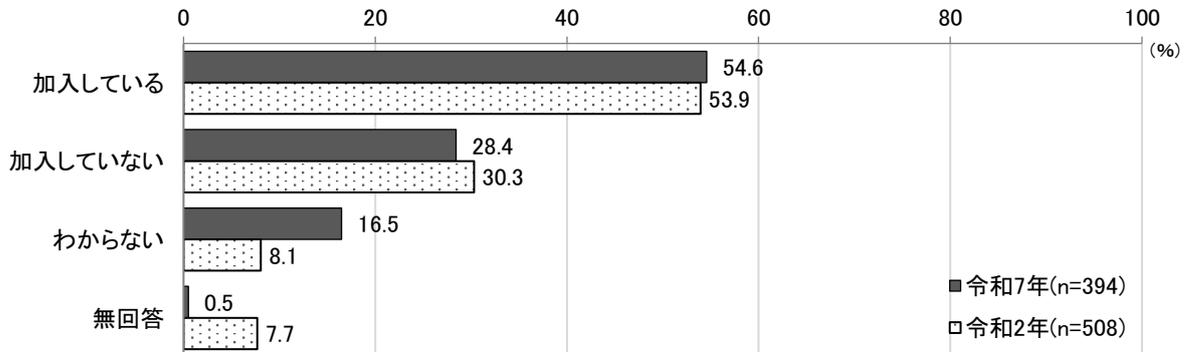
- 困っているときは相談したり、助け合うようなつきあい
- よく行き来するが、立ち入ったことまでは関わらない程度のつきあい
- 顔を合わせれば、挨拶をする程度のつきあい
- 近所つきあいは、ほとんどない
- 近所つきあいはしない
- 無回答



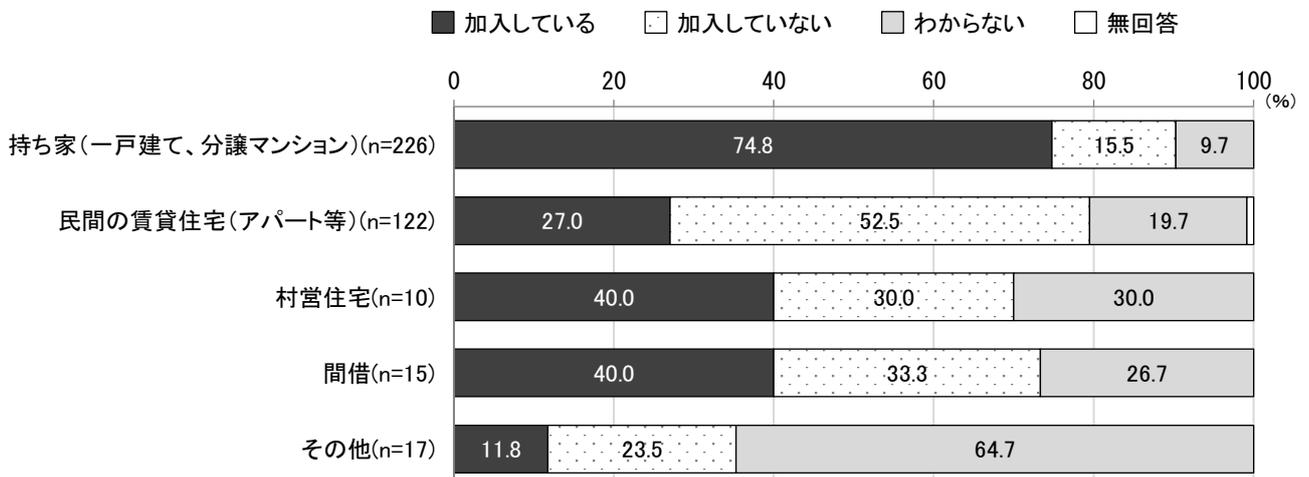
問 19 あなたの世帯は、地域の自治会に加入していますか。

自治会の加入世帯は、前回調査からわずかに増加しており、「加入している」が 54.6%と最も高く、「加入していない」が 28.4%となっています。住居別では、「持ち家(一戸建て、分譲マンション)」が 74.8%と最も高くなっています。また、居住年数 3 年未満の世帯では、加入割合が 1 割程度と低くなっています。

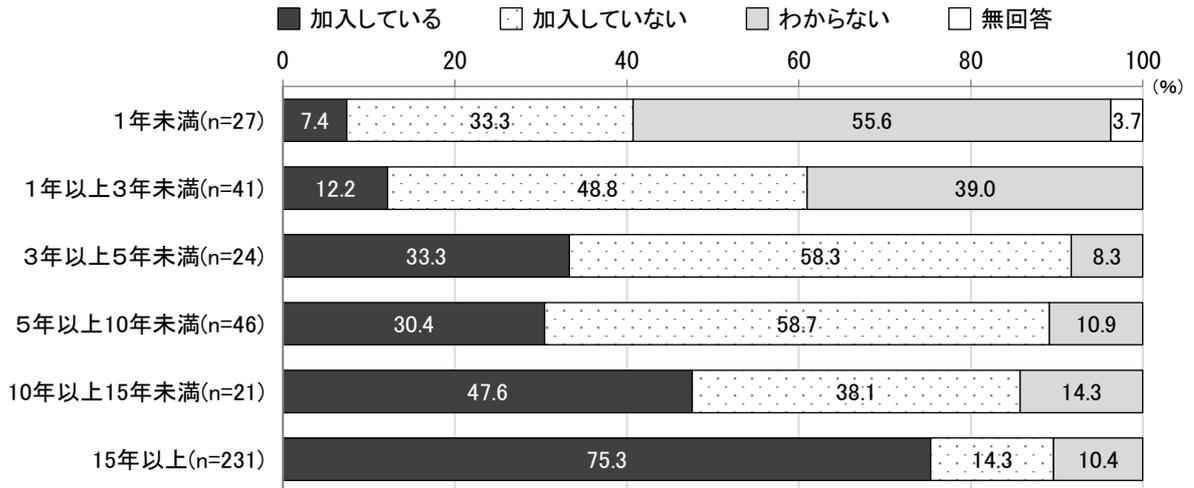
自治会加入(前回調査との比較)



自治会加入(住居別)

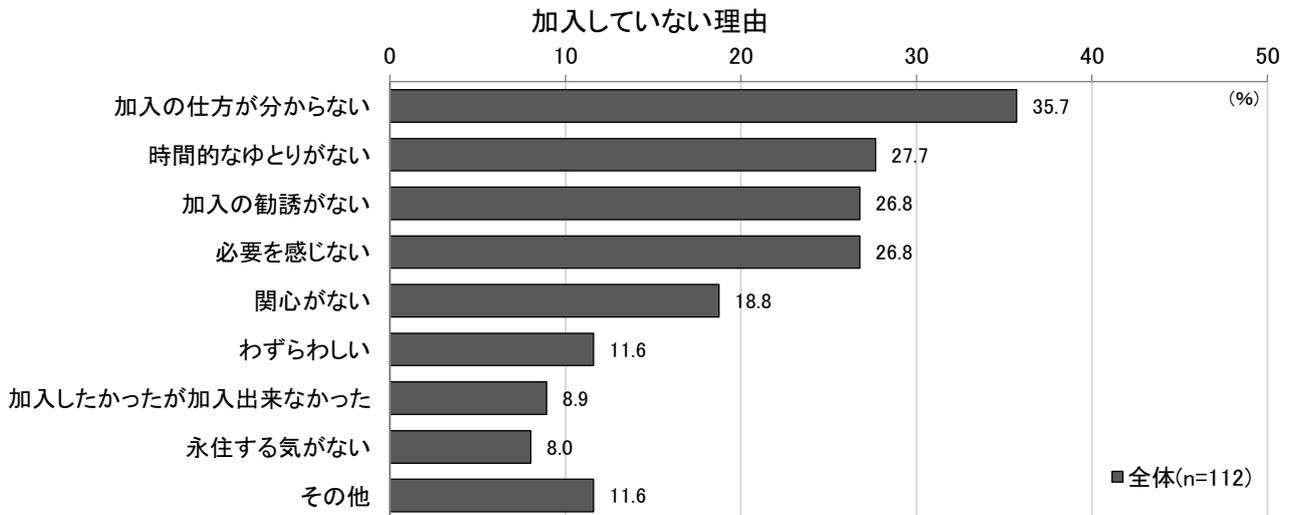


自治会加入(居住年数別)



問19-1 <問19で「2. 加入していない」に回答した方> 自治会に加入していない理由は何ですか。(複数回答)

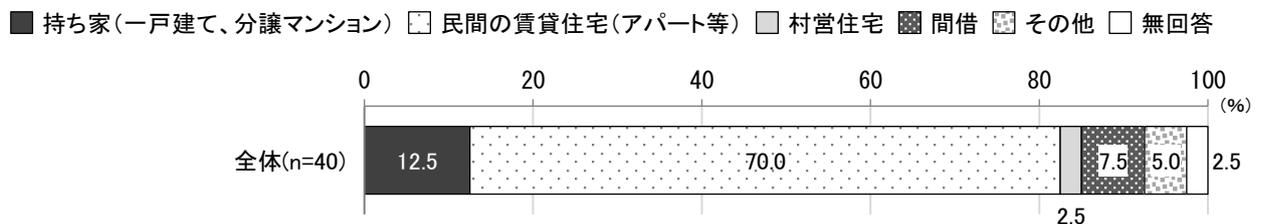
自治会に加入していない理由は、「加入の仕方が分からない」が最も高く 35.7%、次いで「時間的なゆとりがない」が 27.7%となっています。また、「加入の仕方が分からない」と回答した方の大半が賃貸住宅の方となっています。



【その他の意見】

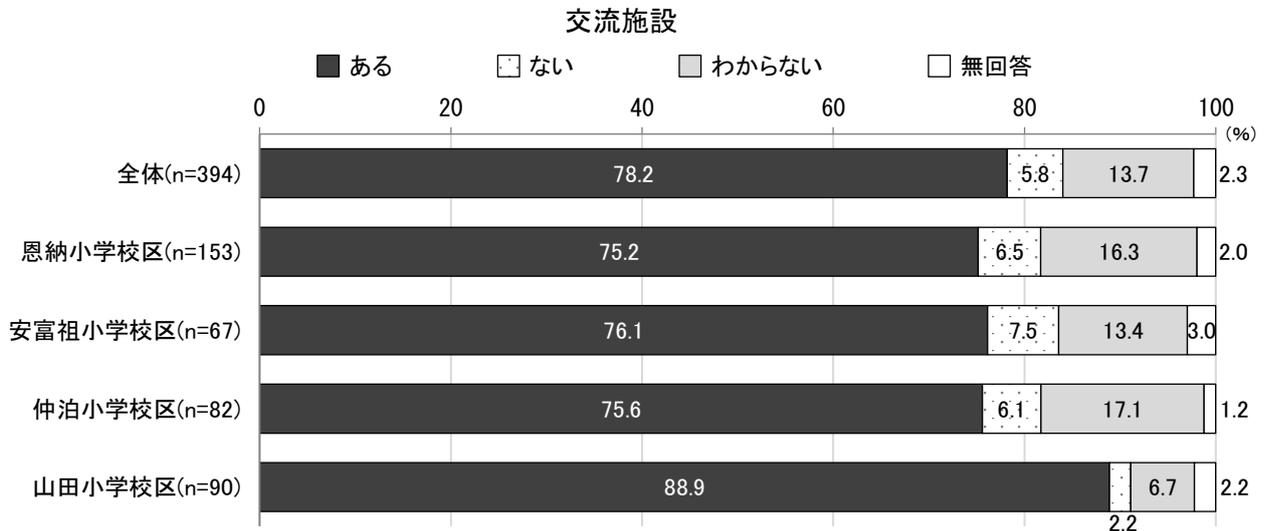
入りたい自治会の地区へ住めない／自治会の存在を知らなかった／加入後の役割が負担・自治会の行事など魅力もあるが、役員や定例会など大変ことも多い／制約が多く、閉鎖的／社員寮のため／排他的／何ができるのかわからない／日本語が話せない／経済的負担増加

「加入の仕方が分からない」と回答した方の住宅の種類

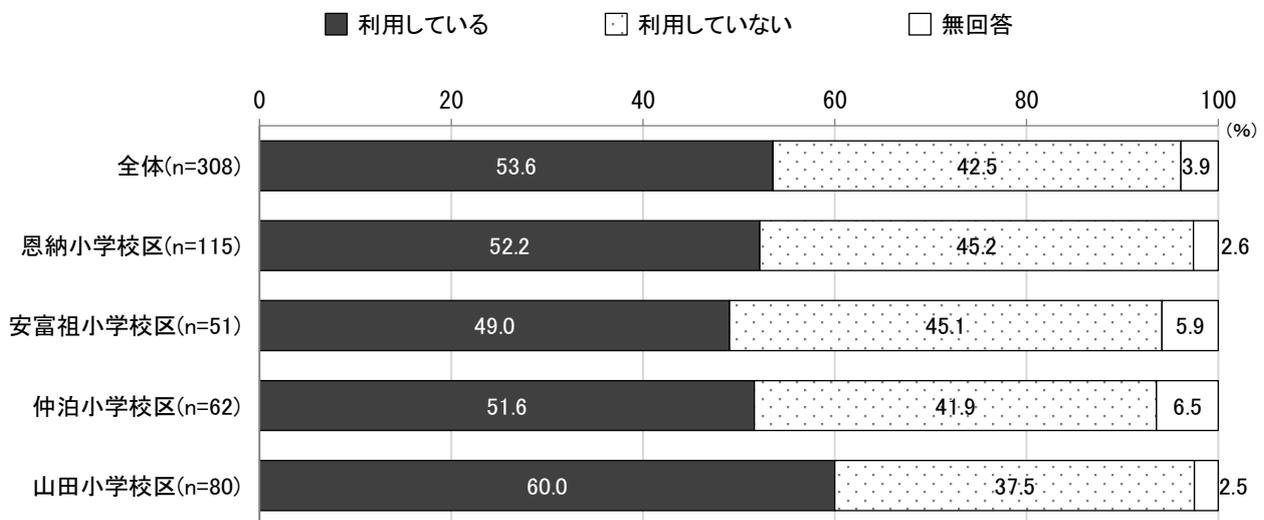


問 20 あなたの地域には、公民館や公共施設など地域の人と交流する施設がありますか。ある場合は、利用していますか。それはどのような施設ですか。

地域の公民館や公共施設などの交流施設については、78.2%の方が「ある」と回答しています。そのうち、「利用している」と回答した方は 53.6%、「利用していない」が 42.5%となっています。具体的な利用施設としては、公民館が最も多く、その他に赤間運動公園や図書館・恩納村文化情報センター等があがっています。



交流施設「ある」と回答した方の利用について(全体・地域別別)



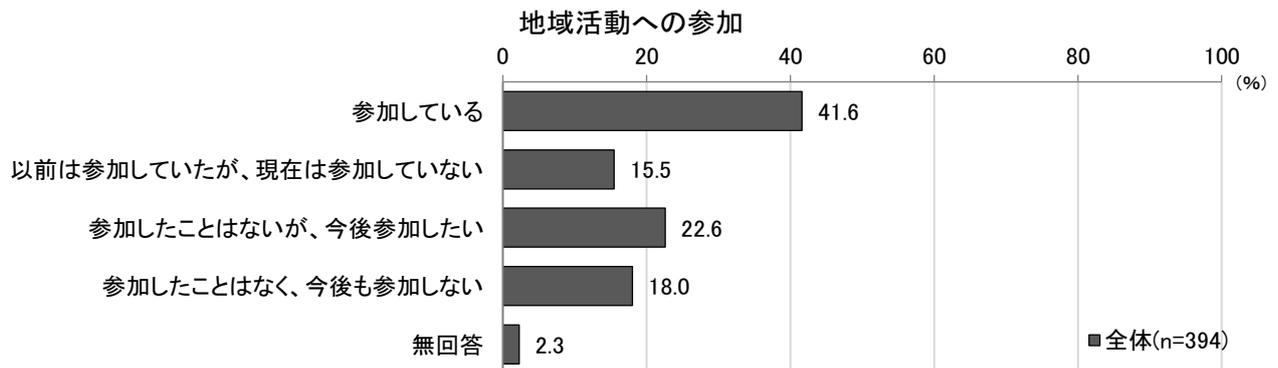
利用している具体的な利用施設

地域	施設
恩納小学校区	公民館・集会場・自治会館 (46)、図書館・恩納村文化情報センター(3)、体育館・運動場・公園(6)、OIST内(2)、ふれあい館(3)
安富祖小学校区	公民館・集会場・自治会館 (23)、図書館・恩納村文化情報センター、農村広場
仲泊小学校区	公民館・集会場・自治会館 (21)、図書館・恩納村文化情報センター(2)、体育館・運動場・公園(3)、交流施設(2)
山田小学校区	公民館・集会場・自治会館 (39)、体育館・運動場・公園(3)、図書館・恩納村文化情報センター、子育て支援センター

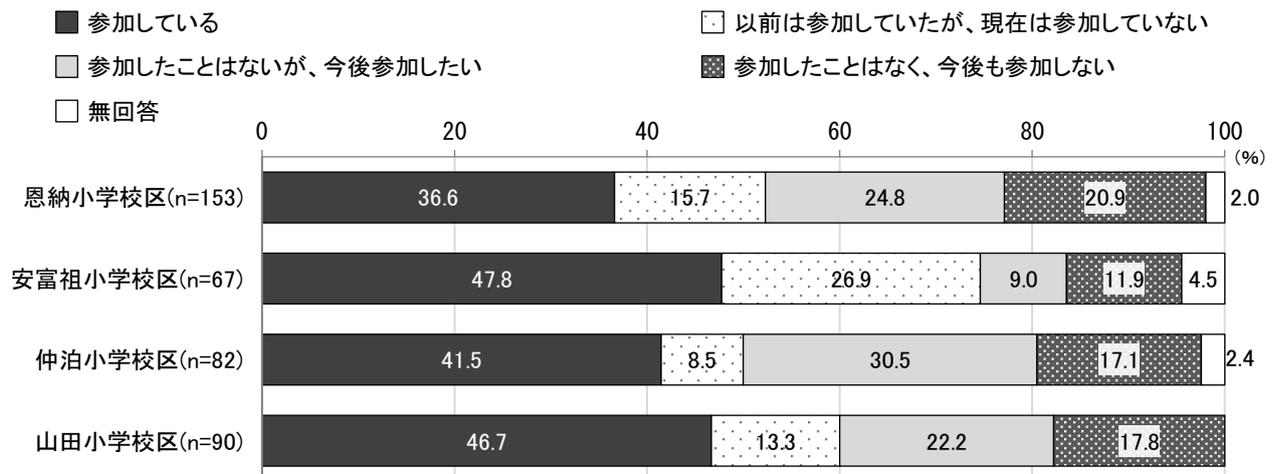
()は回答件数

問 21 現在、清掃活動や地域行事(村、自治会の行事等)等の地域活動に参加していますか。

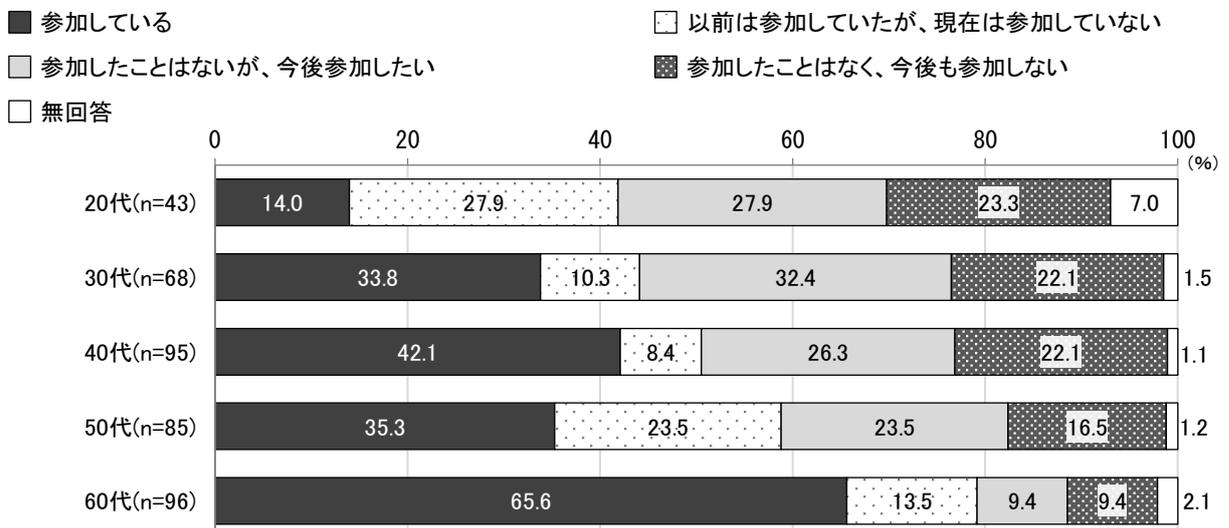
地域活動は、「参加している」が最も高く 41.6%、次いで「参加したことはないが、今後参加したい」が 22.6%となっています。地域別でみると、安富祖小学校区で「参加している」、「以前は参加していたが、現在は参加していない」の割合が高く、地域活動への関心が高いことがわかります。一方、恩納小学校区では「参加している」が他の地域より低く、「参加したことはないが、今後参加したい」は他の地域より高くなっています。年齢別でみると、20～40 代の 2 割強が「参加したことはないが、今後参加したい」と回答しています。



地域活動への参加(地域別)



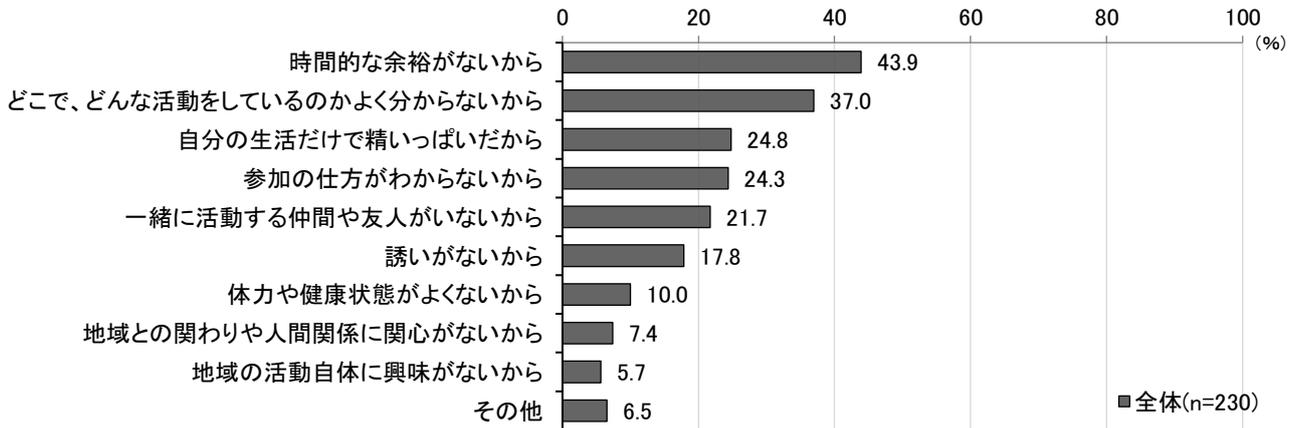
地域活動への参加(年齢別)



問 21-1 <問 21 で「1」以外を回答した方(参加していない方)>
参加していない理由は何ですか。(複数回答)

地域活動に参加していない理由は、前回調査と同じく「時間的な余裕がないから」が最も高く43.9%、次いで「どこで、どんな活動をしているのかよくわからないから」が37.0%となっています。年齢別で見ると、40代以外は「時間的な余裕がないから」が最も高く、40代では「どこで、どんな活動をしているのかよくわからないから」が最も高くなっています。

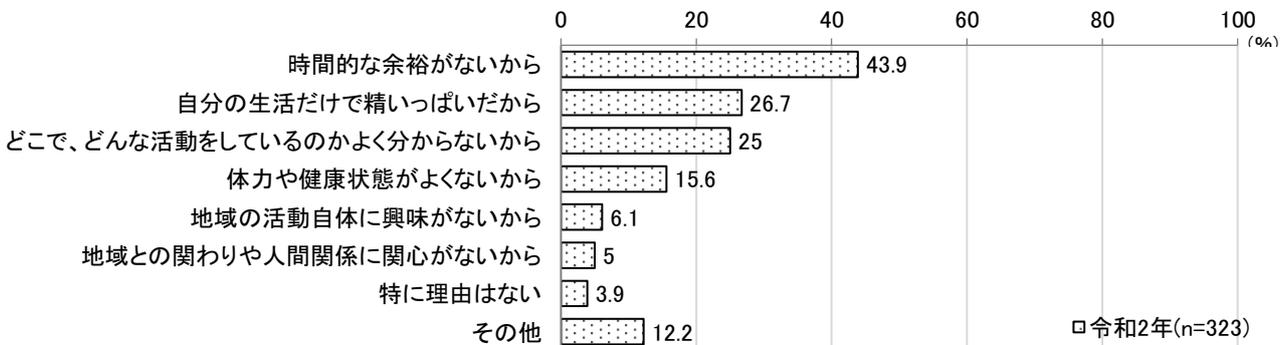
参加していない理由(前回調査との比較)



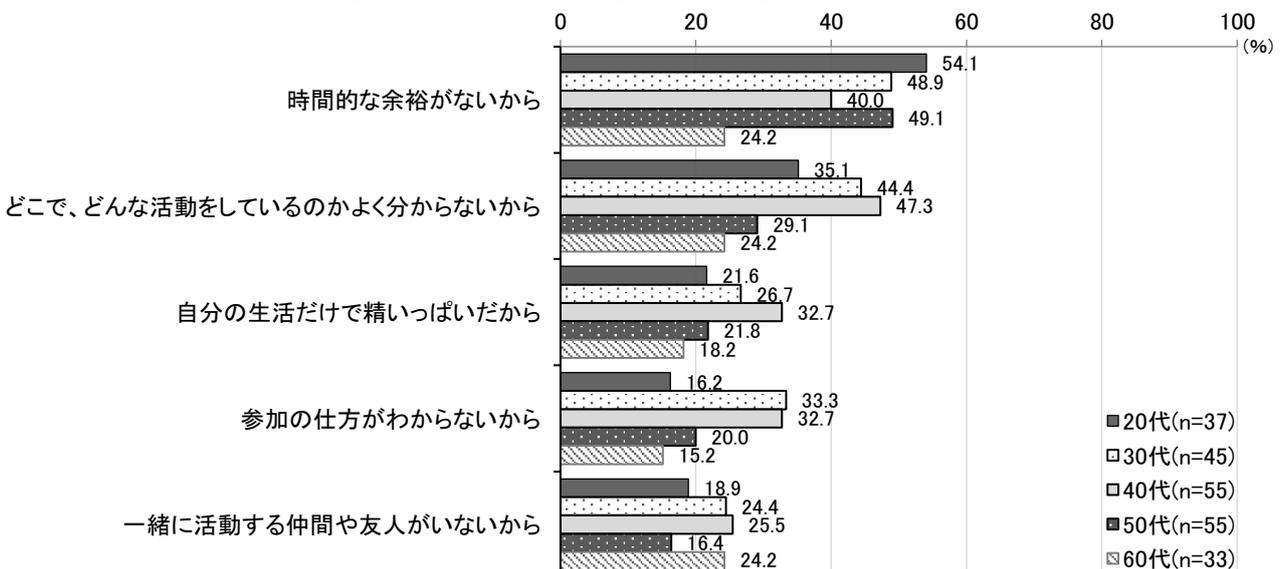
【その他の意見】

参加していた地区から移動したため／家族が参加している／仕事／子どもの学校卒業に伴い地域活動への参加が減少／交流したくない近隣住民の存在／自治会に入れてもらえない／日本語でのコミュニケーションがむずかしい／村外へいくため

参加していない理由(前回調査)



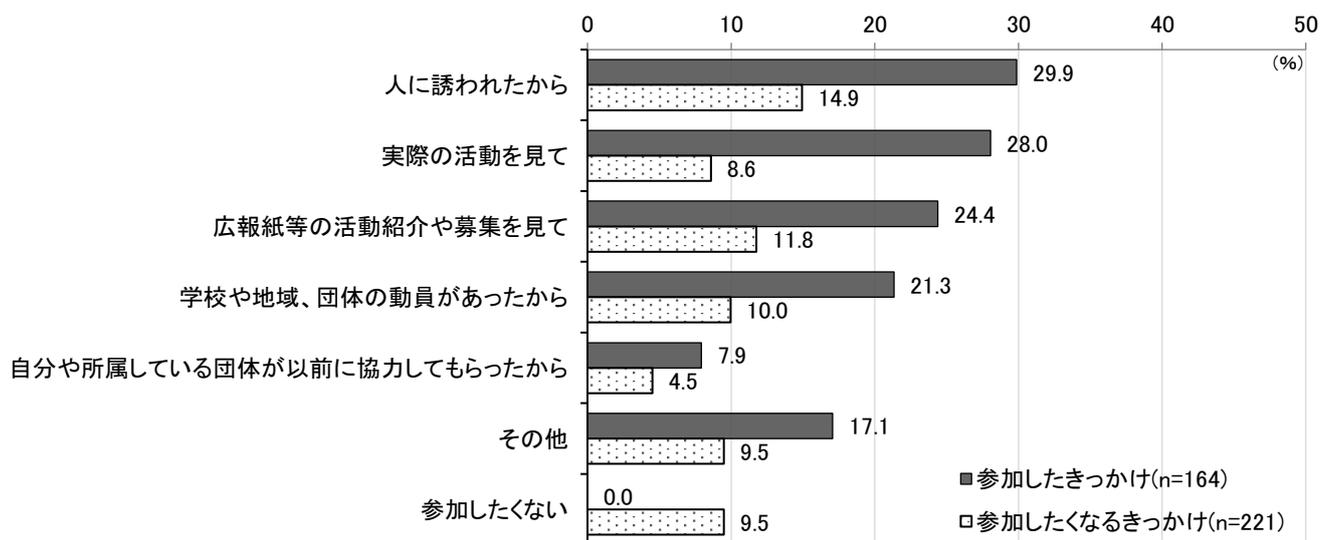
地域活動に参加していない理由(年齢別)上位5項目



問 21-2 地域活動に参加している方(問 21 で「1」と回答)はそのきっかけは何でしたか。また、参加していない方(問 21 で「1」以外を回答)は、どのようなきっかけがあれば参加したいと思いますか。(複数回答)

地域活動に参加したきっかけは、「人に誘われたから」が最も高く 29.9%、次いで「実際の活動を見て」が 28.0%となっています。一方で、参加していない方が参加したくなるきっかけも、「人に誘われたら」が 14.9%と最も高くなっています。

地域活動に参加した(したくなる)きっかけ



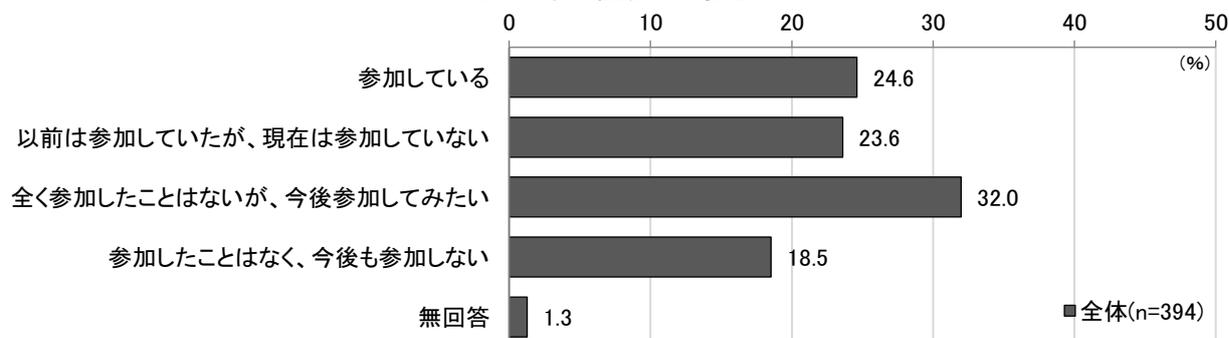
【その他の意見】

- 参加している方: 子どもの頃からの習慣/地域のアナウンス/自治会活動の一環/自治会役員/婦人会活動/住民として当然/生まれ育った地域/行政が手の行き届かない作業は、区民で地域活動を行うべき/自主的な清掃活動を実施
- 参加していない方: 時間の余裕があれば参加/タイミングが合えば参加

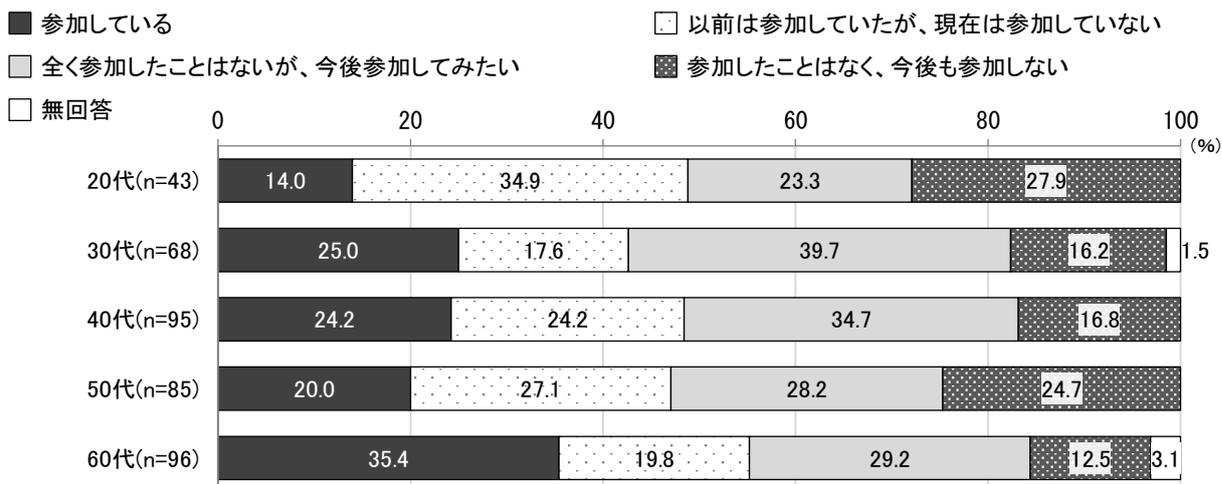
問 22 ボランティア活動に参加していますか。

ボランティア活動について、「全く参加したことはないが、今後参加してみたい」が最も高く 32.0%、次いで「参加している」が 24.6%となっています。年齢別でみると、「参加している」は 20 代で最も低く、60 代で最も高くなっています。また、20 代では約 3 割が「参加したことはなく、今後も参加しない」と回答しています。

ボランティア活動への参加



ボランティア活動(年齢別)

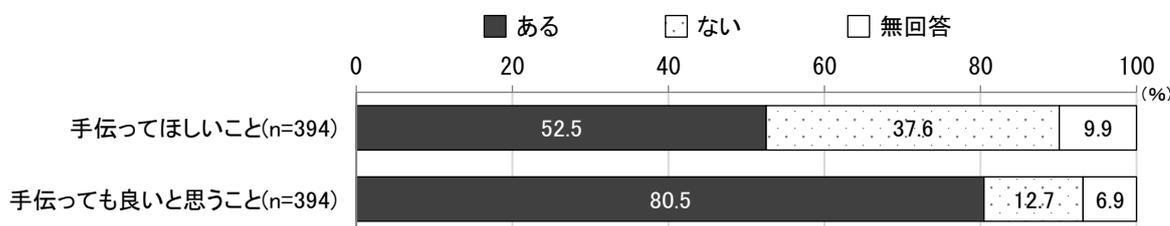


問 23 地域の方に日常生活で手伝ってほしいこと、または手伝っても良いと思うことは何ですか。(複数回答)

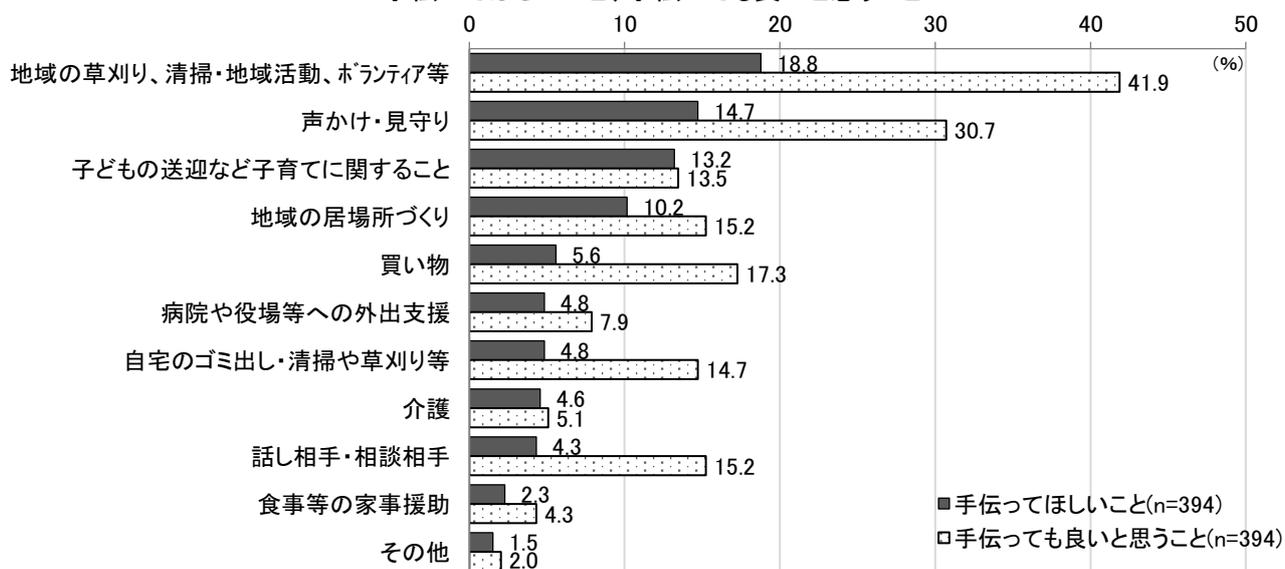
地域の方に日常生活で手伝ってほしいことについて、「ある」が 52.5%、「ない」が 37.6%となっています。また、手伝っても良いと思うことは、「ある」が 80.5%と高くなっています。

「手伝ってほしいこと」、「手伝っても良いと思うこと」とも「地域の草刈り、清掃・地域活動・ボランティア等」が最も高く、それぞれ 18.8%、41.9%となっています。年齢別でみると、30~40代の子育て世代では「子どもの送迎など子育てに関すること」が最も高くなっています。

手伝ってほしいこと・手伝っても良いと思う事



手伝ってほしいこと、手伝っても良いと思うこと



※選択肢「ない」を除く

【その他の意見】

- 手伝ってほしいこと: 高齢になった時/インターネット関連の情報発信/子どもの送迎/英語の翻訳
- 手伝っても良いと思う事: ビーチクリーン/健康、運動指導/カウンセリング/オートバイの騒音対策

手伝ってほしいこと(年齢別)

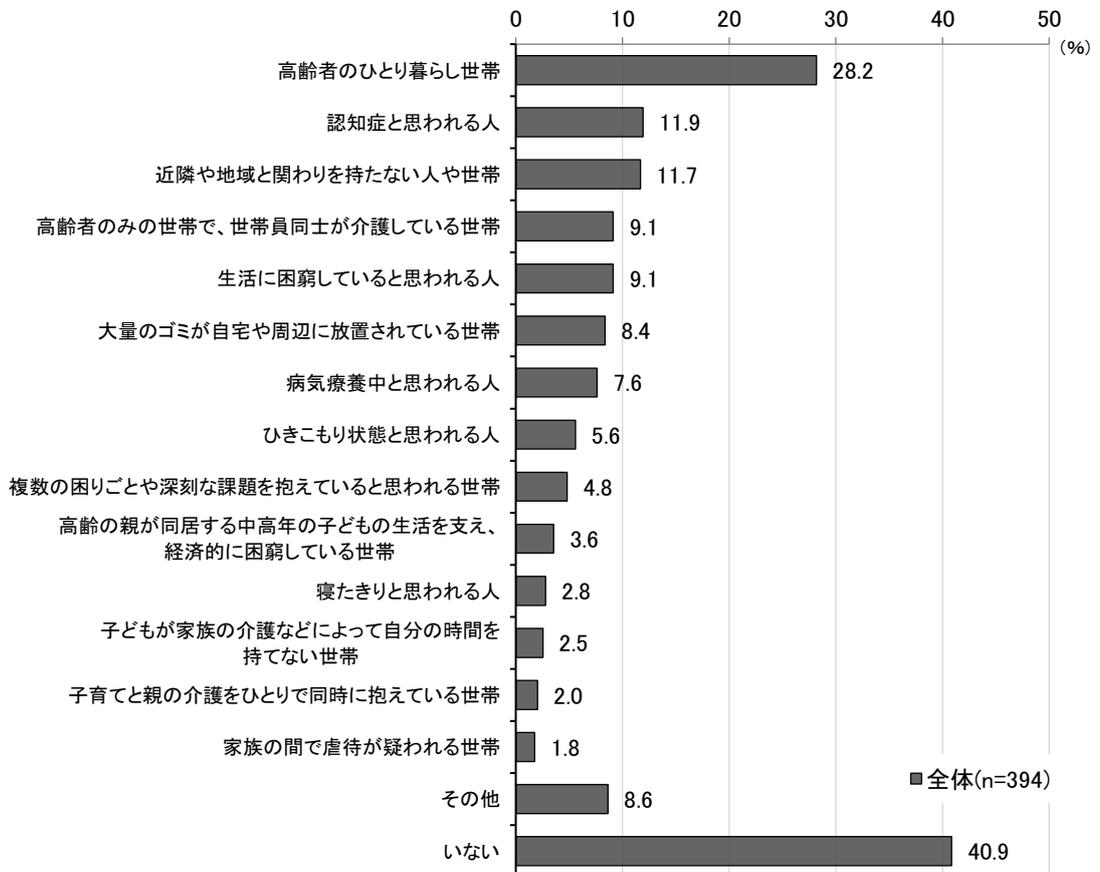
	20代(n=16)	30代(n=44)	40代(n=53)	50代(n=39)	60代(n=50)
地域の草刈り、清掃・地域活動、ボランティア等	37.5	22.7	41.5	41.0	38.0
声かけ・見守り	12.5	31.8	35.8	20.5	28.0
子どもの送迎など子育てに関すること	12.5	45.5	47.2	12.8	0.0
地域の居場所づくり	6.3	11.4	28.3	23.1	20.0
買い物	25.0	11.4	5.7	12.8	8.0
病院や役場等への外出支援	6.3	13.6	3.8	15.4	6.0
自宅のゴミ出し・清掃や草刈り等	6.3	9.1	9.4	15.4	6.0
介護	12.5	15.9	3.8	12.8	2.0
話し相手・相談相手	12.5	6.8	3.8	12.8	8.0
食事等の家事援助	12.5	9.1	1.9	5.1	0.0
その他	6.3	2.3	5.7	2.6	0.0

問 24 あなたがお住いの地域に、次のような見守りなど支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。(複数回答)

地域に見守りなど支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯について、40.9%の方が「いない」と回答していますが、それ以外では、「高齢者のひとり暮らし世帯」が最も高く28.2%、次いで「認知症と思われる人」が11.9%となっています。

地域別では、安富祖小学校区において、「高齢者のひとり暮らし世帯」をはじめ、問題を抱えている世帯があると回答した割合が高くなっています。

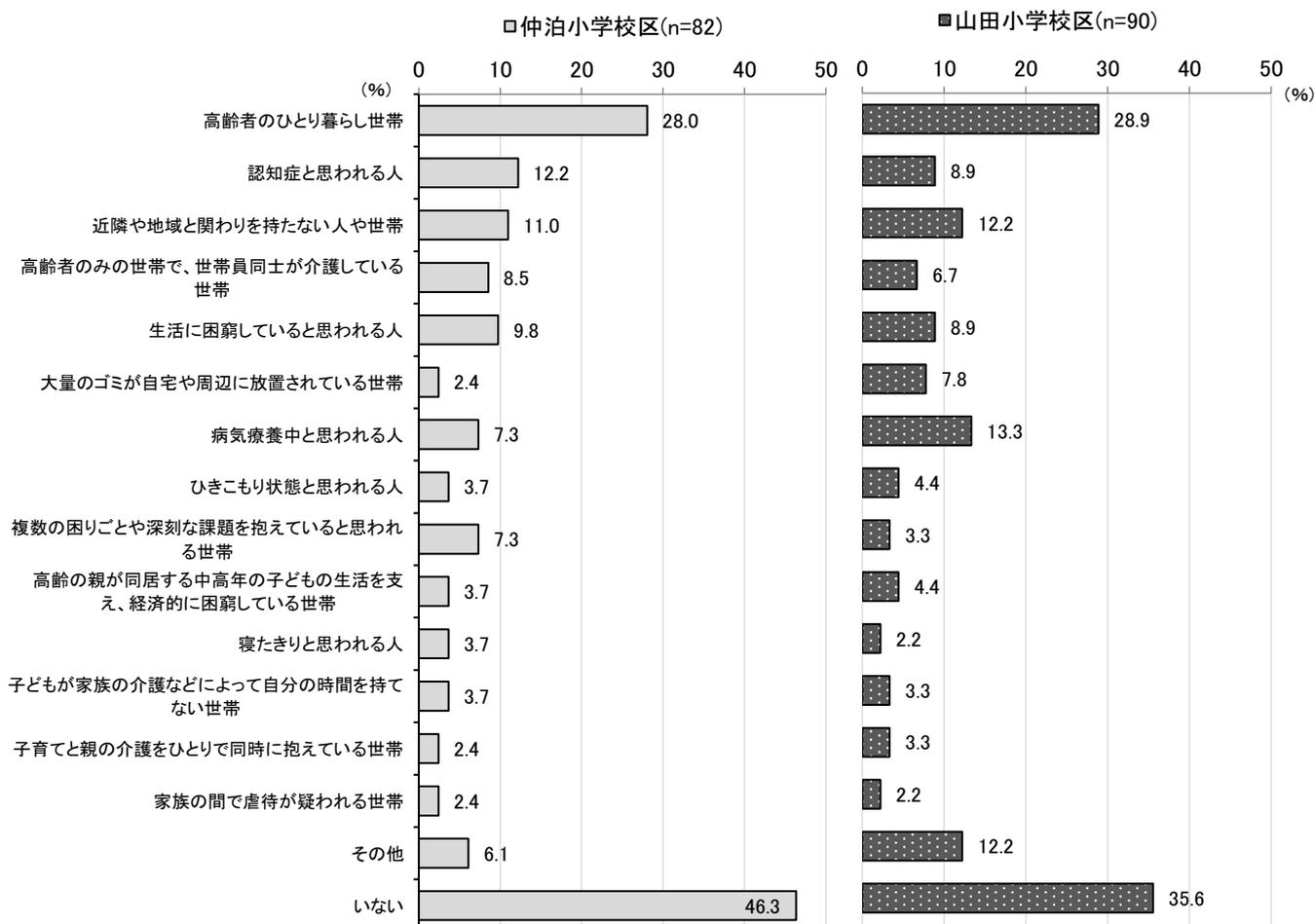
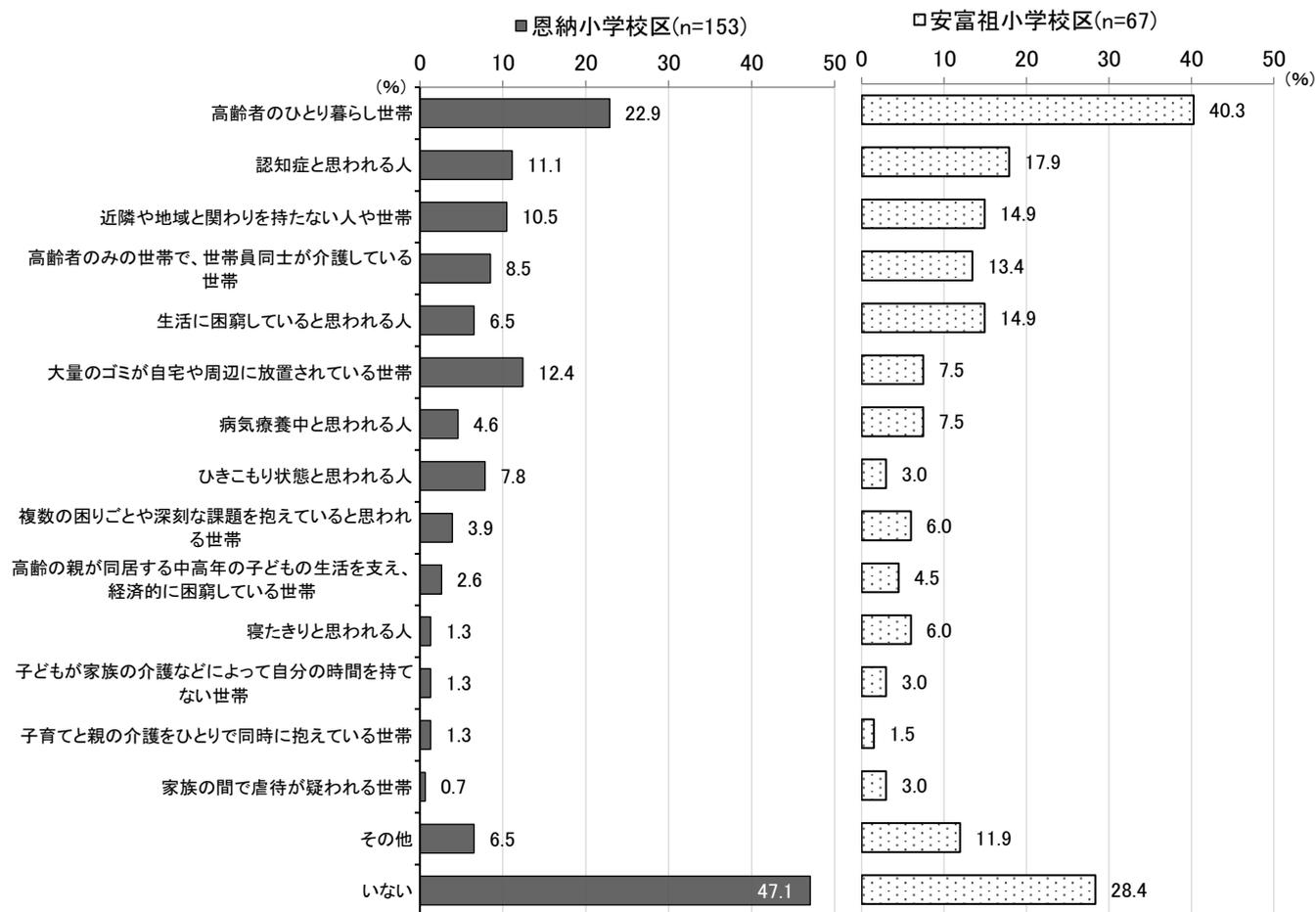
地域で問題を抱えていると思われる世帯



【その他の意見】

親が子育てを放棄している／フラフラ歩いている人がある／大声を出したりする人／知らない人にお金を貸してくれというお年寄り／不登校、登校しぶり

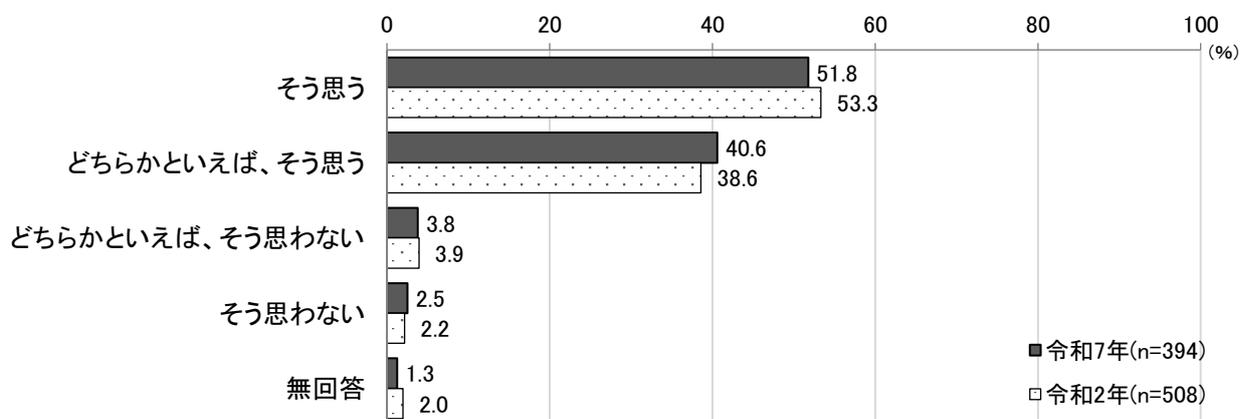
地域で問題を抱えていると思われる世帯(地域別)



問25 これからは、「地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域にしていかなければならない」と思いますか。

「地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域にしていかなければならない」について、「そう思う」が51.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」が40.6%となっています。

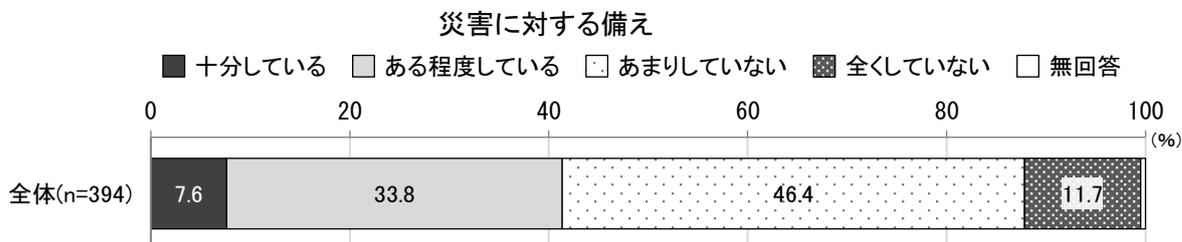
地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域にしていかなければならない(前回調査との比較)



6 災害時の対応等について

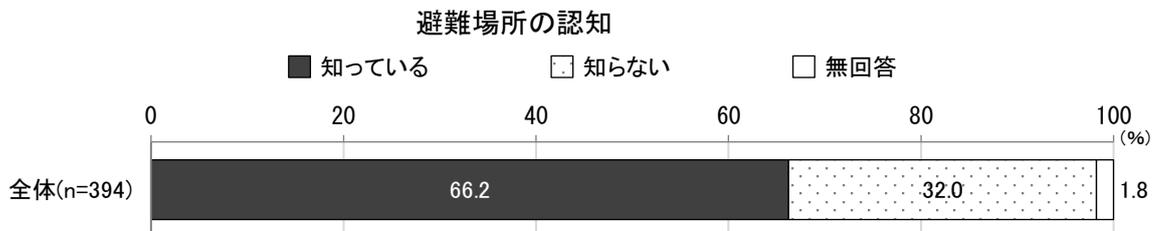
問 26 あなたは、地震や台風・大雨などの災害に対する備えをしていますか。

地震や台風・大雨などの災害に対する備えでは、「あまりしていない」が 46.4%と最も高く、次いで「ある程度している」が 33.8%となっています。



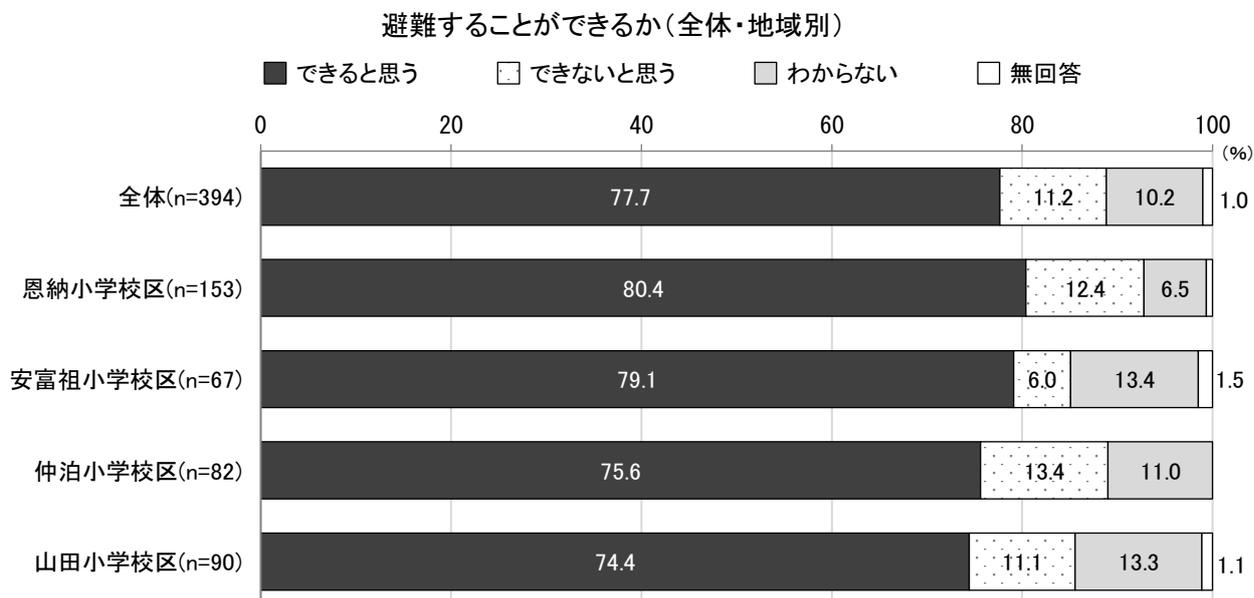
問 27 あなたは、お住いの地域の中で、恩納村が定めている災害時の避難場所がどこにあるか知っていますか。

災害時の避難場所について、「知っている」が 66.2%、「知らない」が 32.0%となっています。

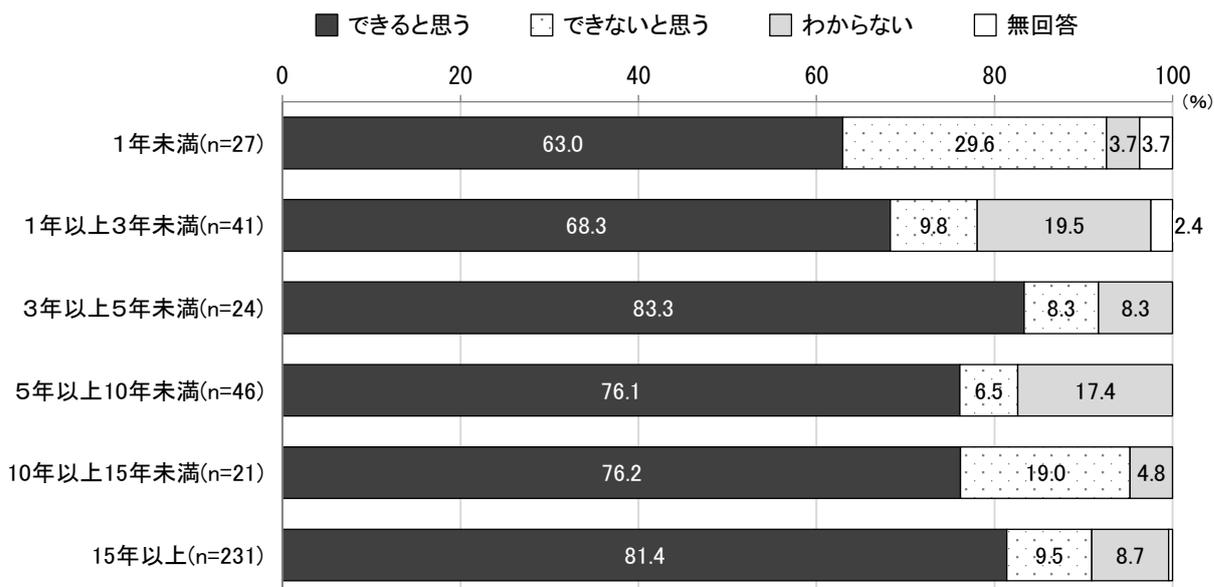


問 28 あなたは、地震や台風・大雨などの災害時に、ご自身で避難することができますか。

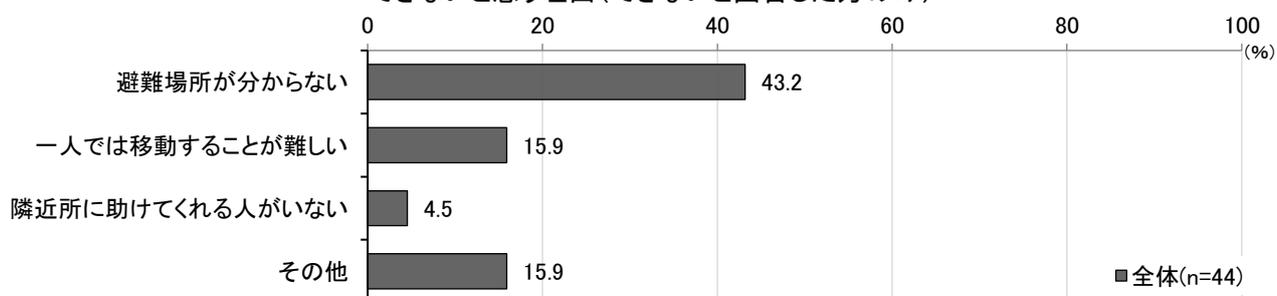
全体では「できると思う」が 77.7%、「できないと思う」が 11.2%、「わからない」が 10.2%となっています。地域別では、仲泊小学校区で「できないと思う」が他の地域よりやや高くなっています。居住年数別では1年未満の方が「できないと思う」が 3 割近く存在しており、その理由については、「避難場所が分からない」が最も高くなっています。



避難することができるか(居住年数別)



できないと思う理由(できないと回答した方のみ)



【その他の意見】

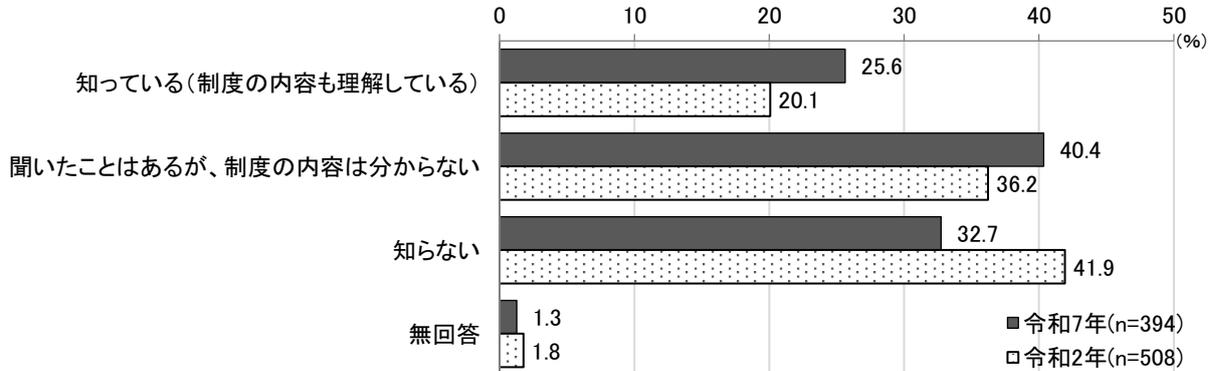
地域で防災への取り組みがないため、災害がおきたときの動きが分からない／ペットいるから／立地が悪く、主要道路に出るのに時間がかかる

7 成年後見制度や再犯防止について

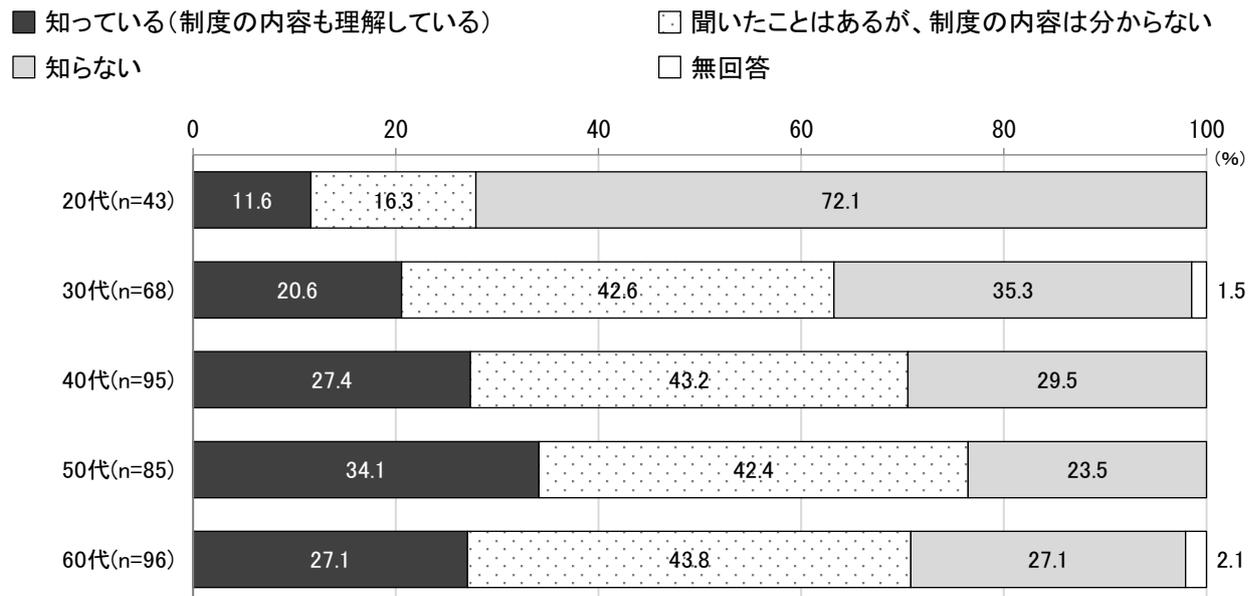
問 29 成年後見制度を知っていますか。

成年後見制度について、前回調査より認知度が増加し、「知っている（制度の内容も理解している）」方は25.6%、「聞いたことはあるが、制度の内容は分からない」が40.4%、「知らない」が32.7%となっています。年齢別でみると、20代で「知らない」が7割を超えています。

成年後見制度の認知度（前回調査との比較）



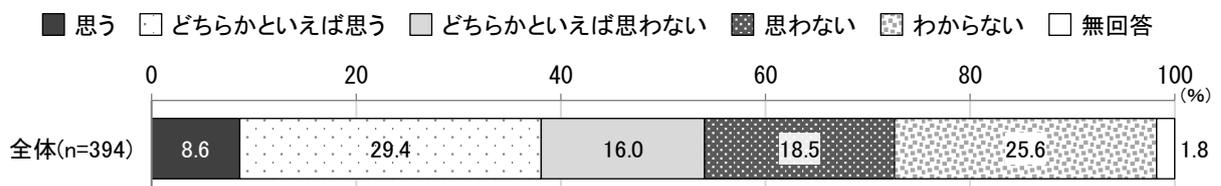
成年後見制度の認知度（年齢別）



問 30 あなたは、罪を犯した人の立ち直りに協力したいと思いますか。

罪を犯した人の立ち直りに協力したいかについて、「どちらかといえば思う」が29.4%で最も高く、次いで「わからない」が25.6%となっています。

罪を犯した人の立ち直りに協力したい

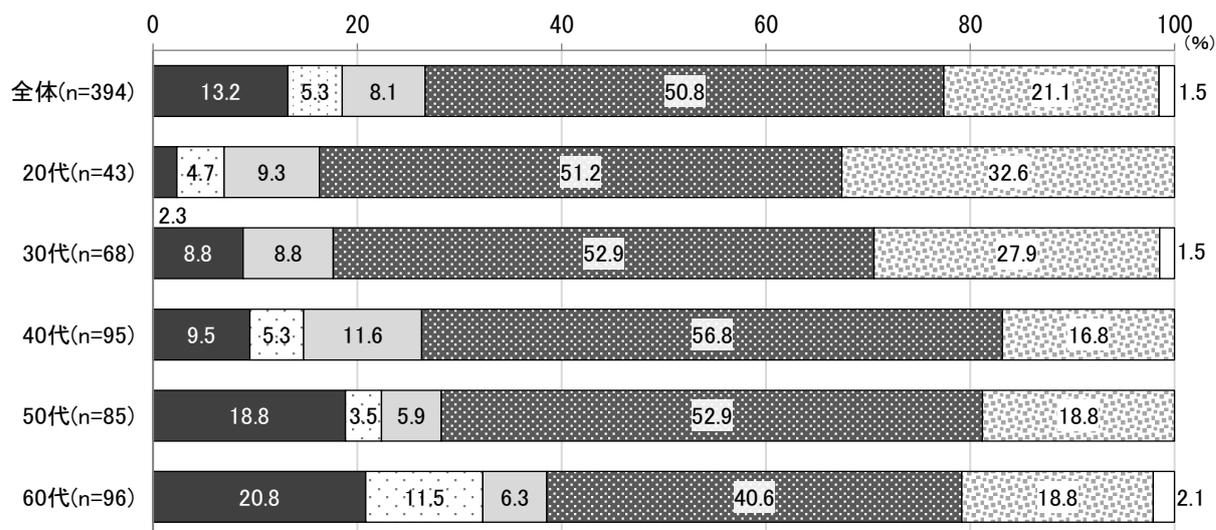


問 31 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。

「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」の認知度については、全体では「両方とも聞いたことがない」が最も高く 50.8%、次いで「わからない」が 21.2%となっています。年齢別でみると、年齢が上がるにつれ、「両方とも聞いたことがある」が増加しています。

「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」(全体・年齢別)

- 両方とも聞いたことがある
- 「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある
- ▨ 「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある
- 両方とも聞いたことがない
- わからない
- 無回答

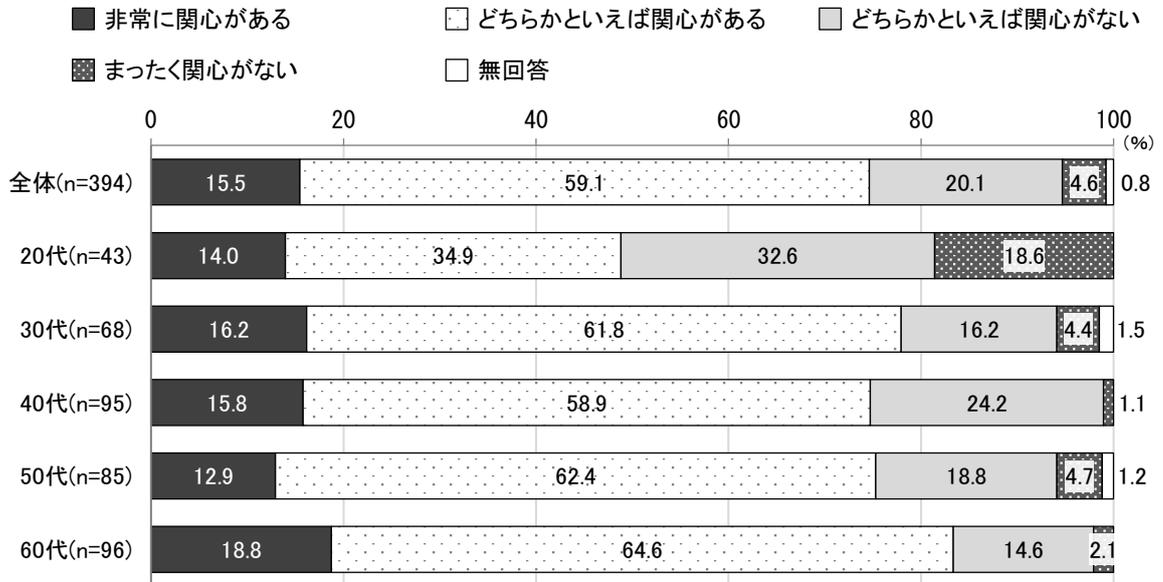


8 「福祉」や「福祉サービス」に関すること全般

問 32 あなたは地域の福祉に関心をお持ちですか。

全体で見ると、地域の福祉に関心について、「どちらかといえば関心がある」が最も高く 59.1%、次いで「どちらかといえば関心がない」が 20.1%となっています。年齢別で見ると、20 代の半数が「どちらかといえば関心がない」、「まったく関心がない」と回答しています。

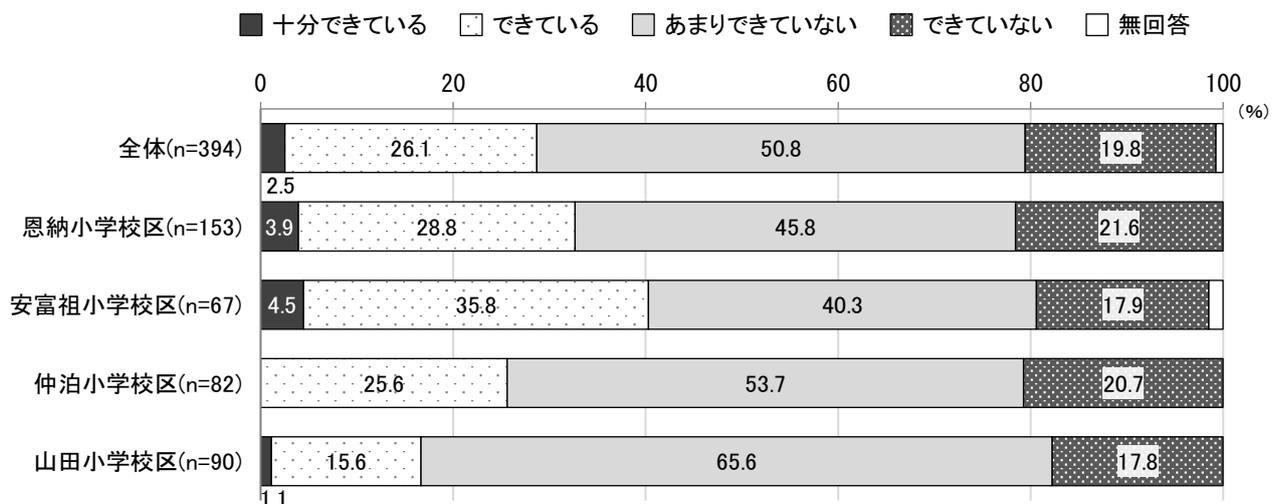
地域福祉への関心(全体・年齢別)



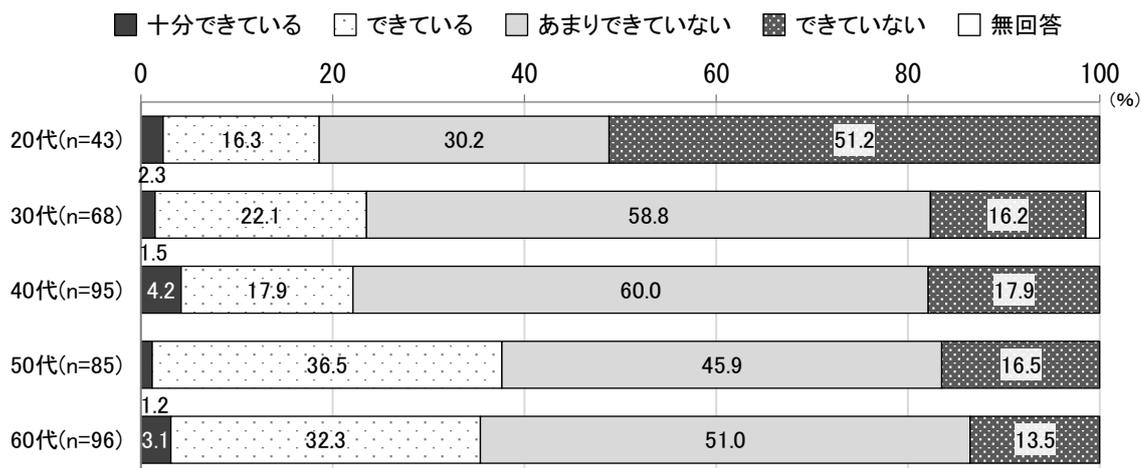
問 33 あなたは福祉に関する必要な情報を適切に得られていますか。

福祉に関する情報入手について、「あまりできていない」が最も高く 50.8%、次いで「できている」が 26.1%となっています。地域別では安富祖小学校区で「できている」が他の地域より高くなっています。年齢別で見ると、20 代の半数が「できていない」と回答しています。

情報の入手(全体・地域別)



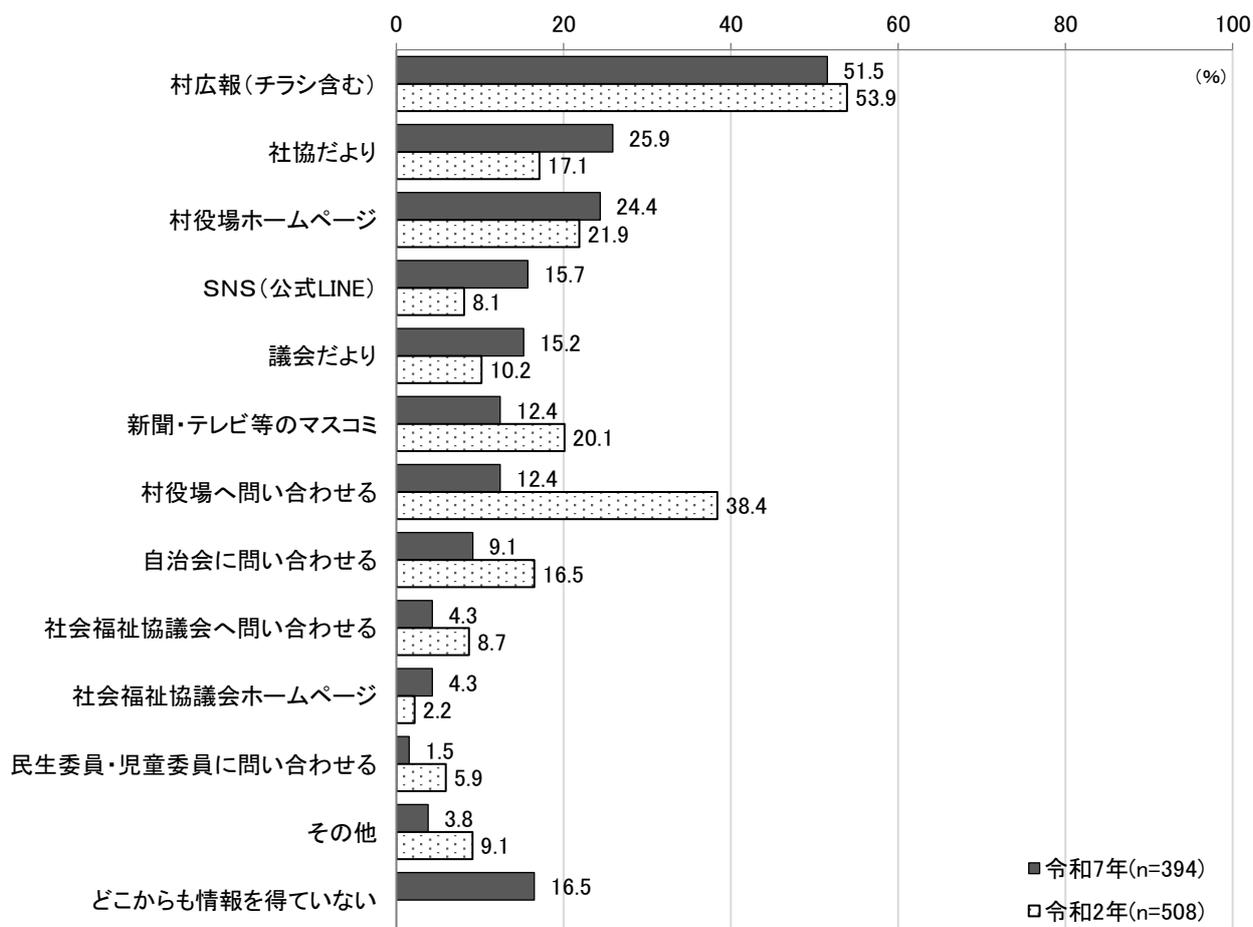
情報の入手(年齢別)



問 34 地域の情報や福祉の情報をどこで入手していますか。(複数回答)

情報の入手先としては、「村広報誌(チラシ含む)」が最も高く 51.5%、次いで「社協だより」が 25.9%となっています。また 16.5%の方が「どこからも情報を得ていない」と回答しています。

情報の入手方法

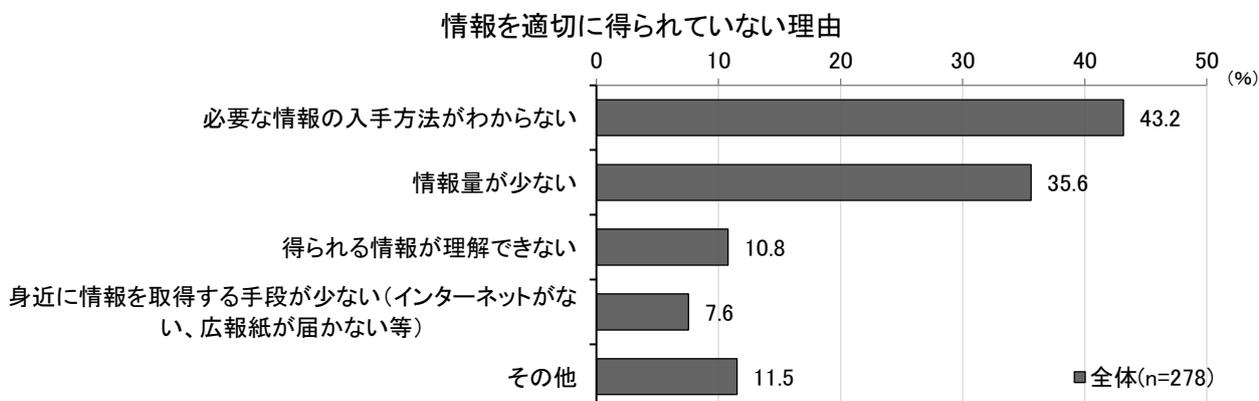


【その他の意見】

なかゆくい市場の掲示板／公民館だより／インターネット検索／関係各所に問い合わせ／担当相談員／友人、知人／口コミ／職場

問 35 <問 33 で「3. あまりできていない」「4. できていない」と回答した方>
 あなたが、情報を適切に得られていない理由で最もあてはまるものは何ですか。(複数回答)

情報を適切に得られていない理由として、「必要な情報の入手方法がわからない」が 43.2%、「情報量が少ない」が 35.6%となっています。

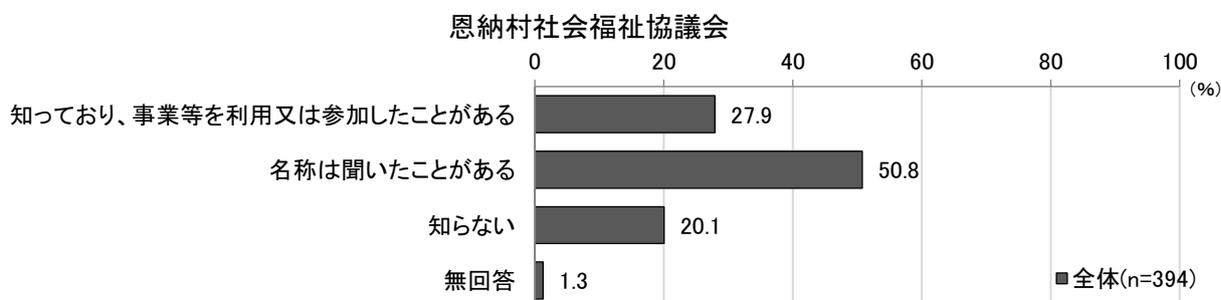


【その他の意見】

議会だより等の広報誌を見ない／忙しい／気にしていない／興味関心がない・必要としていない／言葉の壁／必要とする福祉サービスがない／役場の担当者が理解出来ていない／インターネットの情報が古い

問 36 恩納村社会福祉協議会をご存じですか。

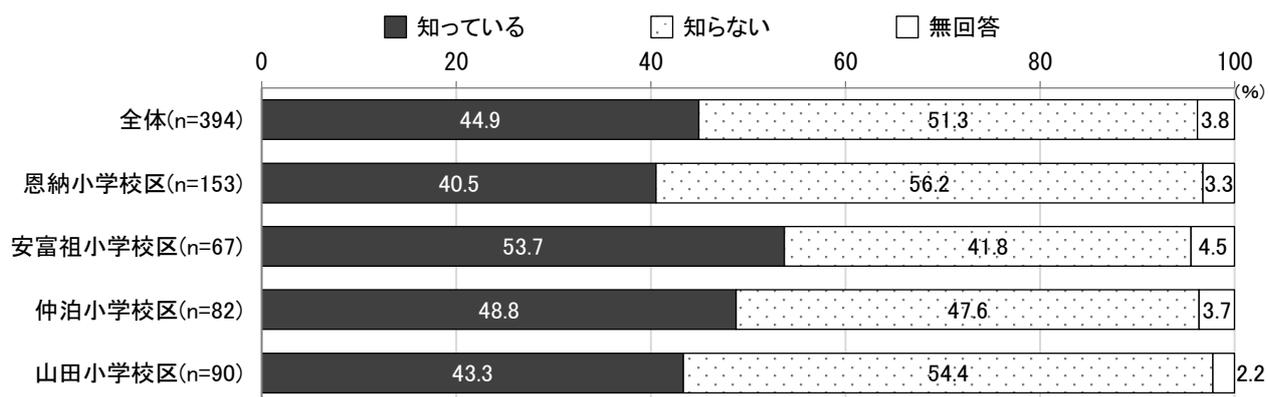
恩納村社会福祉協議会について、「名称は聞いたことがある」が最も高く 50.8%、次いで「知っており、事業等を利用又は参加したことがある」が 27.9%、「知らない」が 20.1%となっています。



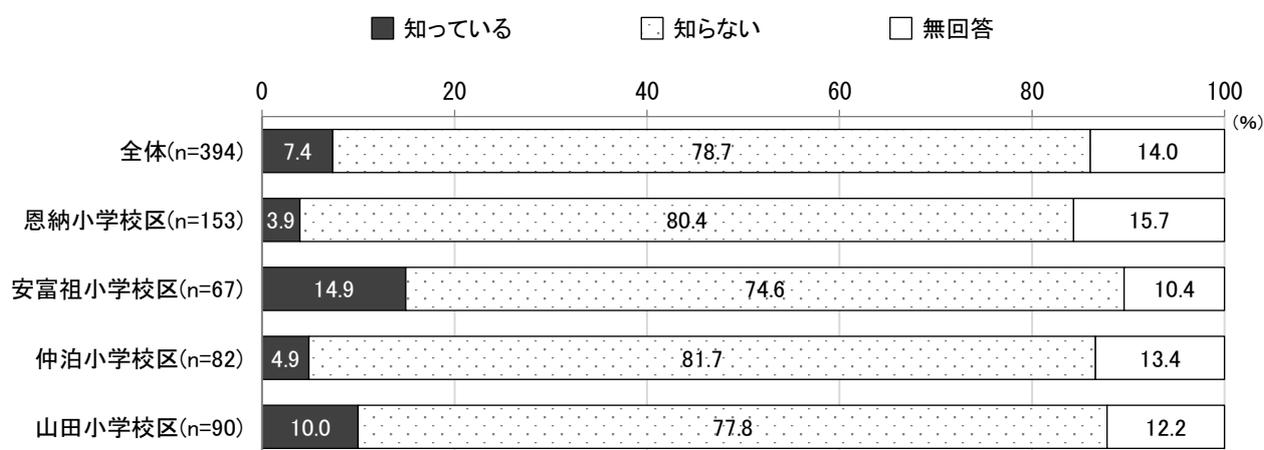
問 37 住んでいる地域において下記の活動をされている人をご存じですか。

民生委員・児童委員について、「知っている」が 44.9%、「知らない」が 51.3%となっています。コミュニティソーシャルワーカーについては、「知っている」が 7.4%、生活支援コーディネーターは「知っている」が 9.1%とどちらも1割以下となっています。地域別ではいずれも安富祖小学校区で「知っている」割合が高く、恩納小学校区で「知らない」割合が高くなっています。

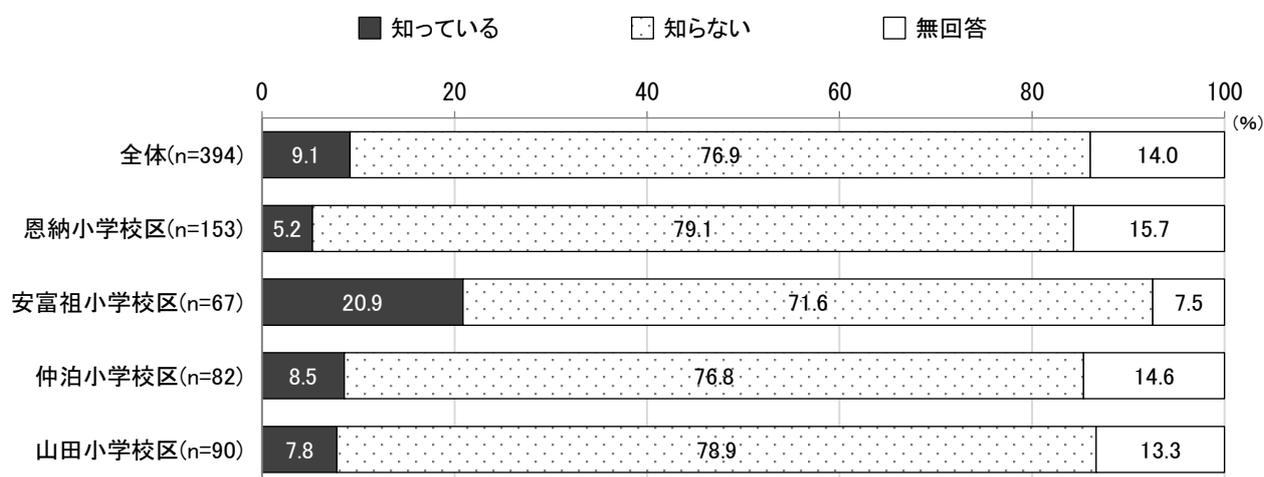
民生委員・児童委員(全体・地域別)



コミュニティソーシャルワーカー(全体・地域別)



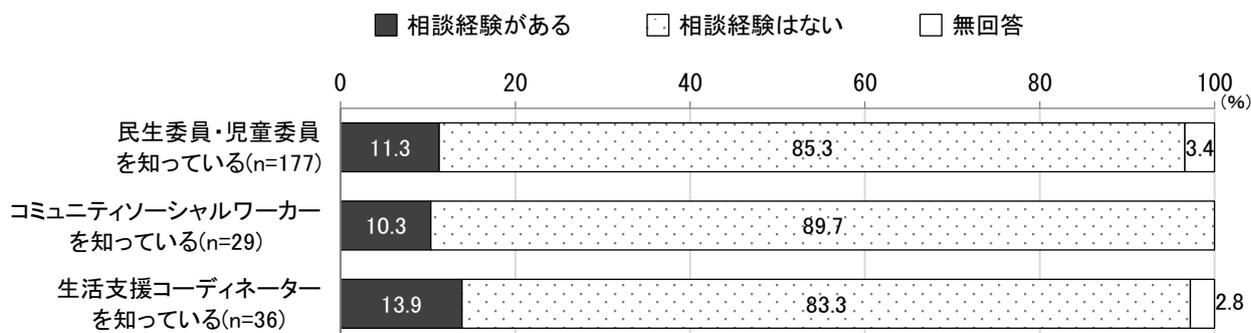
生活支援コーディネーター(全体・地域別)



問 37-1 <問 37 で①から③のそれぞれについて「知っている」と回答された方>
相談したことはありますか。

地域の民生委員・児童委員を知っている方のうち、「相談経験がある」は 11.3%となっています。コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターについて、「相談経験がある」は、それぞれ 10.3%、13.9%となっています。

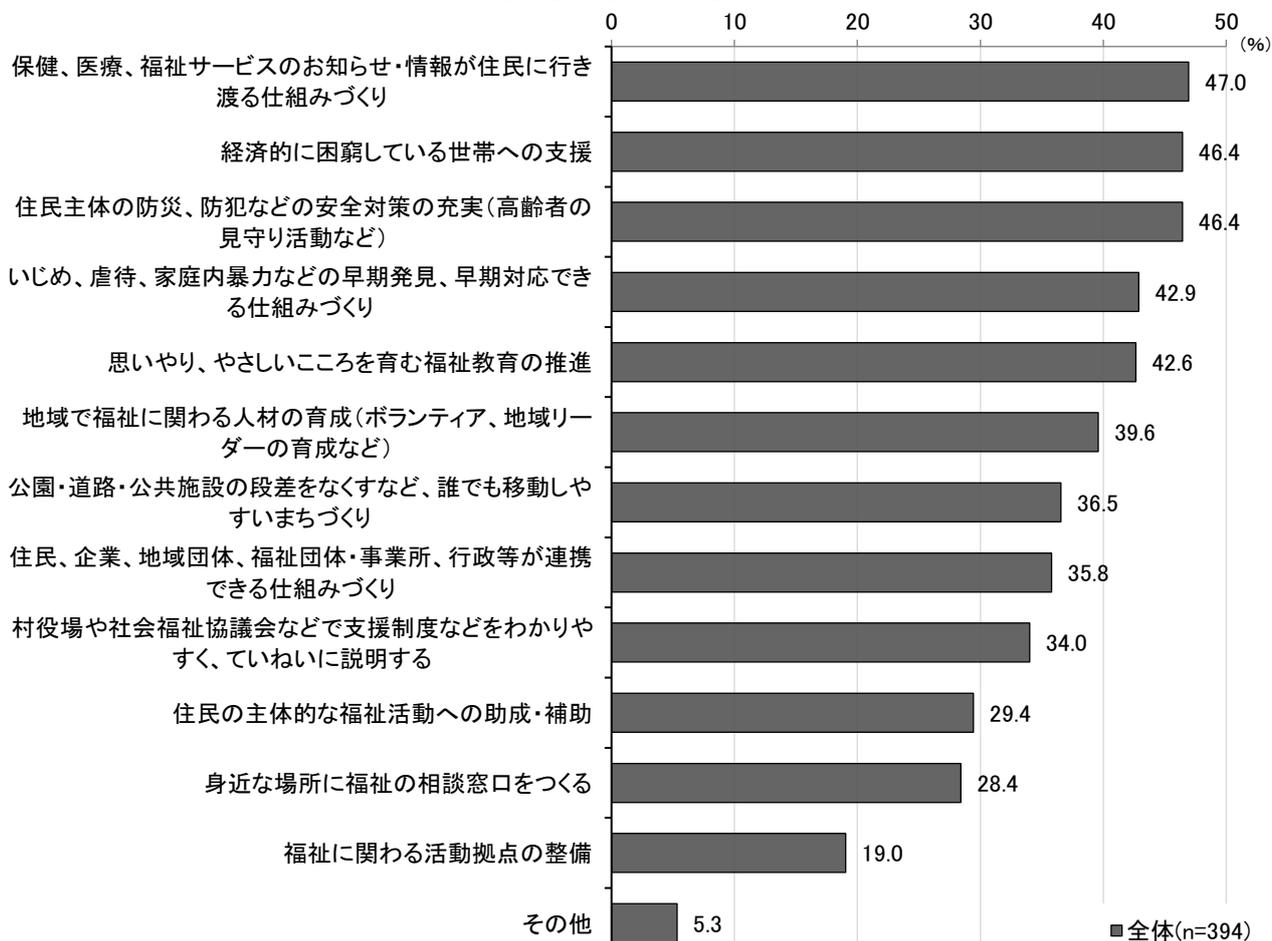
民生委員・児童委員、コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターへの相談



問 38 今後、恩納村が地域における福祉を充実させるために必要な取り組みはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

「保健、医療、福祉サービスのお知らせ・情報が住民に行き渡る仕組みづくり」が 47.0%と最も高く、次いで「経済的に困窮している世帯への支援」、「住民主体の防災、防犯などの安全対策の充実(高齢者の見守り活動など)」が 46.4%となっています。

福祉を充実させるために必要な取り組み



【その他の意見(要約)】

- ・恩納村の全ての人々が愛着を持ち、自慢できる、いきいきと生活できるような取り組み
- ・村内コミュニティバスが必要
- ・子どもの送迎ができない人たちへの支援
- ・支援の偏りをなくす(非課税世帯に支援が偏っている)
- ・広い視野、経験を持つ人材の育成
- ・毎日の食事の指導で病気をなくす
- ・子ども達が安心して学校に通える通学路
- ・児童館が必要
- ・安全確保のため信号機設置(仲泊ニュータウン、サンセットビルの前の横断歩道など)
- ・年1回、各世帯に電話で話を聞く
- ・バイク騒音への対策
- ・誰でも自然に触れあったり、安心して過ごすことができる居場所
- ・差別のない地域活動
- ・外国人向けの英語サポートの強化
- ・買い物や移動などの生活に必要な産業の誘致
- ・自転車用のインフラ改善
- ・スーパーや病院が必要
- ・大切な役割や育成にボランティアの精神を求めすぎない(有償のほうが責任を伴いやすい)

9 自由意見

恩納村や恩納村社会福祉協議会に期待すること、その他、福祉に関するご意見、ご要望は何ですか。

自由意見では、買い物環境の改善と移動手段の確保に関することが多くなっています。

買い物に関しては、スーパーやドラッグストアなどの買い物施設を求める意見が多く見られるほか、車を持たない方や免許返納者、高齢者のための支援の必要性も指摘されています。

そのほか、移動手段としてコミュニティバスの要望や道路・公園の整備、子育て支援、高齢者支援に関する意見も多く、生活に必要なインフラやサービスの向上が強く求められている状況が伺えます。

また、地域との繋がりがりやコミュニティ・居場所づくりに関する意見も多く上がっています。

自由意見(分類別件数)

分類	件数	分類	件数
買い物に関すること	12件	社会福祉協議会、民生委員	7件
移動に関すること:	5件	福祉サービス・福祉全般	15件
道路や公園・施設の整備	6件	恩納村について・村づくり	9件
医療・高齢者・介護・障がい者	9件	相談窓口	3件
困窮世帯への支援	2件	情報発信	7件
子育て支援	6件	ゴミ、騒音問題:	8件
居場所づくり	5件	その他	6件
地域との関わり・コミュニティ	6件		

IV 自由意見

【買い物に関すること】

自由意見	地域
スーパーが欲しい	恩納校区
買い物外出支援サービス。理由①買い物難民をなくす②引きこもりをなくす③免許返納④安全見守り⑤地域住民同士の交流⑥地域情報の周知、概要。1日2回午前と午後のマイクロバスによる買い物支援。曜日によって行き先を変える(例 月曜日 名護 火曜日 石川)利用条件をゆるくする。①一人で歩いて買い物ができること②補助が必要な人は付き添いがついていること。結構な人が買い物を要望していると思う。	恩納校区
私は恩納村に近いうちに地域住民の日常生活のニーズを満たし、安価で効率的な交通手段をサポートする完全なショッピング施設が完成することを願っています。	恩納校区
買い物できるお店が恩納共同売店だけなので、小さくても良いのでスーパーができたらいいなと思います。	恩納校区
買い物ができる施設。診療科目の多い病院が増えるといい。	恩納校区
買い物ができるショッピングセンターを増やしてほしい。何でも対応できるような病院を増やしてほしい。	恩納校区
スーパーがあるといい。	恩納校区
近くにガソリンスタンドを作って欲しい。近くにドラッグストアを作って欲しい	安富祖校区
恩納村は自然環境も良く、学校や図書館、道の駅などの施設もかなり綺麗。そこに魅力を感じる。しかし、スーパーマーケットやドラッグストアが無く、昔あった商店もなくなってしまい、必要な物資をすぐに調達するのが難しい。買い物で隣の市町村に行くのも遠く、車の移動手段を持たない方は本数が限られている路線バスかタクシーで高いお金を払って移動しなければならない。村民の利便性の向上のため商業施設を誘致するか、サンエー、かねひでなどの近隣市町村のネットスーパーの範囲を恩納村の端から端までに広げてもらうなどして、対応してほしい。	安富祖校区
日常生活のための食材や衣服なども他市町村へ車などがないと調達が難しいです。村指定のゴミ袋が村内のコンビニエンスストアくらいでしか購入できないため結局何店舗も車で移動することになります。近隣の市町村のスーパーなどに指定ゴミ袋を置いてもらうことなどはお願いできないものなのでしょうか？今のままですと村民が住むための環境として厳しいことが本当に多いので用意が出来れば転居したいというのが本意です。	仲泊校区
利用されている方の話を聞いたことはないのですが、実際どうなのかはわかりませんが福祉サービスが近くにあったり、定期的にチラシが入っていたり福祉送迎バスを見かけたりするので、利用しやすい環境なのかなという印象はあります。ただ、近くにスーパーや病院、郵便局、銀行など、日常に必要な施設がないので車の運転ができなくなった時に家族が近所に住んでいなかったら不便な場所だと思います。	山田校区
近隣にスーパーを作ってください。	山田校区

【移動に関すること】

自由意見	地域
誰でも移動しやすいまちづくり	恩納校区
恩納村 58 号線からタバタやサンエーまでの連絡線でのコミュニティバスがあったほうがいい。中学校のスクールバスを活用してもいいと思う。東海岸側へ進学した高校生の送迎や、免許返納した方の買い物、1 時間に一本でもあるととても助かると思う。中城村が朝の登校時に宜野湾市までコミュニティバスを出している。恩納村も村外への運行も考えるべき。なぜなら村内にスーパーも無いし、バスも本数少なく(特に石川方面)村内での路線バス利用は料金も高い。ガソリン代も上がってマイカー送迎の負担も増えた。子供が小さい時は地域の目に助けられるが、子供が高校へ進学するタイミングで引越し村を出る方も多い。高齢者の低速運転、ゆらゆら運転も増えている。しかし、返納すると買い物も行けない現状。社協の利用は敷居が高く感じ、村育ちの地元の人は噂にされないかとか情報漏洩も心配し、現在の状況よりまわりから聞いた話や噂を信用して行くことを拒む方もみる。逆に移住者は積極的に利用しているイメージ。	恩納校区

車がないと生活がほとんど成り立たない地域ですので、子どもの移動、高齢者の移動がより行える環境になると生活しやすくなると思います。	恩納校区
村内を走るコミュニティバスがあったら、病院や「うんな中学校」までの休み中の部活等に自家用車を使用しなくても済むので、高齢者や子ども達のためになるし、個人の負担も減るので導入して欲しいです。なぜないのか不思議です。	仲泊校区
村図書館にお年寄りを送迎してくれるバス等を週2回走らせてほしい。コミュニティバスのような感じで。	仲泊校区

【道路や公園・施設の整備】

自由意見	地域
村民が利用できる運動施設(プールや体育館)などがあれば健康増進にも繋がり、村民同士の関わりも増えると思う。	恩納校区
公園をもっと整備して欲しい。	恩納校区
公園に運動ができるような遊具や器具を設置してほしい。	恩納校区
希望ヶ丘のガタガタ道をなおしてほしい。運動が出来る広い公民館がほしい。他の部落と差をつけないでほしい。	安富祖校区
通学路や住宅街の街灯はもう少し多くてもいいのでは無いでしょうか。個人所有のアパートなどの管理がずさんな話もよく聞きます。	仲泊校区
まず道路の白線、横断歩道、看板などをきれいにして整えて下さい。仲泊の小学校前の道は大型ダンパーなどの通行止めをして欲しい。老人の方、お金や連絡などの手配が難しいので粗大ゴミの無料回収。	仲泊校区

【医療・高齢者・介護・障がい者】

自由意見	地域
介護事業所の充実、確保、福祉計画の状況にあったサービス。村での実態に側した計画。村内、村外利用状況の比較。村内利用を目標としてほしい。介護事業への補助制度。村独自事業所確保へ。	恩納校区
うつ病や躁うつ病の人達が定期的に集い、どう病気と向き合うか共有できる場所。	恩納校区
小児医療について、医療施設が少ないため、検討すべき。現在あるクリニックは高齢者が多く利用しており、小児医療とは言えないと思う。	仲泊校区
病院誘致など医療充実させてほしい。	仲泊校区
高齢者の一人暮らしの対応はもちろんですが、家庭内で孤立している子どももいます。助けてあげてください。	仲泊校区
高齢者の為の安心できる生活等も見直して頂きたい。家計にゆとりを持ち、心配なく暮らせる生活。支援頂きたいです。	仲泊校区
障がい者の就業施設が少ないから増やしてほしい	仲泊校区
一人暮らしの非課税世帯の後期高齢者に無料の弁当宅配をしてほしい。	山田校区
訪問介護事業、障がい福祉サービス事業を再開して欲しい。	山田校区

【困窮世帯への支援】

自由意見	地域
困難世帯や子供がいる世帯に給付金を出してほしい。物価高騰で生活が困難してるために。	恩納校区
困窮世帯への食品の提供と食事の指導等も含む。どうかその対策を早急に行ってください。今の行政に対する疑問や不満を感じている点です。	山田校区

【子育て支援】

自由意見	地域
子供達が体を動かせる所があると保護者達も足を運びやすく、子育て相談などがしやすい環境ができると思う。	恩納校区

村立のこども園について今一つ理解できないので、入所方法、料金、時間などをもっと分かりやすくしてほしい。	恩納校区
いつも小学校の朝ごはん活動など協力して頂きありがとうございます。すごく良い取り組みだと思います。	仲泊校区
移住者が子育てしやすい環境があったらいいなと思います。真栄田地区に公園がほしいです。	山田校区
子どもが遊べる公園などもあまりないため、小さい子がいる今、隣の市町村が魅力的にみえる時もあります。遊具がある公園が近所にほしいです。	山田校区
仲泊小と小田小の統合の案があがっていると聞きました。子どもには地域との関りや歩いて登校する際、地域の人、自然など感じて欲しいので子どもが少なくても統合はやめてほしいです。その様な話があるのであれば、村民にきちんと意見を聞いて欲しいです。幼稚園統合の様にされると困ります。教師が不足しているのであれば、教師の仕事以外の業務を担える職員を募集するなど、思案していただけますようお願いいたします。	山田校区

【居場所づくり】

自由意見	地域
共働きで子供たちが夏休みに家で留守番するのですが、お昼を買いにコンビニが多くなってしまいます。子供食堂などがあると、食事の心配もへり、子供同士での交流の場もでき、安心すると考えてます。公園には、夏は暑くていきたがりません。友達同士遊びたいけど、場所に困ってるときが多々あります。児童館があっても良いと思います。	恩納校区
学校に行けない子達の居場所作りがほしい。	恩納校区
福祉の分類に入るかわからないですが、不登校、登校渋りで困っているため、子どもたちの居場所、フリースクールや、その家庭への収入援助などがあれば助かると思っています。	安富祖校区
地域の方が集まれる居場所を。仲泊にはない、公園もないし真ん中の広場にイスやテーブルでも置いたらいいのでは？	仲泊校区
今の教育制度に合わない子供のフリースクールのような居場所づくり。仲泊は場所がないので、大きくなっていいので海の木などを利用して子ども達が遊べる所を作ってほしいです。	仲泊校区

【地域との関わり・コミュニティ】

自由意見	地域
いつもお世話になっております。『福祉』と聞くと少々敷居が高く感じますが。困った人がいても見て見ぬふりという、複雑な現代社会ですが。声をかけるのも余計なお世話じゃないかと気おくれがします。たとえば、もし自分が困っていても人様に助けを求めるのは、迷惑かけたくないと思慮がちになります。昔から、「困ったときはお互い様」と言われていたように、隣近所の人たちが、何かあったら、お互いに気軽に頼ったり頼られたりできる環境づくり(人付き合い)が大切だと感じます。そのためには、一朝一夕では難しいと感じます。また、行政や関係機関との距離感も否めません。何よりも、常日頃から、地域のまわりの人たちと気楽に交流を楽しみながら信頼関係を深められる機会がくれたらと思います。このような機会をいただきましたこと、心から感謝いたします。ありがとうございます。	恩納校区
谷茶におけるコミュニティや自治会があるのか分かりません。運動会でも谷茶区のみテントがなく町内会などあるのでしょうか。夏休み中、子どもがラジオ体操に行ける場所があったら助かります。地域の人とスポーツを楽しむクラブなどありますか。	恩納校区
各行政区に多機能型複合施設を村の経費で運営してもらい、老人から幼児までが交流できる、住み良いコミュニティ施設があると、人口増へ繋がると期待したい。	安富祖校区
人が行き来できることから、コミュニティの循環が期待できると認識しています。こういったことも社会福祉として実行して頂けるとありがたい。人が自由に行き来できる場所に、人生のエンゲージメントと考えられると思います。	仲泊校区
地域コミュニティの充実化	仲泊校区
各自相互的な助け合いができればと思います。	山田校区

【社会福祉協議会、民生委員】

自由意見	地域
社協さんが今まで頑張っていたヘルパー業務の生活支援が終了すると聞きました。その後の支援が必要な方は今、実際にある事業者の方達が引き継ぐ事も分かりますが、無理が大きいと思います。村自体の運営が難しいならその後を担う事業所への助成金やスタッフ拡充のアシストが必須だと思います。	恩納校区
民生委員不在地域があってはならないと思う。	恩納校区
社協の活動を活発にして欲しい。社協職員さんが辞めずにやりがいがあって地域リーダーを養成して盛り上げる社協であってほしい。社協の各種サービスが減った話を聞く事があった。	安富祖校区
民生委員が少ないので各地域に欲しいです。	安富祖校区
民生委員の活動を頑張ってほしい。	安富祖校区
そもそもどんな団体なのかよくわかりません	山田校区
困り事、問題どこまで立ち入れるか家庭によってですが、役場、社会福祉協議会は早期に対応できていると感じます。	山田校区

【福祉サービス・福祉全般】

自由意見	地域
労働力不足で高齢者に就業を勧めている時代にボランティア活動で福祉を充実させる事に大きなジレンマを感じます。福祉サービスに多様化が進み過ぎと感るので、よりシンプルにサービスをデザインすることから取り組むべきではないでしょうか？	恩納校区
あらゆる公共施設のバリアフリー。	恩納校区
他市町村に比べて利用出来る福祉サービスがない。福祉課の担当者が分かっていない情報が多い。アンケートに何度か答えているが改善が見られない	安富祖校区
福祉に関わる人のスキルアップ。人材育成が必要。また相談しやすい工夫も。	安富祖校区
福祉関係のある職場が1つずつ増えてほしい。恩納村内の人口が減らないようにしてほしい。	安富祖校区
福祉を受けている人、福祉を受けるに値する人は後ろめたい気持ちがあるので、そういう気持ちを解消するように行政の方の努力に期待したい。	仲泊校区
多文化家庭における福祉にも力を入れて頂きたいです。	仲泊校区
一人暮らしの方を後見人がつくまでとお世話をきて、いざ余命を告げられ緩和ケアのある病院へ。その時の看護師さんは、「もう私の手から離れました。裁判があるので」と逃げ腰。困った事、疑問に思った事など、役場窓口に行って、やさしく対応してくださる職員さんの言葉で私たちがやってあげなければと思い直しました。生活保護に関して、役場の窓口相談に行きました。生活保護を受給している方が収入のある家に移った場合、保護を打ち切られないかなど、税務課のある方が対応して、親切に保護担当の方に繋いで下さり、そのままいいことを知り安堵しました。2人で対応してくれた女性の方の言葉も有難かったです。忙しいのは充分分かりますが、親身になって対応して下さると何か糸口がみつき進んでいけるような気がします。	仲泊校区
上部組織との連携を密にする体制と人材育成	仲泊校区
村内にデイサービス施設を増やしてほしい。村内にショートステイできる施設を増やしてほしい。	仲泊校区
いろんな支援制度だけ作るよりも財政の負担をなくす方法を優先させるのがとても重要だと思います。そのための対策は食事の指導で病気や病人をなくすことが福祉を充実させる唯一無二の方法だと思います。	山田校区
村の健康運動応援事業を利用して読谷村の施設に通っていますが、領収書を役場まで持参するのも毎回大変なので、可能でしたら毎月施設の方から恩納村役場に請求して頂けると助かります。一度ご検討ください。	山田校区
必要としている人に、迅速な支援を期待します。	山田校区
高齢者や困窮児童を総括的に支援する子ども食堂とデイケアを合体させたような施設があるといいと思います。公民館を利用しボランティアと行政支援で運営できれば良いと思います。	山田校区
必要なのは、対処法ではなく、個々の根本的なシフトです。	山田校区

【恩納村について・村づくり】

自由意見	地域
恩納村で生活している住民の把握を行政はしているのだろうか。村民のどれだけの人が亡くなって、どれだけの子どもが産まれているかの数、若者が夢をもって働く場所があるか、住む場所、公園、歩道や自転車道、ウォーキングが出来るか。行政はそれらの実態を理解し未来の設計を考える仕事ではないでしょうか。	恩納校区
誰もが住みやすい村を作ってほしいです。北部の大きなくくりではなく、恩納村として機能してほしいです。	恩納校区
これまで様々な地域で医療、福祉に携わって来ました。地域住民が関わっていくことはもちろん大切ですが、現代社会で生活している人たちには、なかなか自分の生活以外に時間をさける人は多くはないです。もっと税金を医療と福祉に投入すべきです。もっと公務員を増やして医療費・福祉に関わってもらいましょう。地域住民を巻き込むにしても、それによって税金の支出が減ることは期待すべきではありません。結局、現場にしわ寄せがくるような「コミュニティづくり」の号令には大変疑問があります。	恩納校区
住みやすい村づくり	安富祖校区
観光業が盛んな一方、住民の生活はじめ文化的な側面が弱い気がします。特に継承、育成など。また住む場所が少ないと感じます。	安富祖校区
全ての人が住みやすい村にしてほしいです。魅力が多い村なので可能だと思います。	仲泊校区
観光立村であることは理解しているが、もうこれ以上ホテル、マリンショップを増やさないでほしい。観光客は数日間の滞在でいつも「魅力度ランキング」上位3位には入っているが、これからはずっと住み続ける村民重視の「住みたい街ランキング」上位に恩納村が入ることを期待したい。	仲泊校区
小学校、中学校のようにモデルケースを示して頂いたり、今後進む方向性を YouTube など短く分かりやすく文字少なめで教えて頂きたいです。恩納村の取り組みすばらしいと思います。私もよりよい村づくりに参加したいです。	山田校区
恩納村には元々恩納村出身の方が戻って来て住める環境作りを整備して欲しいです。あとは子育て支援をもっと充実させて少子化に歯止めをかけないと少子高齢化で地域の部会の存続危機も出てきている現状です。	山田校区

【相談窓口】

自由意見	地域
困りごと等、公民館や売店に box を設置し、気軽に投函できるようにしてほしい。貧困で困っている子ども・老人がいるかどうかもわからない。	安富祖校区
1月15日ゆうなホールの泉とおぼーのイベントに行き、様々な状況になった時、どこに相談できるのか、何か支援してもらえるのか心配になりました。元気な人が何をできるのか、どう参加したらいいのか分かりません。	仲泊校区
働きながら家族の介護をする世代にとって、福祉に関する相談が平日のみであることでかなり厳しい状況になるまで相談できずにいます。月2回程度でもいいですので、土日相談あるいは午後8時までの相談日を設定していただけたら有難いです。	仲泊校区

【情報発信】

自由意見	地域
マンションなどの住民にも村の広報を届けてほしいです。	仲泊校区
恩納村のHPは自分から見に行くことがほとんどないので、メールマガジンやSNSなどでの定期的な情報配信を期待します。	仲泊校区
子どもが楽しめるイベントなど自治体ではなく恩納村全体であったら楽しいと思う。情報不足なのかわからないのですが、あるのであれば情報発信して欲しい。	仲泊校区
訪問診療に関することを周知徹底してほしい。介護に関すること、福祉に関すること、病院に関する細かい情報がほしい。	山田校区

恩納村からたくさんの支援を受けていますが、言葉の壁があるため、あまり情報を知りません。恩納村が外国人向けに英語でのサポートを提供できれば、私の住んでいる地域でもありがたいです。ありがとうございます。	山田校区
情報が少ない。広報やホームページ、SNSなどで発信して欲しい。	山田校区
広報活動。広報紙に目を通せない人が情報を知らなかったり、声、スピーカー車などで情報が流したり、役場の福祉活動を知ってもらう。気軽に情報が入るようにする。地域公民館区長、書記に協力してもらう。	山田校区

【ゴミ、騒音問題】

自由意見	地域
住んでいるアパートの環境は良いが、新しく近隣にできた民宿からの騒音やちょっとしたトラブルが多々あり気になる。利用者が大声で夜中騒いだり、以前利用者が私の住んでいるアパートの駐車場を利用していることもあり、困ったことがあった。こちらの問題でないの、どこに相談していいかわからずです。	恩納校区
外国人観光客や日本人観光客のマナーが悪すぎる(うるさい。車のマナー。ゴミなど)。瀬良垣海岸の夏の夜はうるさくて大変。	恩納校区
ごみがそこら中にあり、今の地球の気候危機においてもっと真剣に徹底的に取り組んでほしい。プラスチックなど恩納村はすぐ海の近くにあり、海の動物たちへの即座の悪影響はただならないものだ。ごみの問題、そしてゴルフ場の夜のライトの点灯。コウモリなどの影響がかわいそうである。近所には全く相談がなく決まっていて残念である。動物に優しい恩納村を真剣に考えてほしい。	恩納校区
オートバイのオービスによるスピード違反対策と、あまりにしつこい地域のスピーカー騒音対策をお願いします。	恩納校区
地域住民が穏やかに生活できる場所づくりには、観光客に対するルールやマナーの徹底、見回りなどをしっかりして欲しい。	恩納校区
これは自治体の話ですが、海岸清掃の回数を増やす。海もきれいになるし、集まると皆顔を合わせる回数が増える。道や子ども達の通学路など。地域の公民館でも対応できるようにする。	仲泊校区
夜の騒音がひどい。子供が寝られず困っている。	仲泊校区
ゴミのポイ捨てが多いのでカメラなどの設置を検討してもらいたい。防犯にもなります。荒れた農地、雑草が道路に繁っており観光地としてももう少し頻繁に草刈り、木の伐採をしてほしい。	山田校区

【その他】

自由意見	地域
一般の人が住める家族向けのアパートを整備してほしい。家賃が高い。	恩納校区
家屋の老朽化などの補助。	仲泊校区
学校に議員を入れないでほしい。政治的で嫌です。	仲泊校区
Wi-Fiを村民限定で無料にしてください。観光客にはなく、恩納村に住んでいる人だけです。若者はWi-Fi命だと思うので。	山田校区
福祉六法、教育六法を買えるくらいにする。	山田校区
直接的な窓口でないことを理解しているが、村内で旅館業や住宅宿泊事業に係るトラブルが多いと感じる。本来、旅館業が出来ない地域で事業を行っている悪質な事業者に対しては村として適切に対応してほしい。保健所の対応にも限界があるため。用途地域の確認は各自治体で行うよう指導していると伺っている。	山田校区

資料編

地域福祉等に関するアンケート

～ 調査ご協力をお願い ～

恩納村では、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるよう、相互扶助の精神に基づいた地域福祉の推進を図るために、「第2次恩納村地域福祉推進計画」の策定を進めています。

この計画は、住民と行政とが協働して、地域に暮らす一人一人が互いに支え合い、性別、年齢、障がいの有無等にかかわらず誰もが住み慣れた地域の中で心豊かに安心安全に暮らせる社会づくりを目指すものです。

計画策定にあたり、皆様のお考えやご意見をお寄せいただくため、アンケート調査をお願いすることといたしました。ご協力をお願い申し上げます。

今回の調査では恩納村在住の20歳から70歳未満の方の中から2,000人を無作為抽出しました。ご記入内容は統計的に処理し、個々の調査票を公表したり、目的以外に使用したりすることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いします。

令和7年1月

2月7日（金）までに、ご回答をお願いします。

回答方法は「本調査票」または「インターネット」の2種類です。

「本調査票」

回答を記入し、同封の返信用封筒（**切手不要**）に入れて、ポストに投函してください。

「インターネット」（スマホまたはパソコンを持っている方）



QRコードを読み取るか、下記のURLにアクセスし、アンケートフォームからご回答ください。

■専用ウェブサイト

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/onnafukushi/2025/>

～ ご記入にあたって ～

- 1 この調査には、あて名のご本人がお答えください。
（ご本人による記入が難しい場合は、代理人による代筆で記入してください）
- 2 設問は特に説明のない限り当てはまる項目を選び、番号を○で囲んでください。
設問に（1つに○）、（あてはまるもの全てに○）と書いてありますので、それぞれの指示にしたがってお答えください。
- 3 回答が「その他」に当てはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容を記入してください。

<この調査票についてのお問合せ先>

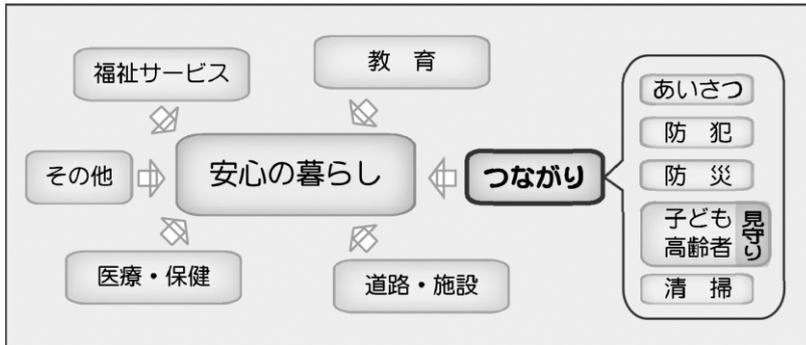
恩納村役場 福祉課 地域福祉係 電話 098-966-1207

● 地域福祉とは ●

地域福祉とは、隣近所の「つながり」や「支え合い」！！

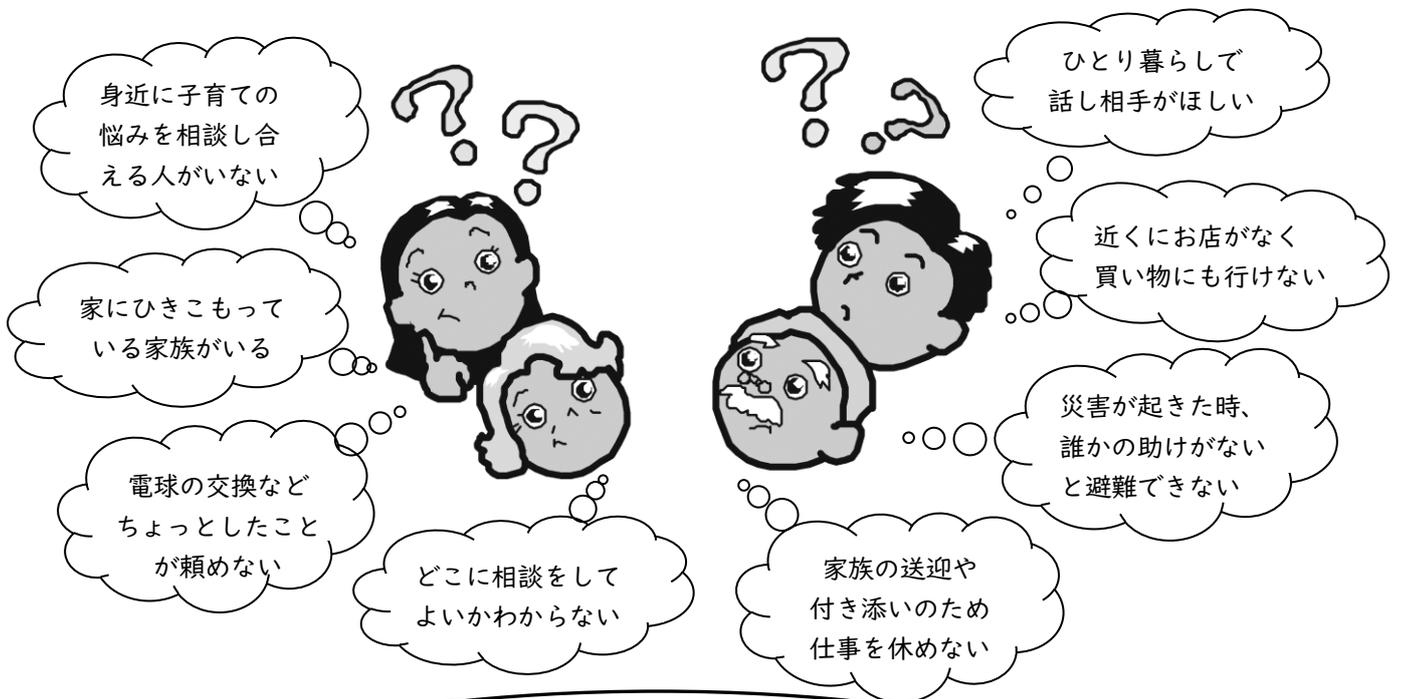
「つながり」・「支え合い」とは、例えば…

- ・ひとり暮らし高齢者の見守りや声かけ
- ・災害時の助け合い、自力では避難できない人の支援
- ・防犯のため地域の見回り、不審者がいたらみんなに知らせる
- ・地域清掃や行事などをおして、つながりを深め、お互いを把握する など



地域で安心して暮らすためには、「つながり」が大切！

地域の中にはいろいろな「困った」をかかえた人が生活しています。



これらの「困った」の解決においては、行政の行うサービスだけで対応することは難しくなっています。「共に生き、支え合う地域づくり」のためには、地域で暮らす誰もが、福祉の対象者になりえることを自覚するとともに、福祉の担い手として「困った」をかかえた人を支援していくことが、大切になります。

お住まいの地域について

問9 あなたは、現在お住まいになっている地域に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり感じていない |
| 5. 感じていない | |

問9-1 問9で愛着を感じる・感じない理由を記入してください。

問10 あなたは、恩納村が住み良いと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. 住み良い | 2. 住みにくい | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

問11 あなたにとって助け合い、支え合う「地域」とは、どういった範囲ですか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 隣近所 | 2. 自治会 |
| 3. 小学校区 | 4. 恩納村全域 |

問12 恩納村の地域環境(ご自身の住んでいる地域)について、どのように感じていますか。

項目ごとに1~4の番号1つに○	良い方だと 思う	普通だと 思う	悪い方だと 思う	わからない
① 安心して妊娠、出産できる環境	1	2	3	4
② 安心して子どもを育てる環境	1	2	3	4
③ 青少年が健全に育つ環境	1	2	3	4
④ 障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境	1	2	3	4
⑤ 高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境	1	2	3	4
⑥ 村民が利用しやすい公共施設の立地について	1	2	3	4
⑦ 困りごとの相談先や情報の入手の利便性について	1	2	3	4
⑧ 通勤や日常生活(銀行、郵便局、病院など)の交通の利便性について	1	2	3	4
⑨ 日常生活上の買い物の利便性	1	2	3	4
⑩ 道路や歩道の整備状況	1	2	3	4
⑪ 隣近所との付き合いや交流	1	2	3	4
⑫ 生活マナー(ゴミ、騒音問題 等)	1	2	3	4
⑬ 地域活動(村や自治会の行事、清掃活動 等)	1	2	3	4
⑭ 防災体制(避難誘導體制)又は組織の体制について	1	2	3	4

メンタルヘルスについて

メンタルヘルス(心の健康)への取り組みについて

沖縄県の自殺者数は、平成 10 年から平成 23 年まで、毎年 300 人台で推移していましたが、平成 24 年以降は 300 人を下回り、令和5年は 266 人となっています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による長期にわたる自粛生活や社会機能・経済の停滞、雇用問題、さらには近年の核家族化や地域のつながりの希薄化による孤立、また最近の物価高騰による経済的な問題等、より生きづらさの要因が増加しています。このような状況から、本村においても、前期に引き続き、メンタルヘルス(心の健康)に関する取り組みを進めていきたいと考えています。

問 16 あなたは、自殺や自殺未遂者に関して相談できる機関を知っていますか。

(知っているもの全てに○)

1. 沖縄県総合精神保健福祉センター(県のこころの電話・ひきこもり相談)
2. 中部保健所
3. 恩納村役場(福祉課)
4. 沖縄いのちの電話(休日・夜間電話相談)
5. 沖縄県精神科救急医療情報センター
6. 上記以外()
7. 相談できるところを知らない

問 17 あなたは、どのような相談窓口や場所があれば良いと思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 各専門家による相談窓口 | 2. 無料相談窓口 |
| 3. 同じ悩みや不安を抱える人たちの集まり | 4. 電話相談 |
| 5. インターネット上での相談 | 6. 面接相談 |
| 7. ボランティアによる相談 | 8. 訪問による相談 |
| 9. 有料相談 | 10. その他() |
| 11. 相談は必要ではない | |

問 21 現在、清掃活動や地域行事(村、自治会の行事等)等の地域活動に参加していますか。
(1つに○)

1. 参加している
2. 以前は参加していたが、現在は参加していない
3. 参加したことはないが、今後参加したい
4. 参加したことはなく、今後も参加しない

問 21-1 <問 21 で「1」以外を回答した方(参加していない方)に伺います。>
参加していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 時間的な余裕がないから
2. 自分の生活だけで精いっぱいだから
3. どこで、どんな活動をしているのかよく分からないから
4. 体力や健康状態がよくないから
5. 地域の活動自体に興味がないから
6. 参加の仕方がわからないから
7. 誘いがないから
8. 地域との関わりや人間関係に関心がないから
9. 一緒に活動する仲間や友人がいないから
10. その他()

問 21-2 地域活動に参加している方(問 21 で「1」と回答)はそのきっかけは何でしたか。
また、参加していない方(問 21 で「1」以外を回答)は、どのようなきっかけがあれば参加
したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 広報紙等の活動紹介や募集を見て(見たら)
2. 実際の活動を見て(見たら)
3. 人に誘われたから(誘われたら)
4. 学校や地域、団体の動員があったから(あれば)
5. 自分や所属している団体が以前に協力してもらったから(もらえば)
6. その他()
7. 参加したくない

問 22 ボランティア活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している
2. 以前は参加していたが、現在は参加していない
3. 全く参加したことはないが、今後参加してみたい
4. 参加したことはなく、今後も参加しない

問 23 地域の方に日常生活で手伝ってほしいこと、または手伝っても良いと思うことは何ですか
(それぞれ、あてはまるもの全てに○)

手伝ってほしいこと	手伝っても良いと思うこと
1. 買い物	1. 買い物
2. 食事等の家事援助	2. 食事等の家事援助
3. 自宅のゴミ出し・清掃や草刈り等	3. 自宅のゴミ出し・清掃や草刈り等
4. 介護	4. 介護
5. 子どもの送迎など子育てに関すること	5. 子どもの送迎など子育てに関すること
6. 病院や役場等への外出支援	6. 病院や役場等への外出支援
7. 話し相手・相談相手	7. 話し相手・相談相手
8. 声かけ・見守り	8. 声かけ・見守り
9. 地域の草刈り、清掃・地域活動、ボランティア等	9. 地域の草刈り、清掃・地域活動、ボランティア等
10. 地域の居場所づくり	10. 地域の居場所づくり
11. その他()	11. その他()
12. ない	12. ない

問 24 あなたがお住いの地域に、次のような見守りなど支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 高齢者のひとり暮らし世帯
2. 寝たきりと思われる人
3. 認知症と思われる人
4. 病気療養中と思われる人
5. 生活に困窮していると思われる人
6. 大量のゴミが自宅や周辺に放置されている世帯(ゴミ屋敷)
7. 高齢者のみの世帯で、世帯員同士が介護している世帯(老老介護)
8. 近隣や地域と関わりを持たない人や世帯
9. 高齢の親が同居する中高年の子どもの生活を支え、経済的に困窮している世帯(8050問題)
10. 子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯
11. 子どもが家族の介護などによって自分の時間を持てない世帯(ヤングケアラー)
12. 家族の間で虐待が疑われる世帯
13. ひきこもり状態と思われる人
14. 複数の困りごとや深刻な課題を抱えていると思われる世帯
15. その他()
16. いない

問 25 これからは、「地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域にしていかなければならない」と思いますか。(1つに○)

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない

災害時の対応等について

問 26 あなたは、地震や台風・大雨などの災害に対する備えをしていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 十分している | 3. あまりしていない |
| 2. ある程度している | 4. 全くしていない |

問 27 あなたは、お住いの地域の中で、恩納村が定めている災害時の避難場所がどこにあるか知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 28 あなたは、地震や台風・大雨などの災害時に、ご自身で避難することができると思えますか。(1つに○)

1. できると思う
2. できないと思う(理由を選択またはご記入ください。)

- └─ ア. 避難場所が分からない
→ イ. 一人では移動することが難しい
ウ. 隣近所に助けてくれる人がいない
エ. その他()

3. わからない(理由)

成年後見制度や再犯防止について

問 29 成年後見制度を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている(制度の内容も理解している)
2. 聞いたことはあるが、制度の内容は分からない
3. 知らない

問 30 あなたは、罪を犯した人の立ち直りに協力したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 思う | 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらかといえば思わない | 4. 思わない |
| 5. わからない | |

問 31 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。(1つに○)

1. 両方とも聞いたことがある
2. 「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある
3. 「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある
4. 両方とも聞いたことがない
5. わからない

「福祉」や「福祉サービス」に関すること全般

問 32 あなたは地域の福祉に関心をお持ちですか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. どちらかといえば関心がない | 4. まったく関心がない |

問 33 あなたは福祉に関する必要な情報を適切に得られていますか。(1つに○)

- | | | | |
|------------|----------|--------------|-----------|
| 1. 十分できている | 2. できている | 3. あまりできていない | 4. できていない |
|------------|----------|--------------|-----------|

問 34 地域の情報や福祉の情報をどこで入手していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 村広報(チラシ含む) | 2. 社協だより |
| 3. 村役場ホームページ | 4. 社会福祉協議会ホームページ |
| 5. 村役場へ問い合わせる | 6. 社会福祉協議会へ問い合わせる |
| 7. SNS(公式 LINE) | 8. 議会だより |
| 9. 自治会に問い合わせる | 10. 民生委員・児童委員に問い合わせる |
| 11. 新聞・テレビ等のマスコミ | 12. その他() |
| 13. どこからも情報を得ていない | |

問 35 <問 33 で「3. あまりできていない」「4. できていない」と回答した方へうかがいます。>
あなたが、情報を適切に得られていない理由で最もあてはまるものは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

- | |
|---|
| 1. 必要な情報の入手方法がわからない |
| 2. 得られる情報が理解できない |
| 3. 身近に情報を取得する手段が少ない(インターネットがない、広報紙が届かない等) |
| 4. 情報量が少ない |
| 5. その他() |

問 36 恩納村社会福祉協議会をご存じですか。(1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 知っており、事業等を利用又は参加したことがある |
| 2. 名称は聞いたことがある |
| 3. 知らない |

問 37 住んでいる地域において下記の活動をされている人をご存じですか。(1つに○)

	知っている	知らない
① 民生委員・児童委員	1	2
② コミュニティソーシャルワーカー	1	2
③ 生活支援コーディネーター	1	2



問 37-1 <問 37 で①から③のそれぞれについて「知っている」と回答された方にうかがいます。>相談したことはありますか(1つに○)

	相談経験がある	相談経験はない
① 民生委員・児童委員	1	2
② コミュニティソーシャルワーカー	1	2
③ 生活支援コーディネーター	1	2

問 38 今後、恩納村が地域における福祉を充実させるために必要な取り組みはどのようなことだと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 思いやり、やさしいところを育む福祉教育の推進
2. 地域で福祉に関わる人材の育成(ボランティア、地域リーダーの育成など)
3. 住民主体の防災、防犯などの安全対策の充実(高齢者の見守り活動など)
4. 住民の主体的な福祉活動への助成・補助
5. 住民、企業、地域団体、福祉団体・事業所、行政等が連携できる仕組みづくり
6. いじめ、虐待、家庭内暴力などの早期発見、早期対応できる仕組みづくり
7. 経済的に困窮している世帯への支援
8. 保健、医療、福祉サービスのお知らせ・情報が住民に行き渡る仕組みづくり
9. 村役場や社会福祉協議会などで支援制度などをわかりやすく、ていねいに説明する
10. 身近な場所に福祉の相談窓口をつくる
11. 福祉に関わる活動拠点の整備
12. 公園・道路・公共施設の段差をなくすなど、誰でも移動しやすいまちづくり
13. その他()

問 39 恩納村や恩納村社会福祉協議会に期待すること、その他、福祉に関するご意見、ご要望をご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。